

市川市の図書館

2023



市川市立図書館

はじめに

「EBPM」という言葉をご存知でしょうか。近年、国や地方自治体で推進されている政策形成の考え方で「Evidence Based Policy Making = 証拠に基づく政策立案」と訳されます。政策を企画立案する際には、経験や勘に頼るのではなく、その目的を明確化したうえで、関連するデータを適切に分析してエビデンスとし、客観的に判断していくことが重要である、という考え方です。

図書館長である私がこの言葉を強く意識するようになったきっかけは、ある図書館利用者の方との出会いでした。非常に読書熱心で、幅広いジャンルを読まれるその方は、図書館のファンであると同時に、蔵書の量や質に対する痛烈な批判者でもあります。その方といろいろな話をするうちに、図書館で行う選書・購入の一つ一つも政策であり、司書の経験や勘だけではなく、市民の情報ニーズや同種の図書館の貸出実績といったデータに裏打ちされていないと感じるようになりました。

1950(昭和25)年に市川市立図書館が設置されて以降、市川市では現在までに中央図書館をはじめ、行徳・信篤・南行徳・平田・市川駅南口の各図書館(室)を設置し、自動車図書館の運行を開始させました。また市内の公民館や学校に関連施設を整備するとともに、図書館と各施設間のネットワークを構築し、蔵書やサービスを一元化するなど、着実に成長を続けてきたところです。

本書『市川市の図書館 2023』は、こうした市川市立図書館の現在のサービス内容、また直近1年間の事業記録をまとめ、刊行するものです。特に統計データについては、単なる記録ではなく、今後の図書館のあり方を考えるうえで大変貴重なエビデンスとなるものです。本書を手にとっていただいた皆様にとって、図書館の未来について思いを馳せていただく機会となれば幸甚に存じます。

来る2024(令和6)年には、中央図書館の開館30周年を迎えます。私たち市川市の図書館員一同、これまでの積み重ねを大切にしつつ、これからの時代にふさわしい図書館サービスのあり方を追求し、成長を続けてまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

The Library is a growing organism.

令和5年8月
市川市中央図書館
館長 安永 崇

目 次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・1	9. 図書館コンピュータシステム	
2. 図書館の基本方針	・・・2	(1) 図書館コンピュータシステムの概要	・・・44
3. 図書館のあゆみ	・・・3	(2) インターネットでのサービス	・・・44
4. 図書館組織図・委員会等		(3) ネットワークの拡充	・・・44
(1) 図書館組織図	・・・7	(4) 図書館内インターネット接続サービス等	・・・44
(2) 委員会・会議等	・・・8	10. 令和4年度事業概要 概況	・・・48
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・9	(1) 資料収集と利用状況	・・・48
6. 令和5年度施設概要		(2) リクエストサービス	・・・49
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	・・・10	(3) レファレンスサービス	・・・50
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・14	(4) 関連施設・類縁機関との連携	・・・50
(3) 平田図書室	・・・15	(5) 対象別サービス	・・・53
(4) 行徳図書館	・・・16	(6) 資料別サービス	・・・56
(5) 信篤図書館	・・・17	(7) 主催事業	・・・57
(6) 南行徳図書館	・・・18	(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）	・・・63
(7) 市川駅南口図書館	・・・19	(9) 委員会等	・・・65
(8) 関連施設	・・・24	(10) 図書館刊行物	・・・66
7. 令和5年度予算		(11) 図書館作成動画	・・・67
(1) 市の予算	・・・25	(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・68
(2) 教育費	・・・25	(13) 視察・講師派遣等	・・・69
(3) 図書館費	・・・25	(14) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧	・・・69
(4) 館別資料費	・・・26	(15) デジタルアーカイブ	・・・70
8. 令和4年度統計		(16) 議会の図書館関係質問一覧	・・・71
(1) 蔵書冊数	・・・28	11. 市川図書館友の会	・・・72
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・29	12. 新聞・雑誌一覧	
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・30	(1) 購入雑誌一覧	・・・73
(2) 分類別貸出冊数	・・・31	(2) 寄贈雑誌一覧	・・・80
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・32	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧	・・・82
(2-3) 貸出冊数の推移	・・・33	(4) 新聞ほか一覧	・・・85
(3) 蔵書回転率	・・・34	資料編	
(4) リクエスト統計	・・・35	13. 関連法規（条例・規則等）	・・・88
(5) 登録者集計表	・・・36	14. 計画	・・・114
(6) 延べ利用者数の推移	・・・36	15. アンケート・市民要望	・・・150
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移	・・・37		
(8) 受入・除籍冊数	・・・38		
(9) 自動車図書館ステーション別統計	・・・40		
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・41		
(11) 開館日数	・・・41		
(12) 関連施設統計	・・・42		

1. 市川市の概要

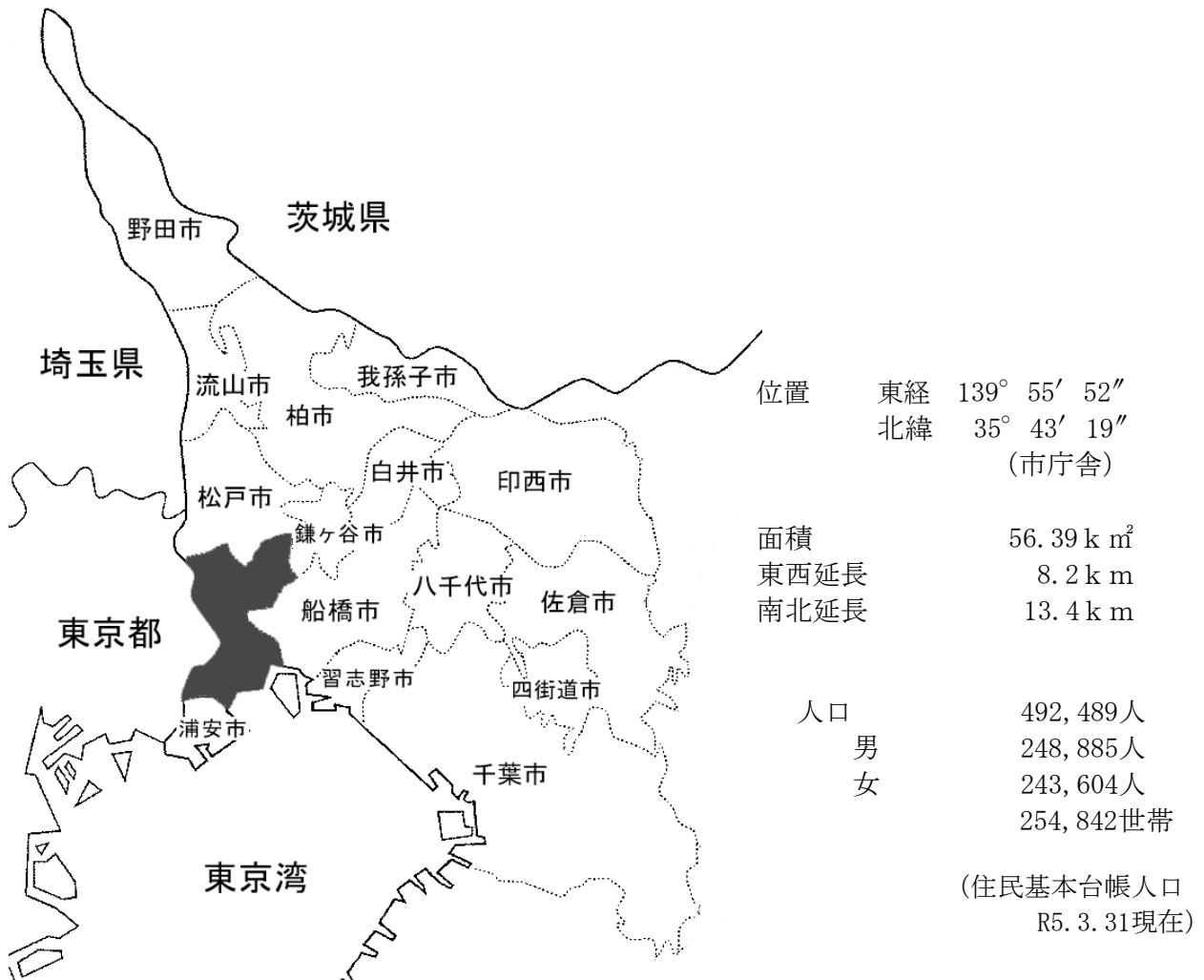
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と対峙している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50か所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴といった文豪の終焉の地となった。また、中野孝次・井上ひさしらが住まい、活動の拠点とした。

市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

令和5年度の目標

(1) 市民満足度の高いサービスの維持・発展

蔵書構築やレファレンス等図書館としての基本的な機能を維持しつつ、職員の接遇の向上や利用促進のPRと共に、学習スペースの充実や自動車図書館、返却ポスト等を活用した非来館型サービスを展開し、誰もが利用しやすい図書館づくりを推進する。

(2) 持続可能な図書館に向けた方針の樹立

市民の利便性向上に繋がる図書館の開館日の見直しと、それに伴う業務改善や運営体制の見直しも検討し、持続可能な図書館サービスを目指す。

(3) 地域に開かれた図書館づくりの推進

本を媒介とした市民活動の活性化を後押しするとともに、開かれた図書館づくりを通じ、一層の図書館利用の促進を図るため、市民提案型「図書館推し活企画」を募集する。

(4) 時代に見合った新しいサービスの導入

電子書籍の導入等について調査・検討し、情報化社会・デジタル社会にふさわしい図書館づくりを推進する。

また、第二次「市川市子どもの読書活動推進計画」を軸に、子どもの読書活動の推進に繋がる施策を企画立案する。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年実施（～平成6年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～） コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勳図書館長に就任

9年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
10年	4月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
12年	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8月	第1みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
13年	3月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
	4月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
14年	3月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
	4月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
15年	3月	第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
	6月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 C T I サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼働開始
16年	4月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
	7月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始 曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
	10月	千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館
18年	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
	10月	予約資料の宅配サービス開始
19年	3月	累積版冊子『本のぼけっと1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
20年	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
21年	4月	中央、行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICTタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
22年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障がい者サービス用機器の寄贈を受ける

23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、満足度調査として毎年実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
24年	3月	図書館メールマガジンの配信を開始（平成30年10月20日第152号にて配信終了）
	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
	10月	BDSの更新
25年	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	7月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催
27年	3月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
28年	3月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
	4月	乳幼児向け利用券発行開始
	7月	行徳図書館資料をIC化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
29年	11月	次期電算システム更新、IC化を見据えてワーキンググループを設置
30年	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名
	6月	市川市中央図書館公式Facebook運用開始
	12月	コンピュータシステムを更新し、座席管理システム・デジタルサイネージ・書庫出納管理システム・デジタルアーカイブ等の導入
31年	3月	千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」巡回展開催（博図公連携） 西部公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者登録等を図書館システムに一元化
	4月	大里宗行図書館長に就任 職員数41名
令和元年	11月	中央図書館、こどもとしゃかんをIC化 自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置 行徳図書館に予約受取確認機を設置 中央図書館と行徳図書館に予約受取コーナーを新設 中央図書館ブラウジングコーナーを一部レイアウト変更
2年	2月	新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館（28日～5月31日）
	4月	臨時窓口を開設（1～7日） 県内に新型インフルエンザ特措法による緊急事態宣言の発出（7日～5月25日）
	5月	臨時窓口を開設（26～31日）
	6月	開館時間短縮による開館（2～14日まで17時、16～28日まで18時、7月1日より通常どおり）
3年	1月	2回目の緊急事態宣言発出（7日～3月21日） 全館臨時休館、臨時窓口の開設（8日～3月21日）
	3月	全館開館のうえ図書館サービスを再開（23日） 稲越市民図書室閉室（31日）
	4月	安永崇図書館長に就任 職員数39名 まん延防止等重点措置開始（20日～8月22日まで延長）に伴い閲覧席使用率4割の制限 生涯学習センター地下駐車場の一面にバイク置場9台を設置
	7月	中央図書館にSDGsコーナー設置（31日）
	8月	3回目の緊急事態宣言発出（23日～9月30日、解除後閲覧席使用率6割に緩和）
	10月	図書館ウェブサイトの全面リニューアル（29日）
	11月	市川東ロータリークラブから大型絵本用書架2台の寄贈を受け、大型絵本と大型紙芝居の個人貸出を開始
4年	2月	CNG（圧縮天然ガス）タンクの使用期限終了につき自動車図書館車を廃車 大野と西部の公民館図書室で未所蔵リクエスト受付開始
	5月	新・自動車図書館車（4代目）の運行開始
	9月	生涯学習センター駐輪場にシェアサイクルステーション8台を設置 中央図書館ヤングアダルトルームに寄贈絵画「時の記憶」を設置
	10月	自動車図書館のステーションを北部中心に7か所増設し、25か所に拡大

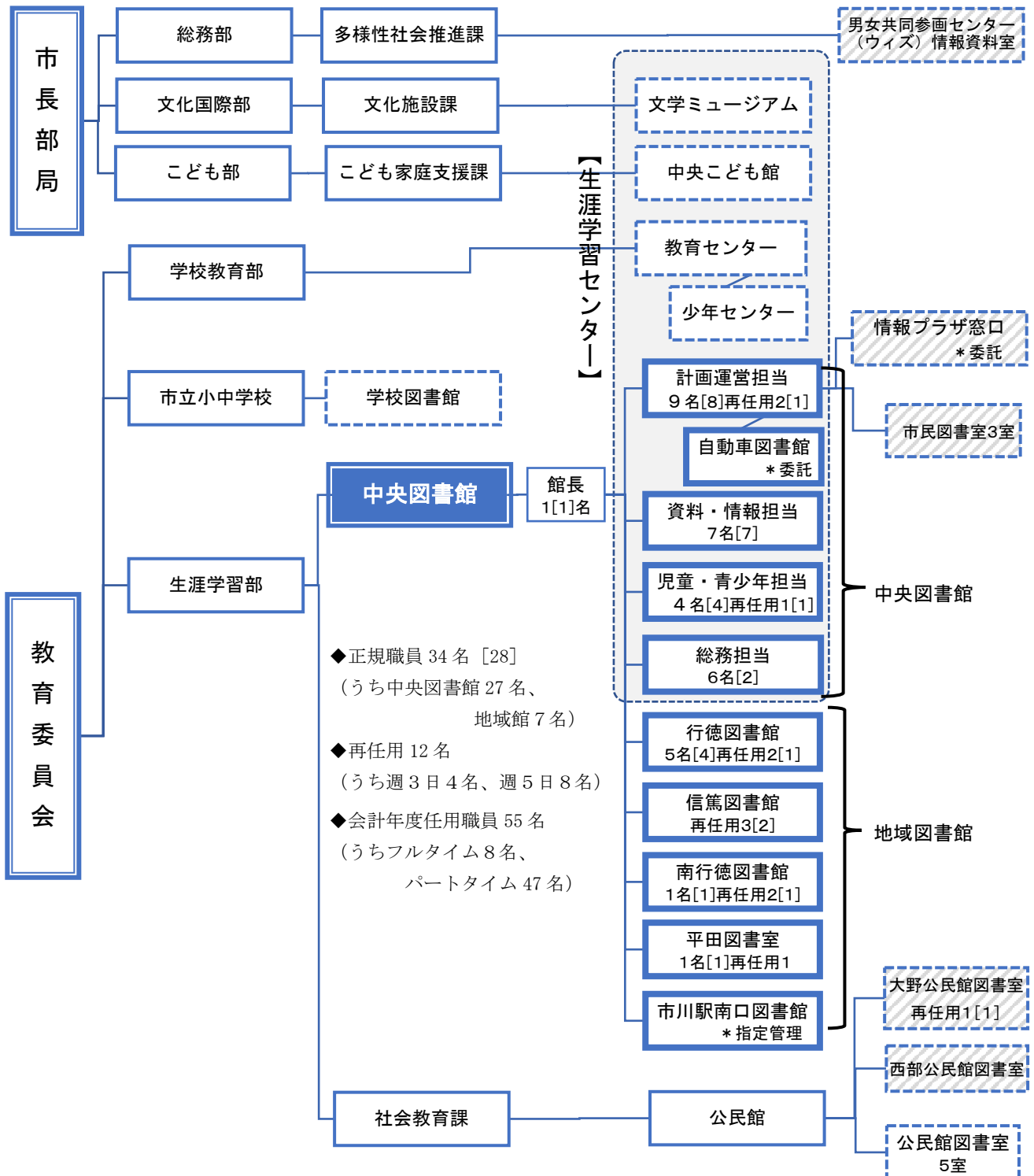
- 11月 行徳図書館・市川駅南口図書館の I C 機器をリブレース
- 12月 全館で座席利用の運用を見直し、一部の座席を学習席に変更したほか、中央図書館ブラウジングに新たにキャレルデスク 6 席を設置

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

令和5年4月1日現在

- ・ の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設
- ・ の施設は、図書館費で運営している関連施設
- ・ 人数横の[]内の数字は司書有資格者数



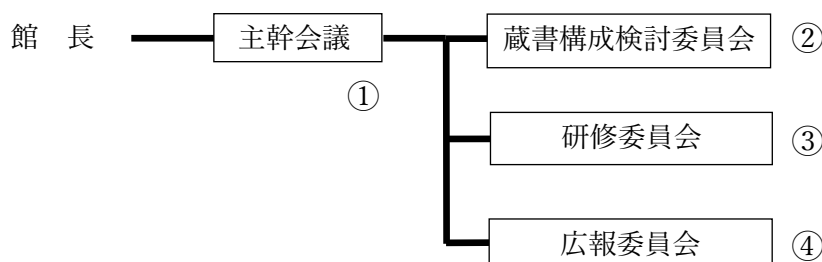
図書館正規職員数

館名	担当	正規職員		再任用		総数		司書率
			司書		司書		司書	
図書館長		1	1			1	1	
中央	計画運営担当	9	8	3 (大野1)	2	12	10	83.3%
	資料・情報担当	7	7			7	7	100%
	児童・青少年担当	4	4	1	1	5	5	100%
	総務担当	6	2			6	2	33.3%
	合計	27	22	4	3	31	25	80.6%
平田		1	1	1	0	2	1	50%
行徳		5	4	2	1	7	5	71.4%
信篤		0	0	3	2	3	2	66.7%
南行徳		1	1	2	1	3	2	66.7%
全館		34	28	12	7	46	35	76.1%
		82.4%		58.3%		76.1%		

【参考】市川駅南口（指定管理者制度を導入）	18	13	72.2%
-----------------------	----	----	-------

(2) 委員会・会議等

令和5年4月1日現在



○各会議・委員会の役割

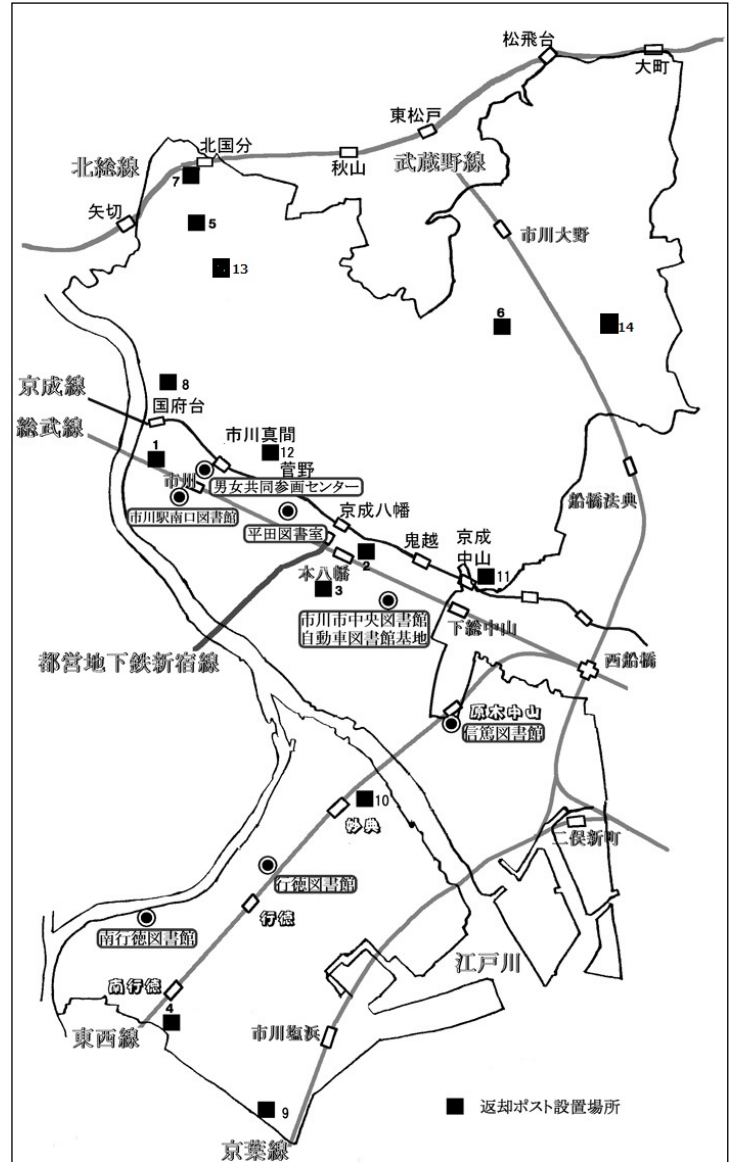
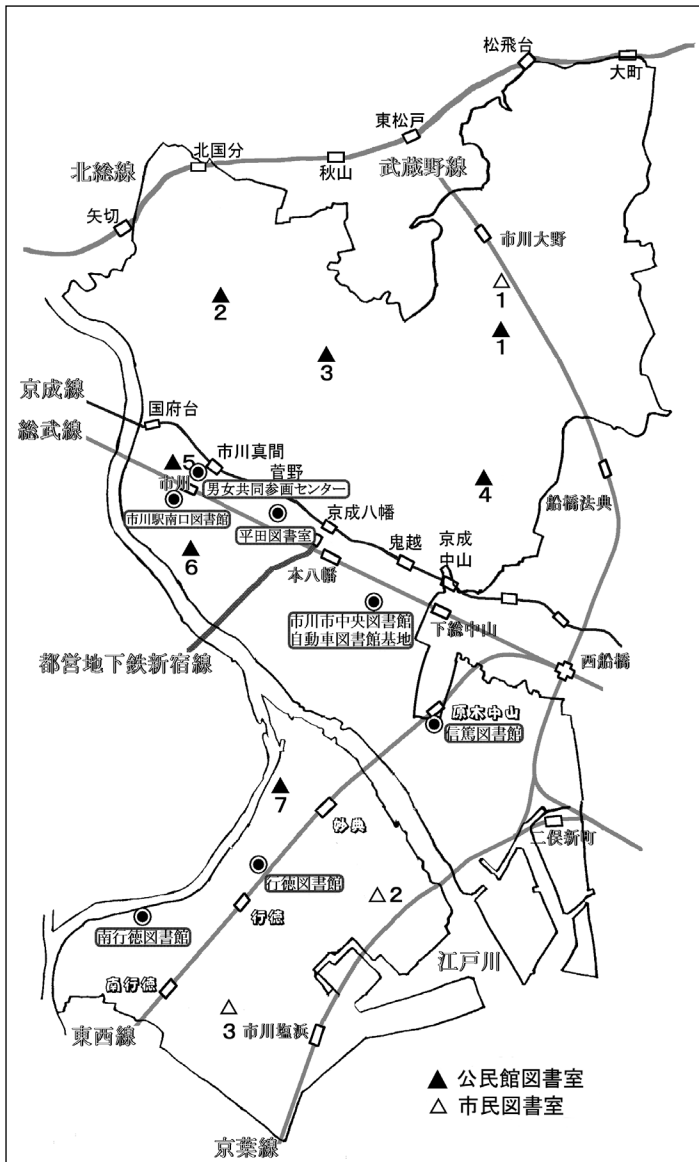
	会議名	討議内容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・主幹で構成される。
②	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
③	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
④	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

令和5年6月1日現在

図書館と関連施設の配置図

返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野2丁目
2	西部公民館図書室	中国分2丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷6丁目
4	東部公民館図書室	本北方3丁目
5	市川公民館図書室	市川2丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲4丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳12

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	大柏市民図書室	大野町2丁目
2	塩焼市民図書室	塩焼5丁目
3	福栄市民図書室	南行徳2丁目

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川2丁目	H14. 5
2	市川市役所第1庁舎	八幡1丁目	R2. 12
3	情報プラザ2階	南八幡4丁目	H14. 5
4	南行徳市民センター[2台]	南行徳1丁目	H14. 8
5	歴史博物館	堀之内2丁目	H15. 9
6	大柏出張所(大野公民館)	南大野2丁目	H16. 8
7	ベルクス市川堀之内店	堀之内3丁目	H21. 4
8	千葉商科大学附属図書館	国府台1丁目	H17. 10
9	塩浜市民体育館	塩浜4丁目	H18. 7
10	イオン市川妙典店[4台]	妙典5丁目	H19. 7
11	中山窓口連絡所	中山4丁目	H19. 7
12	菅野公民館	菅野3丁目	R3. 6
13	西部公民館	中国分2丁目	R5. 6
14	柏井公民館	柏井町2丁目	R5. 6

6. 令和5年度施設概要

令和5年4月1日現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	平成元.4.15	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	368席	17席	168席	36席	13席	61席
うち一般	228席	8席	80席	17席	7席	20席
うち児童	61席	9席	68席	6席	6席	11席
その他	79席	-----	20席	13席	-----	30席
駐車場	共有(※1)95台	-----	共有69台	共有20台	-----	-----
利用者端末	(※2)23台	1台	(※3)7台	1台	1台	(※4)7台

※1：バイク置場設置のため減少

※2：Web-OPAC 6台、館内OPAC 4台、調べものPC 4台、外部データベース閲覧3台、座席管理端末5台、障がい者専用1台

※3：Web-OPAC 4台（うち外部データベース兼用1台）、館内OPAC 3台

※4：外部データベース閲覧3台、館内OPAC 4台

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333(機械音声応答)

047(320)3346(直通)

FAX 047(320)3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分

・地下駐車場(95台)

・開館時間

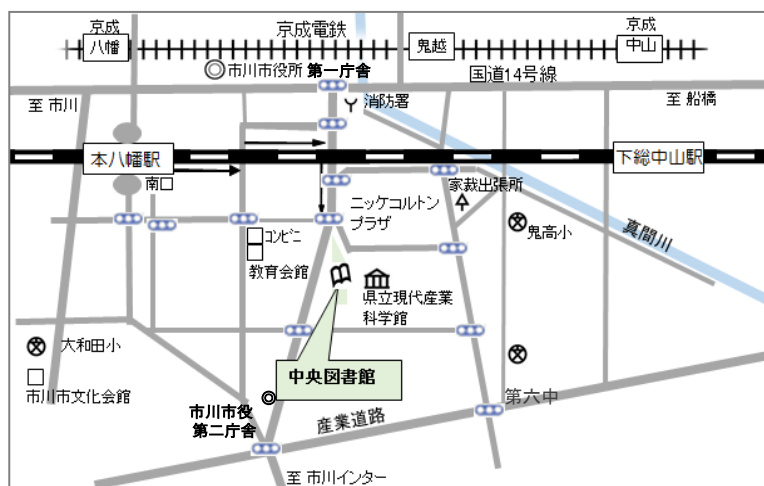
火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

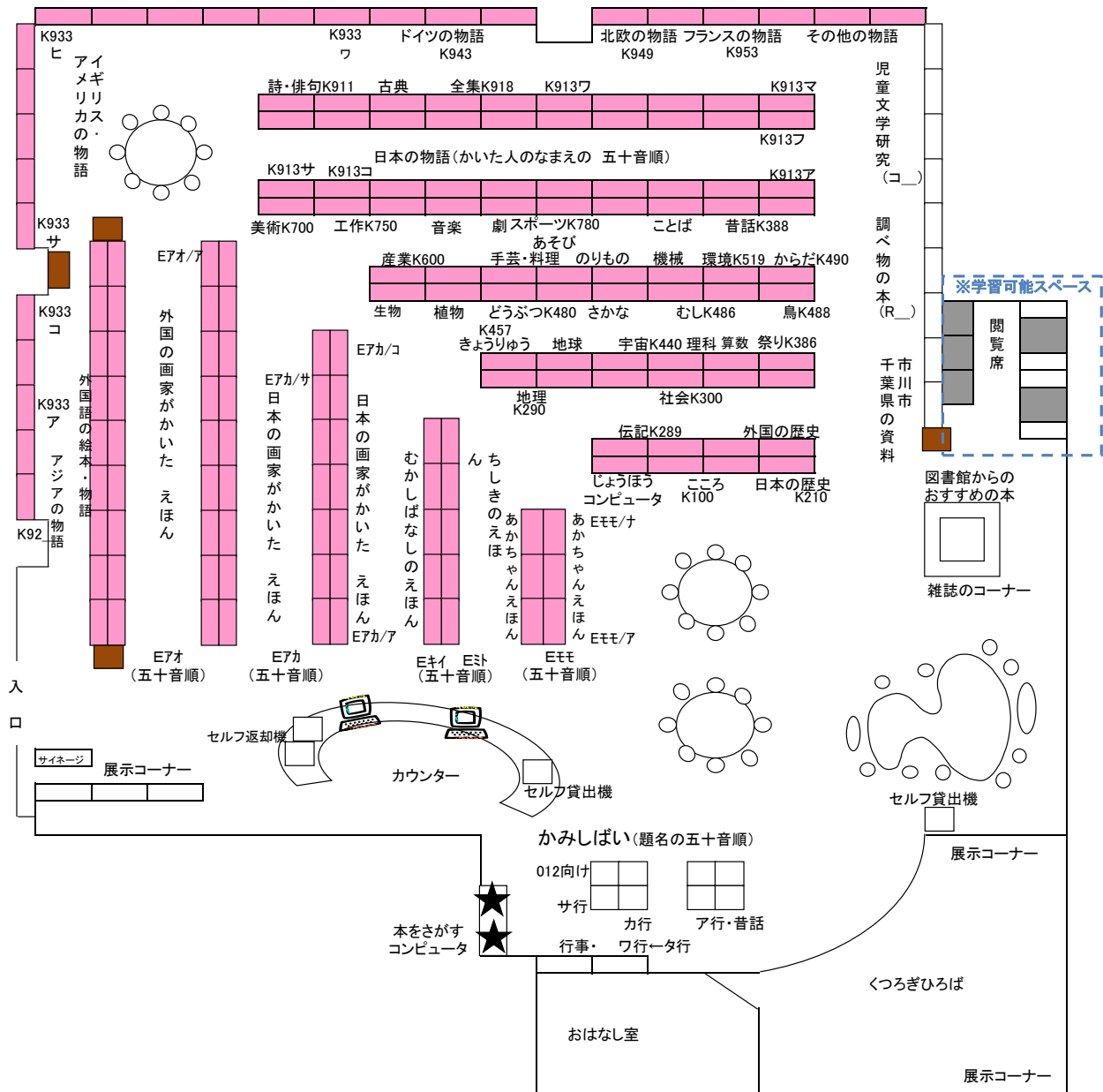
こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00



②こどもとしょかんフロア案内図



市川市生涯学習センター
(メディアパーク市川)



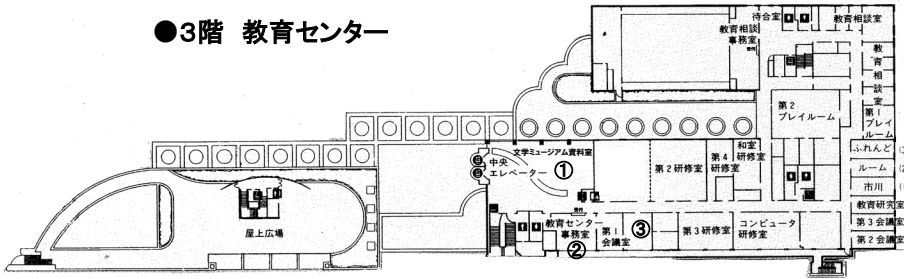
中央図書館



こどもとしょかん

③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

●3階 教育センター

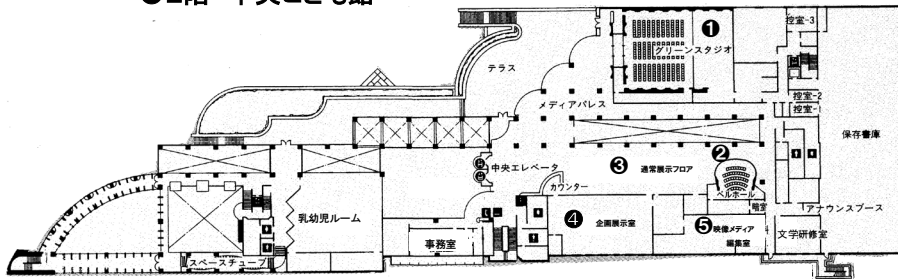


3階

- ①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。
- ②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。
- ③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

●2階 中央こども館

文学ミュージアム

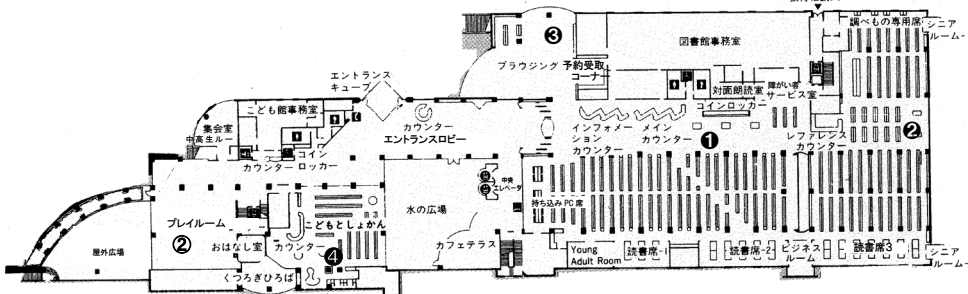


2階

- ①文学ミュージアム：①～⑤
- ①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。
- ②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。
- ③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。
- ④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。
- ⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

●1階 中央こども館

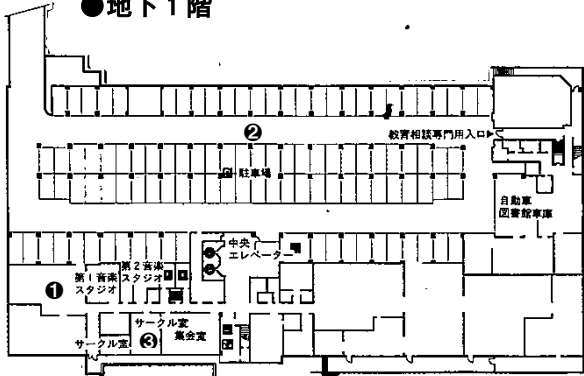
中央図書館



1階

- ①中央図書館：①～④
- ①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・DVDのコーナーも設けている。
- ②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。
- ③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。
- ④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃える。定期的らっこ会・えほんの会・おはなし会を開催。
- ②中央こども館：18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設。

●地下1階



地下1階

- ①音楽スタジオ：少人数の音楽練習向き。(担当課：2階①文学ミュージアム)
- ②地下駐車場：99台収容。(担当課：1階①中央図書館)
- ③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

構成する施設(スペース)	専有面積	配賦割合	所管課
中央図書館	6,411.㎡	32.63%	中央図書館
文学ミュージアム	2,970.㎡	15.12%	文化施設課
教育センター・少年センター	2,233.㎡	11.37%	教育センター
中央こども館	1,655.㎡	8.42%	こども家庭支援課
機械室・駐車場・共有部分	6,379.㎡	32.47%	中央図書館

(2) 自動車図書館「みどり号」

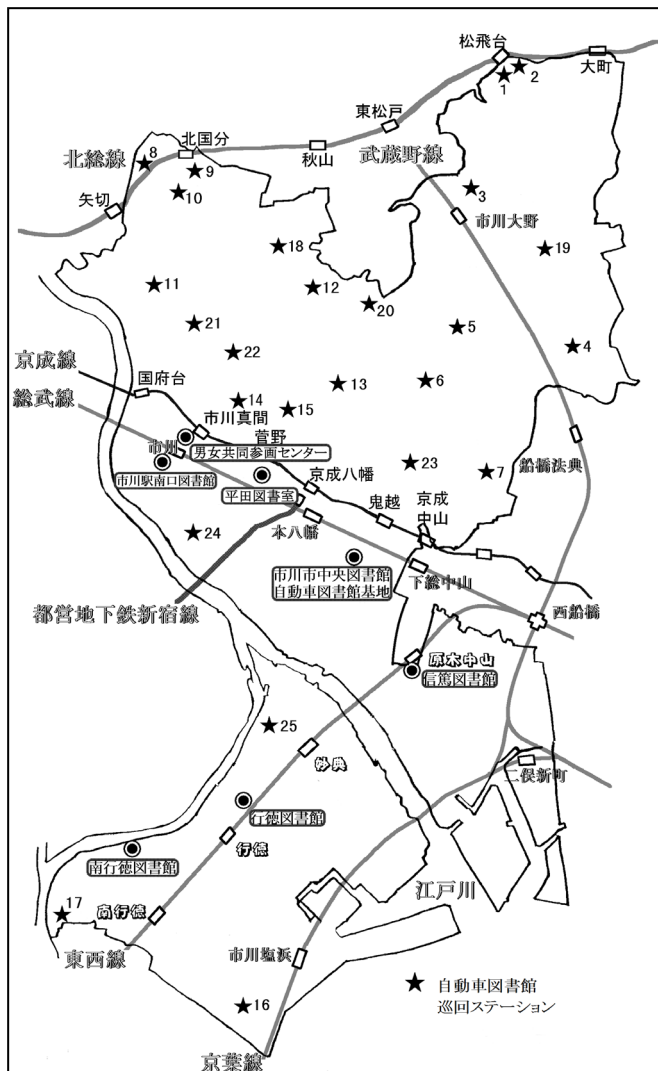
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全25箇所、1ステーション当たり30分から40分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

なお、平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。

車両仕様

名称	みどり号 (4代目)
登録番号	市川 810 さ 2022
車名・型式	いすゞ 2RG-NHR88AN
定員	3人
サイズ	長さ486cm・幅179cm・高さ260cm
燃料	軽油
総排気量	2.99kw
登録年月日	令和4年4月20日
製作	株式会社 林田製作所
積載冊数	1,200冊
※令和4年5月より本車両で運行開始。	



みどり号巡回表 (令和5年4月1日現在)

曜日	午前	午後	
第1週	水 ★18 稲越小学校 稲越3-21-8 10:20~11:00	★7 若宮児童公園 若宮3-20 1:30~2:00	★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:30~3:00
	木 ★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 10:20~10:50	★19 大塚市川リハビリテーション病院 柏井町4-229-4 1:30~2:00	★3 養護老人ホームいこい荘 大町521 2:30~3:00
	金 ★15 株クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★9 堀之内公園 堀之内3-2 1:30~2:00	★22 石橋下公園 国分2-9 2:30~3:00
第2週	火	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 1:30~2:00	★17 島尻西公園 島尻1 2:30~3:00
	水 ★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 1:30~2:00	★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 2:30~3:00
	木 ★13 宮久保プレーパーク 宮久保1-8-18 10:20~11:00	★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 1:30~2:00	★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 2:20~2:50
	金 ★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★20 市営曾谷第1団地 曾谷2-7-1 1:30~2:00	★1 市営大町第1団地 大町95 2:30~3:00
		★23 北方第2公園 北方2-29-19 3:20~4:00	
		★12 山王公園 曾谷5-16 3:20~4:00	
		★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:20~4:00	
		★25 行徳児童公園 本行徳12 3:20~4:00	
		★24 大洲防災公園 大洲1-18 3:30~4:00	
		★21 市川真間グループホーム 真間5-15-13 3:20~4:00	
		★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:20~4:00	

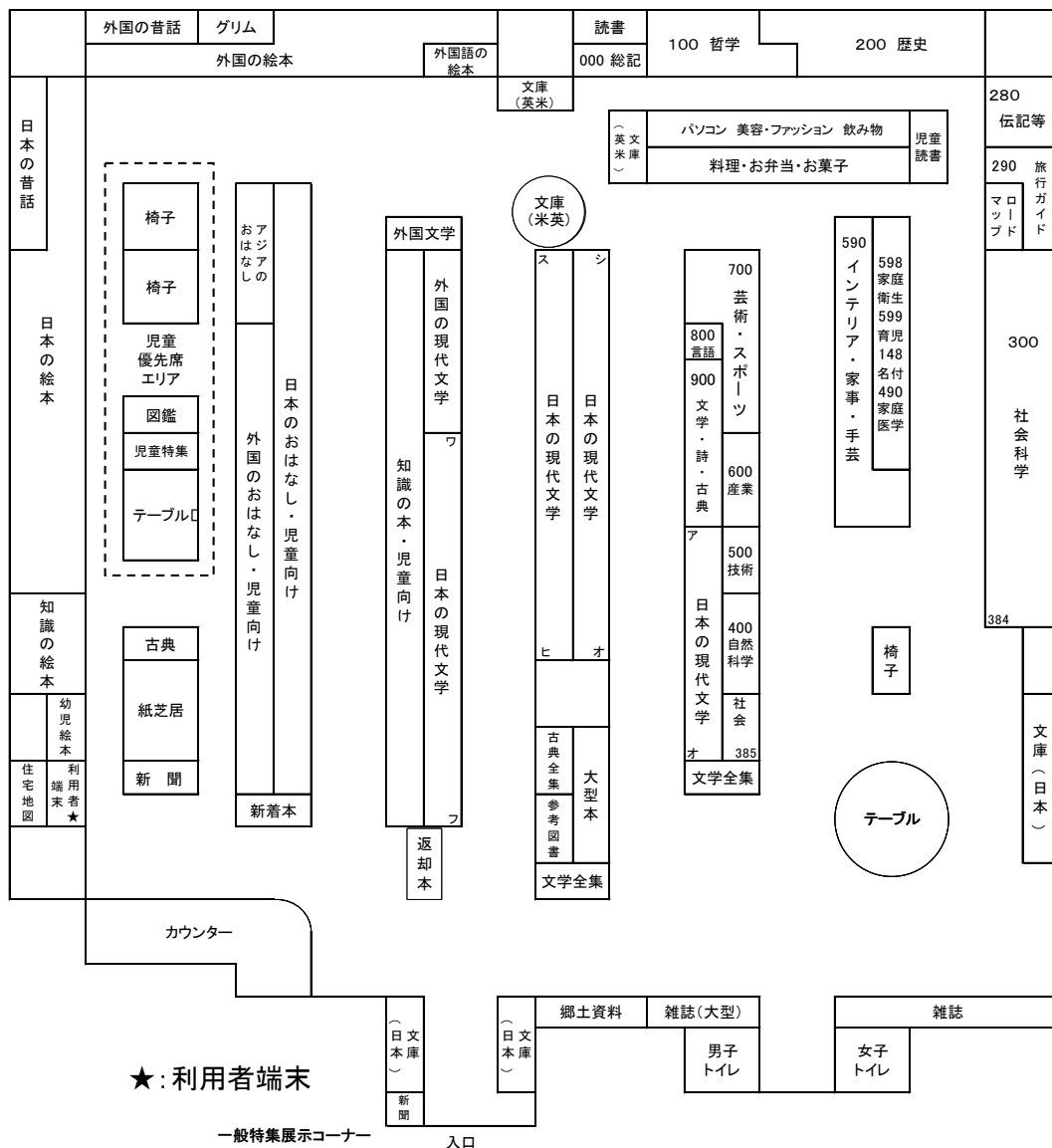
(3) 平田図書室

市川市平田 1-20-16 TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243

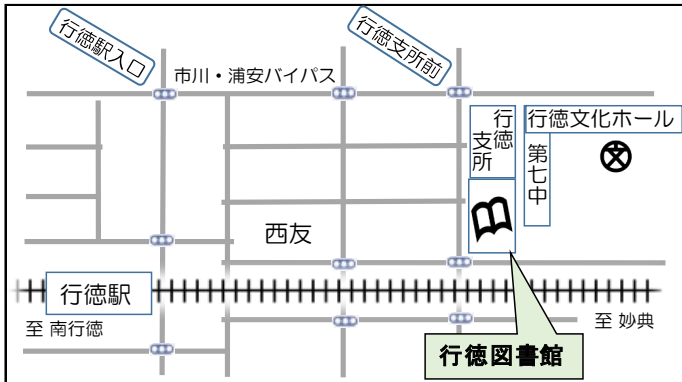


- ・交通 京成菅野駅より徒歩8分
JR本八幡駅より徒歩10分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



(4) 行徳図書館

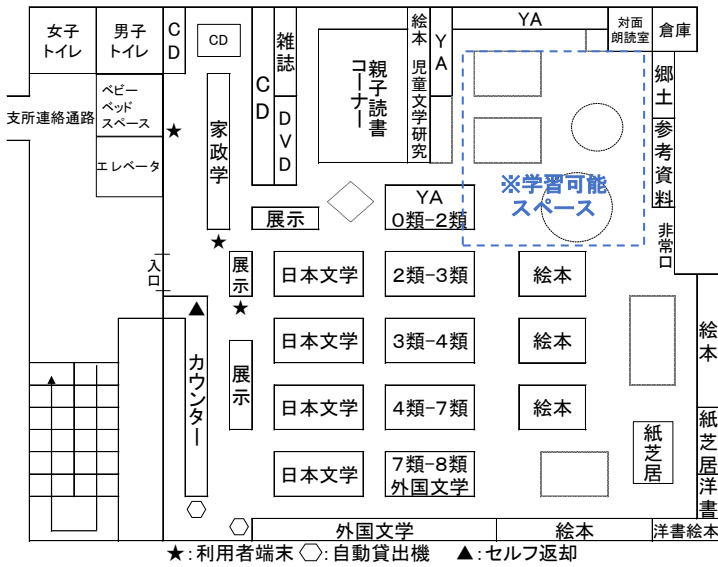
市川市末広1-1-31 TEL 047 (358) 9011
FAX 047 (358) 9012



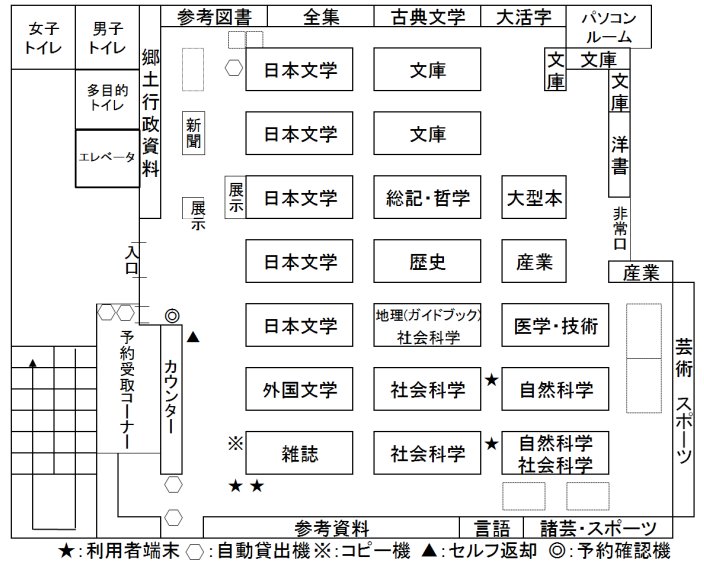
- 交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- 開館時間
 - 火曜～金曜
 - 3階フロア・4階閲覧室 10:00～19:30
 - 2階フロア 10:00～18:00
 - 土・日・祝日 10:00～17:00



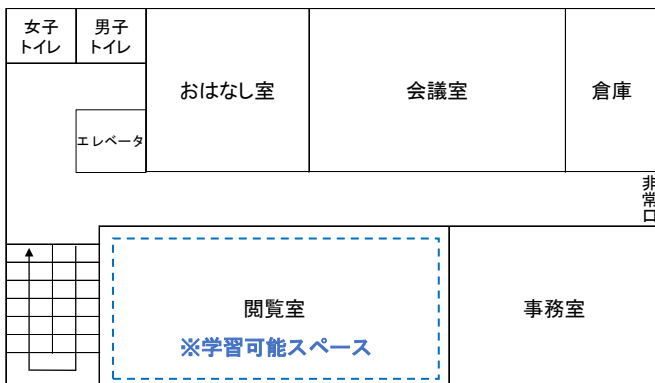
2階 こどもの本のフロア



3階 おとなの本のフロア



4階 閲覧室・事務室など



5階 閉架書庫・機械室



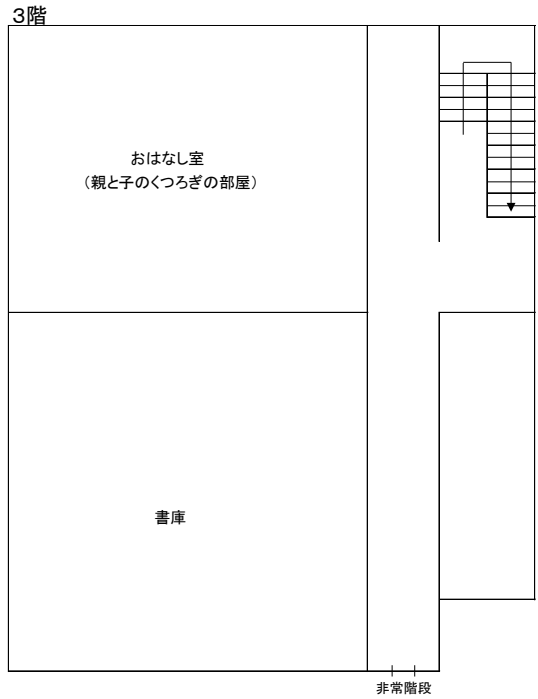
(5) 信篤図書館

市川市高谷 1 - 8 - 1

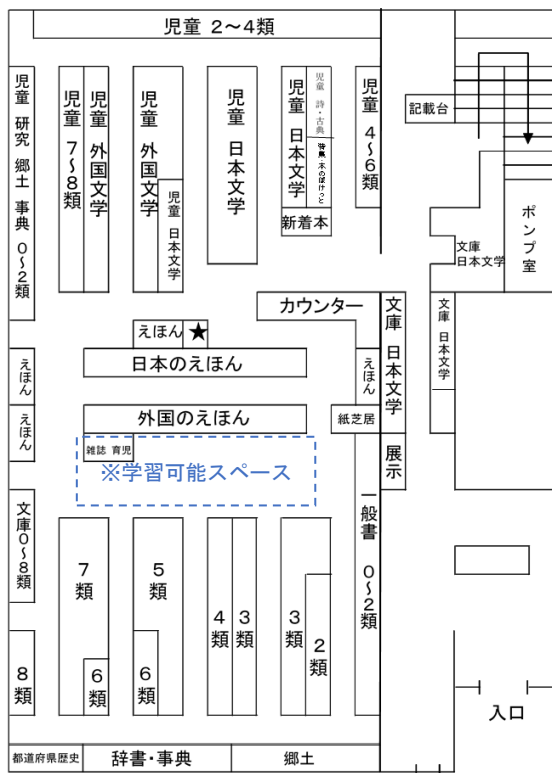
TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

- ・交通 東西線原木中山駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



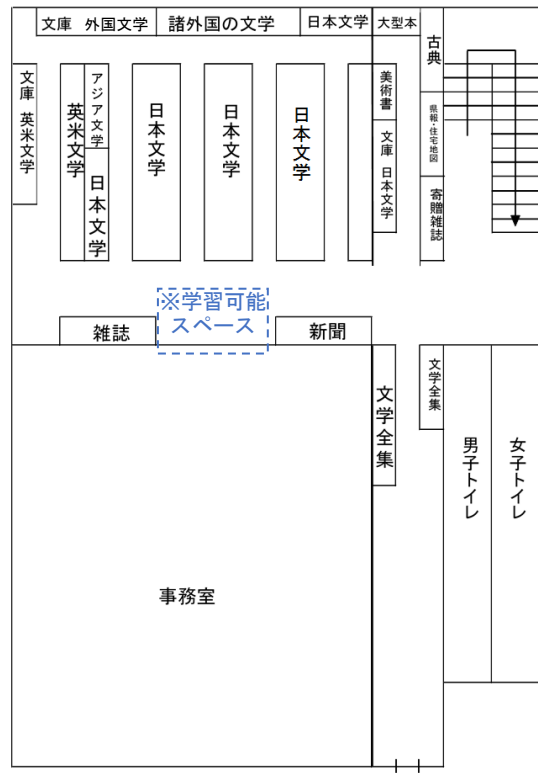
1階



★:利用者端末

返却ポスト

2階



非常階段

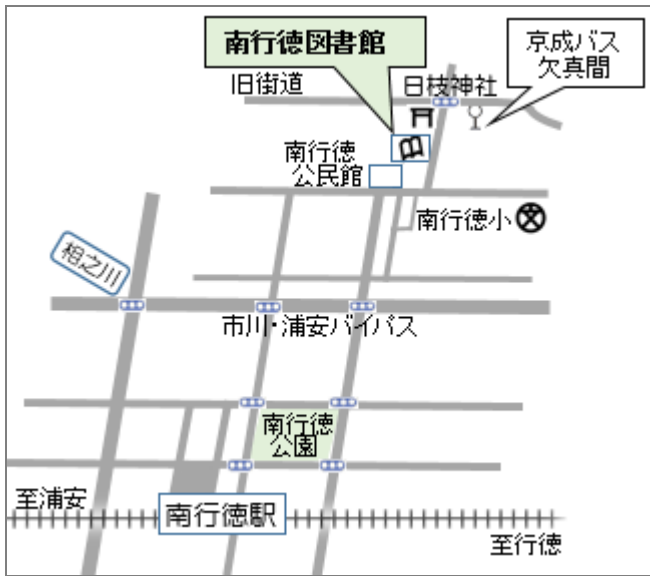
(6) 南行徳図書館

市川市相之川1-2-4

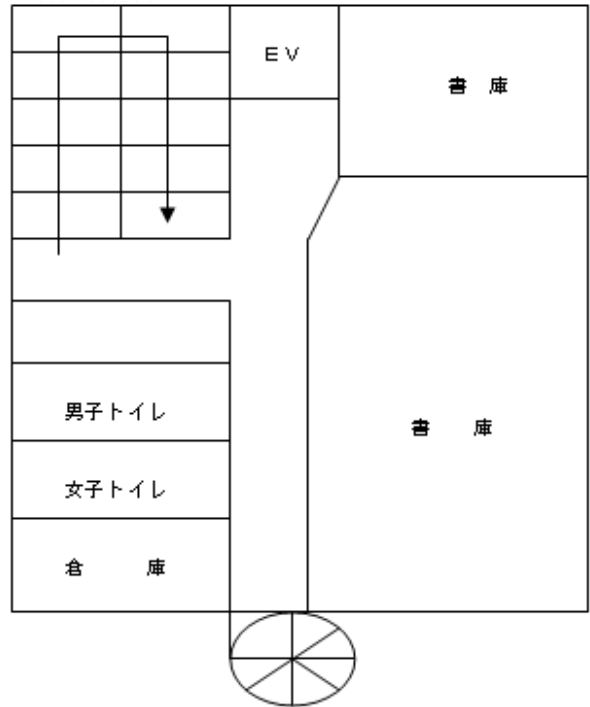
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

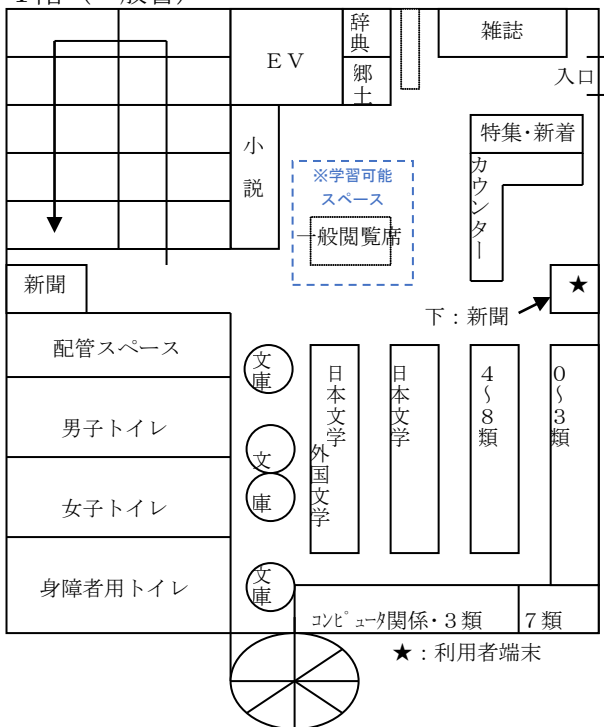
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



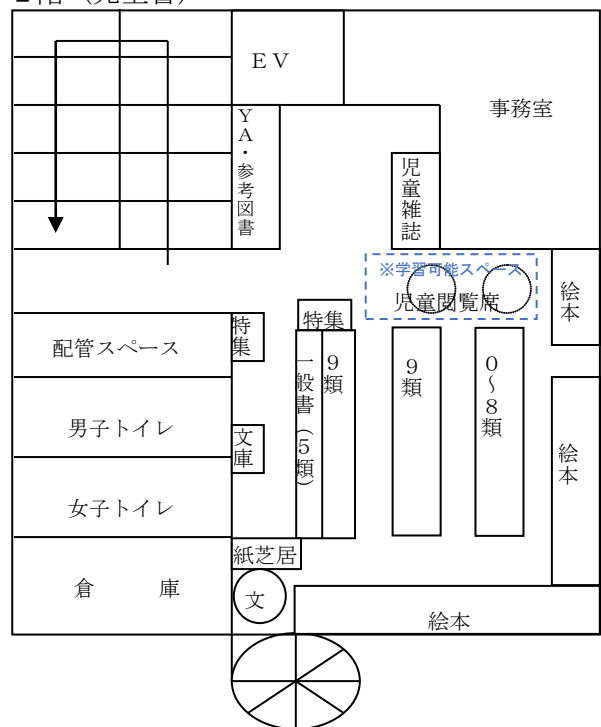
3階 (書庫)



1階 (一般書)



2階 (児童書)



(7) 市川駅南口図書館

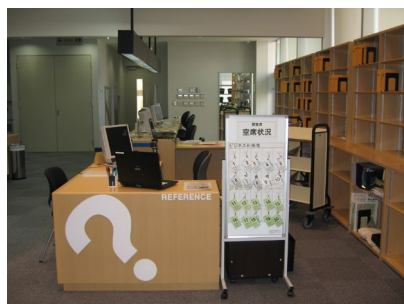
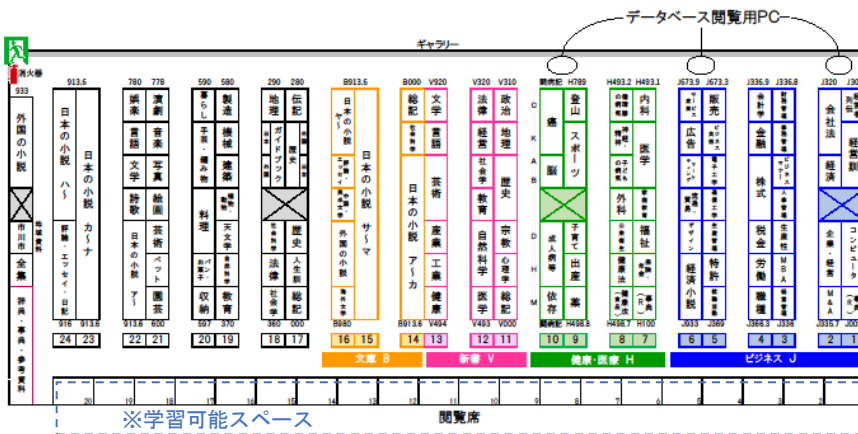
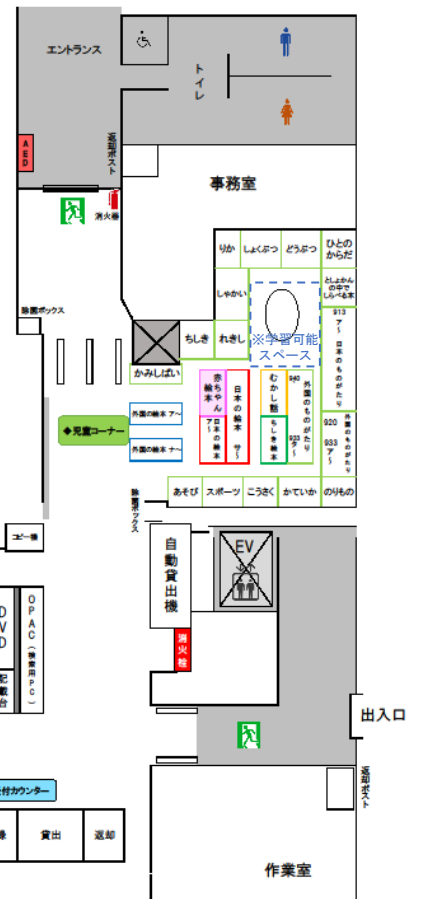
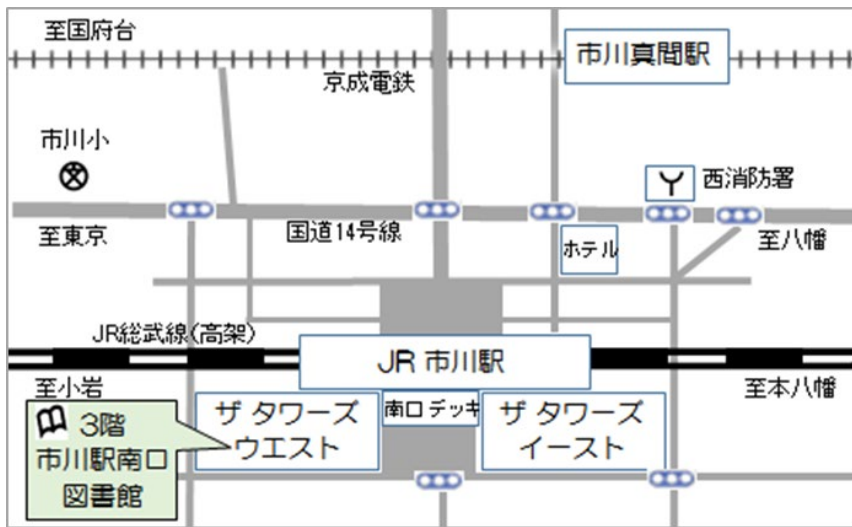
市川市市川南1-10-1

TEL 047 (325) 6241

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウエスト3階

FAX 047 (325) 6243

- ・交通 JR市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館の設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募 選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	平成21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定 21年度全期 第1次評価（担当者 7月9日）第2次評価（委員会 7月26日） 21年度上半期 第1次評価（担当者 1月14/15日）第2次評価（委員会 2月3日）
23年	8月	平成22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増 22年度全期 第1次評価（担当者 7月5日）第2次評価（委員会 7月29日） 22年度上半期 第1次評価（担当者 1月7日）第2次評価（委員会 2月8日）
24年	8月	平成23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日） 23年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（委員会 6月28日） 23年度上半期 第1次評価（担当者 1月6日）第2次評価（委員会 2月17日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	7月	平成24年度選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7月31日） 24年度全期 第1次評価（担当者 6月14日）第2次評価（委員会 7月2日） 新評価項目による24年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 3月8日）
	11月	25年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
26年	8月	平成25年度モニタリング評価の決定 25年度全期第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 6月30日） 「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告（7月）
	12月	平成26年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 5日）
27年	8月	平成26年度モニタリング評価の決定 26年度全期 第1次評価（担当者 6月19日）第2次評価（評価委員会 7月16日）
	12月	新評価項目での27年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 18日）

平成28年	8月	平成27年度モニタリング評価の決定 27年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価（評価委員会7月14日）
	12月	平成28年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
29年	9月	平成28年度モニタリング評価の決定 28年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価並びに指定期間全体（24年～28年度）の評価（評価委員会 7月13日）
	12月	29年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
30年	10月	平成29年度モニタリング評価の決定 29年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（評価委員会 7月12日）
	11月	平成30年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 27日）
令和元年	10月	平成30年度モニタリング評価の決定 30年度全期 第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
	11月	令和元年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
2年	10月	令和元年度モニタリング評価の決定 元年度全期 第1次評価（担当者 6月11日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
3年	1月	令和2年度上半期モニタリング第一次評価（担当者 14日）
	10月	令和2年度モニタリング評価の決定 2年度全期 第1次評価（担当者 6月18日）第2次評価（評価委員会 7月8日）
	12月	令和3年度上半期モニタリング第一次評価（担当者 22日）
4年	10月	令和3年度モニタリング評価の決定 3年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価並びに指定期間全体（H29年～R3年度）の評価（評価委員会 7月12日）
	12月	新評価項目での令和4年度上半期モニタリング第一次評価（担当者 22日）

モニタリングの流れ

4月～9月	
10月～3月	上半期（4～9月分）のモニタリング 第1次評価（担当者による書類審査、ヒアリング等）のみ
翌年度4月～	指定管理者が前年度の年次報告書を提出（60日以内） 前年度の全期（一年分の）モニタリング 上半期と併せて担当者による第1次評価 モニタリング評価委員による第2次評価（7月頃） 選定審査会会長である副市長への報告で評価の決定（9～10月頃）

③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）市川市市川駅南口図書館指定管理者の指定について（議案第37号）
	12月	議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
24年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2期目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	（税率8%に伴う）変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	（行政不服審査法の改訂に伴う）変更基本協定書締結（1日）
	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
	7月	指定管理者公募受付（7/7～14）に2社応募
	8月	選考委員会による1次審査（9日）
	10月	選定審査会による2次審査（12日）
	12月	定例教育委員会報告（1日）（第21号）

		12月議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出 委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決 指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
平成29年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	3期目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）
令和元年	9月	（税率10%に伴う）変更基本協定書締結（30日）
3年	6月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（22日）
	8月	指定管理者公募受付（8/5～13）に2社応募
	9月	選考委員会による1次審査（30日）
	10月	選定審査会による2次審査（14日）
	11月	12月議会開会（29日）指定管理者の指定の議案（第50号）提出
	12月	定例教育委員会報告（6日）（第23号） 委員長報告・本会議議決（7日）、議案第50号可決 指定管理者の告示及び通知（28日）株式会社ヴィアックス
4年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	4期目の指定管理期間の開始（5年間:R4/4/1～9/3/31）

評価一覧表 施設名:市川市市川駅南口図書館 指定管理者:株ヴィアックス 適用期間:令和3年度全期

No.	大項目	評価視点	1か年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	利用者アンケートの実施等に関する事	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2	B	2
2	利用者の要望及び苦情に関する事	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	A	3	A	3
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2
4	5※ 職員の配置・補充体制に関する事	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2
6★		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2
7	個人情報の保護に関する事	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3
8★	指定管理者の経理に関する事	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2
9★	文書管理に関する事	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2
10★	提出書類に関する事	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2
11※	施設賠償責任保険の付保に関する事	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2
12※	第三者への一括委託に関する事	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2
13※	施設の目的外使用に関する事	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2
14★	市の財産の管理に関する事	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2
15★	16 施設・備品の維持管理・修繕に関する事	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	B	2
16		備品は適正に管理しているか。	B	2	B	2
17	施設の状況に関する事	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
18	19 事故・緊急事態の対応に関する事	事故防止、安全対策がされているか。	B	2	B	2
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	B	2	B	2
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2
21	公共性の尊重に関する事	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2
22※	法令等の遵守に関する事	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2
23	情報の公開に関する事	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2
24★	指定管理者の経営状況に関する事	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	-	-
25	31 図書館サービス業務に関する事	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	A	3	A	3
26		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか。(外部データベース・ICタグ)	A	3	A	3
27		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか。	A	3	A	3
28		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか。	A	3	A	3
29		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか。	A	3	A	3
30		行事は適切に行われているか。	A	3	A	3
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	A	3
32★		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
34		予約業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	A	3	B	2
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか。	A	3	A	3
38		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2
合計点			87		84	
総合評価			良		良	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

★: B・C・Dの3段階で評価→6,8~10,14,15,24,32

※: B・Dの2段階で評価→5,11~13,20,22

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全38項目(令和3年度全期)

総合評価	合計評価点
優	100点~90点
良	89点~60点
可	59点~ 点
改善	D評価あり

全37項目(令和3年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	95点~85点
良	84点~57点
可	56点~ 点
改善	D評価あり

(8) 関連施設

① 市民図書室 (p. 50)

図書室名	住所・電話番号	開室日・開室時間	床面積	開設年月日
塩焼市民図書室 (塩焼読書センター)	市川市塩焼5-9-8 047 (397) 6823	水・土・日曜 10:00~16:00	135.0㎡	昭和56年10月8日
福栄市民図書室	市川市南行徳2-2-1 047 (395) 5020	水・土・日曜 10:00~16:00	112.5㎡	昭和60年10月5日
大柏市民図書室	市川市大野町2-1877 047 (338) 7897	水・土・日曜 10:00~16:00	315.0㎡	平成3年4月1日

② 公民館図書室 (p. 51)

公民館図書室名	住所・電話番号	貸出日・時間	床面積
大野公民館図書室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜~金曜 9:30~12:00 13:00~17:00 土・日曜 9:30~17:00	127.0㎡
西部公民館図書室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜~日曜 9:30~12:00 13:00~17:00	112.0㎡
曾谷公民館図書室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	水・木・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	144.0㎡
東部公民館図書室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火・水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	81.0㎡
市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	水・土曜 9:30~12:00 13:00~16:30	40.5㎡
市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	水・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	31.4㎡
本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水・金・土・日曜 9:30~12:00 13:00~16:30	170.0㎡

③ 男女共同参画センター(ウイズ)情報資料室 (p. 51)

住所・電話番号	開室日	交通	床面積
市川市市川1-24-2 市川西消防署4階 047 (322) 6700	水・土・日曜 (祝日は除く) 9:30~17:00	JR市川駅 京成市川真間 駅より徒歩5分	93.0㎡

④ いちかわ情報プラザ (p. 51)

住所・電話番号	利用時間	交通
市川市南八幡4-2-5 いちかわ情報プラザ2階 047 (314) 0811	火曜~金曜 10:00~19:30 土・日・祝日 10:00~18:00 (第4日曜日は除く)	JR本八幡駅南口より徒歩1分

7. 令和5年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	対前年度比
総 額	268,357,000	266,726,000	1,631,000
一般会計	166,800,000	166,800,000	0
特別会計	79,027,000	76,831,000	2,196,000
公営企業会計	22,530,000	23,095,000	△565,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	対前年度比
一般会計のうち教育費	14,602,000 (一般会計の8.8%)	14,010,000 (一般会計の8.4%)	592,000
教育費のうち図書館費	217,185 (教育費の1.5%)	215,632 (教育費の1.5%)	1,553

(3) 図書館費

(単位：千円)

	令和5年度当初予算額	細 節	令和4年度当初予算額
総 計	217,185		215,632
7. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	63
8. 旅 費	6	◎職員旅費 6	10
10. 需 用 費	77,105	◎消耗品費 58,790 ◎定期刊行物費 9,020 ◎印刷製本費 1,741 ◎燃料費 111 ◎光熱水費 4,592 ◎物品等修繕料 300 ◎自動車修繕料 47 ◎施設修繕料 2,500 ◎医薬材料費 4	82,518
11. 役 務 費	1,868	◎通信運搬費 1,497 ◎手数料 371	1,894
12. 委 託 料	115,422	◎委託料 115,422	108,204
13. 使用料及び 賃借料	7,315	◎使用料 5,084 ◎賃借料 2,231	7,315
17. 備品購入費	3,484	◎事業用機械器具費 550 ◎図書費 2,934	3,696
18. 負担金補助 及び交付金	11,922	◎負担金 11,922	11,932
26. 公 課 費	0	◎自動車重量税 0	0

(4) 館別資料費

○ 図書館

(単位：千円)

館名	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
中央	24,687 (24,687)	2,625 (2,625)	27,312 (27,312)	425 (425)	5,185 (5,185)	32,922 (32,922)
行徳	6,475 (6,475)	309 (309)	6,784 (6,784)	304 (304)	1,607 (1,607)	8,695 (8,695)
信篤	1,952 (1,952)	0 (0)	1,952 (1,952)	0 (0)	528 (528)	2,480 (2,480)
南行徳	1,952 (1,952)	0 (0)	1,952 (1,952)	0 (0)	539 (539)	2,491 (2,491)
平田	1,952 (1,952)	0 (0)	1,952 (1,952)	0 (0)	495 (495)	2,447 (2,447)
市川駅南口	2,575 (2,575)	0 (0)	2,575 (2,575)	294 (294)	650 (650)	3,519 (3,519)
図書館 リクエスト	12,150 (12,150)	0 (0)	12,150 (12,150)	0 (0)	0 (0)	12,150 (12,150)
合計	51,743 (51,743)	2,934 (2,934)	54,677 (54,677)	1,023 (1,023)	9,004 (9,004)	64,704 (64,704)

○ 図書館関連施設

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	56 (56)	0 (0)	56 (56)	0 (0)	16 (15)	72 (71)

○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	2,080 (2,080)	0 (0)	2,080 (2,080)	0 (0)	0 (0)	2,080 (2,080)

消耗品図書に、大野・西部図書室のリクエスト予算160千円分を含む。

○ 市民図書室（塩焼・福栄・大柏の3図書室）

(単位：千円)

	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
市民 図書室	840 (840)	0 (0)	840 (840)	0 (0)	0 (0)	840 (840)

○ 資料費総計

(単位：千円)

総計	図書館費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
	54,719 (54,719)	2,934 (2,934)	57,653 (57,653)	1,023 (1,023)	9,020 (9,019)	67,696 (67,695)

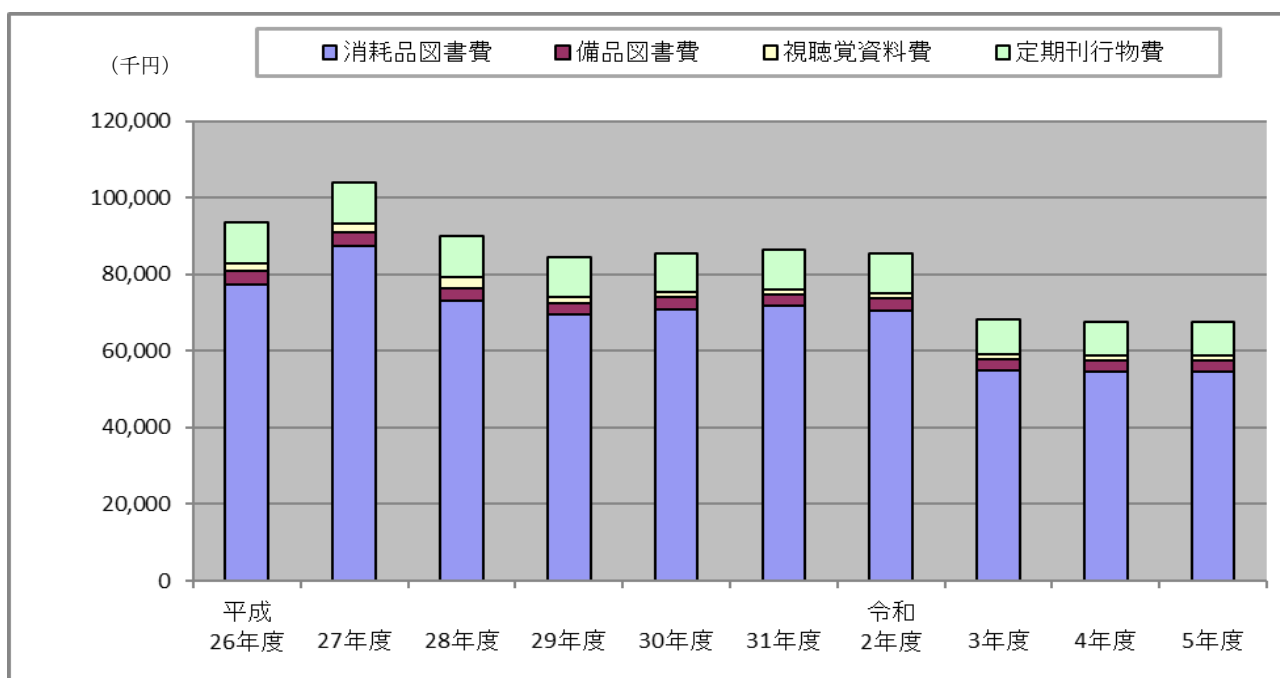
※ () 内は令和4年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

○資料費当初予算額の推移

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
図書費	80,895	91,088	76,398	72,564	73,937	74,694	73,650	57,959	57,653	57,653
消耗品図書費	77,330	87,520	72,980	69,549	70,922	71,681	70,562	55,026	54,719	54,719
備品図書費	3,565	3,568	3,418	3,015	3,015	3,013	3,088	2,934	2,934	2,934
視聴覚資料費	1,924	2,121	2,911	1,485	1,306	1,308	1,290	1,216	1,023	1,023
消耗品費	1,451	1,451	2,157	855	793	811	727	496	473	473
備品購入費	473	670	754	630	513	497	563	720	550	550
定期刊行物費	10,645	10,645	10,645	10,303	10,343	10,343	10,536	9,032	9,019	9,020
合計	93,464	103,854	89,954	84,352	85,586	86,345	85,476	68,208	67,695	67,696



8. 令和4年度統計

(1) 蔵書冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,589	54	331	2,539	369	341	364	15,587
1哲学	23,647	213	749	3,476	1,144	738	736	30,703
2歴史	32,358	263	1,552	8,772	1,869	1,507	2,681	49,002
3社会科学	58,593	463	2,420	15,907	2,711	2,578	1,618	84,290
4自然科学	28,622	404	1,483	6,031	1,783	1,603	1,050	40,976
5技術	21,389	1,759	2,879	8,504	3,052	2,830	5,625	46,038
6産業	9,259	105	707	2,901	775	608	853	15,208
7芸術	36,676	337	2,110	9,519	2,611	1,631	2,837	55,721
8言語	10,018	44	403	2,017	468	354	495	13,799
9文学	51,141	7,051	9,099	29,307	11,362	8,625	7,487	124,072
郷土行政	56,968	0	380	3,932	646	529	518	62,973
参考資料	27,798	0	143	2,110	327	220	403	31,001
外国語資料	13,803	0	0	737	0	0	0	14,540
障がい者資料	9,760	254	0	702	0	0	0	10,716
コーナー別資料	280,710	0	4,498	21,974	9,625	6,279	47,529	370,615
一般計	672,331	10,947	26,754	118,428	36,742	27,843	72,196	965,241

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	524	27	93	279	182	87	75	1,267
1哲学	528	18	107	228	87	70	59	1,097
2歴史	4,628	80	505	1,570	439	523	421	8,166
3社会科学	4,341	105	511	1,613	376	519	430	7,895
4自然科学	8,940	479	1,354	2,867	1,077	1,337	1,186	17,240
5技術	2,996	217	471	1,190	388	492	524	6,278
6産業	1,739	81	255	618	165	254	225	3,337
7芸術	3,654	286	615	1,427	681	602	633	7,898
8言語	983	22	173	352	132	157	125	1,944
9文学	26,893	1,786	3,987	10,361	3,917	4,981	3,121	55,046
E絵本	36,514	2,540	6,641	16,285	5,420	6,144	6,442	79,986
P紙芝居	1,306	142	238	526	140	227	310	2,889
児童郷土	1,392	0	4	315	78	16	0	1,805
児童参考	811	0	17	166	47	23	77	1,141
児童研究	2,857	0	0	584	67	135	0	3,643
児童計	98,106	5,783	14,971	38,381	13,196	15,567	13,628	199,632

図書計	770,437	16,730	41,725	156,809	49,938	43,410	85,824	1,164,873
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,638	0	785	5,318	1,260	1,114	1,032	56,147
ビデオ	326	0	0	7	0	0	0	333
DVD	2,021	0	0	480	0	0	999	3,500
CD	11,678	0	0	7,328	0	0	0	19,006
その他付録等	748	0	7	70	2	3	50	880
図書以外計	61,411	0	792	13,203	1,262	1,117	2,081	79,866

総計	831,848	16,730	42,517	170,012	51,200	44,527	87,905	1,244,739
-----------	----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	------------------

		大野公民館図書室	17,232	市川駅南公民館図書室	7,022	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	163,268
塩焼市民図書室	19,472	西部公民館図書室	15,593	本行徳公民館図書室	17,596		
福栄市民図書室	20,281	曾谷公民館図書室	13,282	公民館図書室計	91,003		
大柏市民図書室	17,358	東部公民館図書室	11,395	ウィズ情報資料室	15,154		
市民図書室計	57,111	市川公民館図書室	8,883	その他計	15,154		

他施設含む総計 **1,408,007**

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	19,215	0	296	2,486	371	386	373	23,127
千葉県	25,199	0	84	1,446	275	143	145	27,292
市民文庫	6,421	0	0	0	0	0	0	6,421
特別コレクション	6,133	0	0	0	0	0	0	6,133
合計	56,968	0	380	3,932	646	529	518	62,973

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,584	0	0	702	0	0	0	7,286
中国語	3,918	0	0	9	0	0	0	3,927
韓国語	1,641	0	0	20	0	0	0	1,661
ドイツ語	126	0	0	1	0	0	0	127
フランス語	359	0	0	1	0	0	0	360
スペイン語	310	0	0	1	0	0	0	311
ポルトガル語	123	0	0	1	0	0	0	124
イタリア語	223	0	0	0	0	0	0	223
西洋の諸言語	52	0	0	2	0	0	0	54
東洋の諸言語	467	0	0	0	0	0	0	467
合計	13,803	0	0	737	0	0	0	14,540

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,353	0	0	0	0	0	0	3,353
音訳図書	1,336	0	0	0	0	0	0	1,336
DAISY図書	656	0	0	0	0	0	0	656
大活字本	3,033	254	0	702	0	0	0	3,989
CDブック	1,159	0	0	0	0	0	0	1,159
文芸カセット	13	0	0	0	0	0	0	13
布の絵本	137	0	0	0	0	0	0	137
その他	73	0	0	0	0	0	0	73
合計	9,760	254	0	702	0	0	0	10,716

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	20,009	0	0	2,517	34	1,569	0	24,129
B文庫	57,708	0	4,436	18,807	9,591	4,710	13,036	108,288
V新書	14,685	0	62	650	0	0	12,736	28,133
M外国文学	18,624	0	0	0	0	0	0	18,624
N環境	4,934	0	0	0	0	0	0	4,934
Jビジネス	33,829	0	0	0	0	0	12,556	46,385
X日本文学	56,291	0	0	0	0	0	0	56,291
W平和	9,226	0	0	0	0	0	0	9,226
H暮らし	29,749	0	0	0	0	0	※ 9,201	38,950
D趣味	20,536	0	0	0	0	0	0	20,536
Sスポーツ	5,584	0	0	0	0	0	0	5,584
G旅行	9,535	0	0	0	0	0	0	9,535
合計	280,710	0	4,498	21,974	9,625	6,279	47,529	370,615

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	626,801	9,457	27,065	117,054	44,100	27,094	72,473	100,570	1,024,614
平成30年度	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	98,974	1,029,770
令和元年度	646,925	10,197	25,998	120,091	34,197	27,034	73,967	96,449	1,034,858
令和2年度	654,645	10,597	26,999	121,161	35,217	27,528	73,647	103,933	1,053,727
令和3年度	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	90,177	1,044,014
令和4年度	672,331	10,947	26,754	118,428	36,742	27,843	72,196	90,554	1,055,795

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	96,759	6,458	14,581	37,484	15,273	15,151	14,302	80,250	280,258
平成30年度	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	77,514	272,911
令和元年度	93,599	6,444	14,319	36,446	12,586	15,019	14,596	77,817	270,826
令和2年度	96,381	6,701	14,692	37,437	12,868	15,268	13,537	75,683	272,567
令和3年度	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	71,679	268,327
令和4年度	98,106	5,783	14,971	38,381	13,196	15,567	13,628	71,720	271,352

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	723,560	15,915	41,646	154,538	59,373	42,245	86,775	180,820	1,304,872
平成30年度	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	176,488	1,302,681
令和元年度	740,524	16,641	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563	174,266	1,305,684
令和2年度	751,026	17,298	41,691	158,598	48,085	42,796	87,184	170,163	1,316,841
令和3年度	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	161,856	1,312,341
令和4年度	770,437	16,730	41,725	156,809	49,938	43,410	85,824	162,274	1,327,147

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	63,004	0	1,402	14,825	1,624	1,144	2,399	1,660	84,398
平成30年度	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	1,683	81,066
令和元年度	60,728	0	741	13,568	1,676	1,133	2,289	888	80,135
令和2年度	61,284	0	858	13,255	1,751	1,245	2,326	942	80,719
令和3年度	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	968	79,467
令和4年度	61,411	0	792	13,203	1,262	1,117	2,081	994	80,860

e) 総計の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	786,564	15,915	43,048	169,363	60,997	43,389	89,174	182,480	1,390,930
平成30年度	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	178,171	1,385,430
令和元年度	801,252	16,641	41,058	170,105	48,459	43,186	90,852	175,154	1,386,707
令和2年度	812,310	17,298	42,549	171,853	49,836	44,041	89,510	171,105	1,398,502
令和3年度	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	162,824	1,392,776
令和4年度	831,848	16,730	42,517	170,012	51,200	44,527	87,905	163,268	1,408,007

(2) 分類別貸出冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,092	77	601	4,920	500	775	2,108	14,073
1哲学	23,390	302	1,321	12,617	1,780	2,130	8,801	50,341
2歴史	18,822	560	2,992	24,213	3,048	2,914	16,208	68,757
3社会科学	35,241	397	2,727	27,650	3,155	4,066	12,736	85,972
4自然科学	18,732	325	1,655	13,135	2,136	1,866	6,777	44,626
5技術	15,374	2,092	4,615	28,943	4,379	4,922	22,608	82,933
6産業	4,688	239	625	5,983	756	815	3,207	16,313
7芸術	17,800	271	1,298	12,039	1,868	1,577	9,164	44,017
8言語	10,029	131	408	4,431	544	525	3,082	19,150
9文学	23,095	6,876	10,229	62,069	10,610	11,006	39,851	163,736
郷土行政	3,503	4	132	724	173	167	876	5,579
参考資料	654	0	3	28	1	10	15	711
外国語資料	2,140	7	61	846	18	45	262	3,379
障がい者資料	5,707	220	70	1,685	25	23	564	8,294
コーナー別資料	472,711	1,943	17,421	125,446	32,412	21,792	179,062	850,787
一般計	656,978	13,444	44,158	324,729	61,405	52,633	305,321	1,458,668

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1,018	24	101	664	97	168	473	2,545
1哲学	1,376	64	154	750	84	109	417	2,954
2歴史	5,522	56	420	2,477	297	357	1,869	10,998
3社会科学	7,097	168	443	3,111	446	406	2,138	13,809
4自然科学	18,606	702	1,309	10,243	1,212	1,306	6,119	39,497
5技術	8,292	417	768	5,371	722	1,047	3,768	20,385
6産業	2,800	78	332	1,843	238	296	1,172	6,759
7芸術	9,207	647	1,042	4,756	731	700	3,835	20,918
8言語	1,527	26	136	963	83	193	656	3,584
9文学	72,724	2,637	7,636	39,569	5,247	5,605	25,884	159,302
E絵本	189,373	4,975	16,335	106,269	15,843	17,114	66,972	416,881
P紙芝居	6,043	63	249	3,108	184	379	1,863	11,889
児童郷土	572	0	1	96	10	0	16	695
児童参考	24	1	1	1	0	0	12	39
児童研究	813	3	18	284	9	19	182	1,328
児童計	324,994	9,861	28,945	179,505	25,203	27,699	115,376	711,583

図書計	981,972	23,305	73,103	504,234	86,608	80,332	420,697	2,170,251
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	38,959	204	3,043	19,789	3,422	5,392	10,281	81,090
ビデオ	54	0	0	34	0	0	0	88
DVD	8,847	0	77	2,397	109	127	3,712	15,269
CD	21,729	0	649	12,743	251	692	1,931	37,995
その他付録等	2,452	43	331	4,464	283	198	24,310	32,081
図書以外計	72,041	247	4,100	39,427	4,065	6,409	40,234	166,523

総計	1,054,013	23,552	77,203	543,661	90,673	86,741	460,931	2,336,774
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

		大野公民館図書室	84,037	ウィズ情報資料室	3,209	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	214,602
塩焼市民図書室	4,648	西部公民館図書室	55,990	情報プラザ	47,282		
福栄市民図書室	5,003	曾谷公民館図書室	8,319	千葉商科大学図書館	0		
大柏市民図書室	1,405	東部公民館図書室	4,421	宅配	288		
市民図書室計	11,056	公民館図書室計	152,767	その他計	50,779		

他施設含む総計 **2,551,376**

(2-2) 分野別貸出冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,332	3	95	408	91	119	469	2,517
千葉県	845	1	17	191	49	25	187	1,315
市民文庫	598	0	9	89	22	16	124	858
特別コレクション	728	0	11	36	11	7	96	889
合計	3,503	4	132	724	173	167	876	5,579

(単位：冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	1,445	6	58	799	15	35	222	2,580
中国語	494	1	2	27	3	5	31	563
韓国語	89	0	0	0	0	0	4	93
ドイツ語	28	0	0	12	0	0	0	40
フランス語	33	0	1	2	0	0	1	37
スペイン語	31	0	0	5	0	0	4	40
ポルトガル語	0	0	0	0	0	0	0	0
イタリア語	12	0	0	0	0	5	0	17
西洋の諸言語	2	0	0	1	0	0	0	3
東洋の諸言語	6	0	0	0	0	0	0	6
合計	2,140	7	61	846	18	45	262	3,379

(単位：冊)

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	126	4	2	9	0	0	18	159
音訳図書	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書	57	0	0	0	0	0	0	57
大活字本	2,696	216	61	1,560	20	19	331	4,903
CDブック	2,797	0	5	109	4	1	208	3,124
文芸カセット	0	0	0	0	0	0	0	0
布の絵本等	31	0	2	7	1	3	7	51
合計	5,707	220	70	1,685	25	23	564	8,294

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位：冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	255	0	0	0	0	0	0	255
音訳図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書郵送	2	0	0	0	0	0	0	2
CDブック郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	257	0	0	0	0	0	0	257

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位：冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	26,280	67	663	6,134	579	725	3,089	37,537
B文庫	142,167	795	11,557	89,284	25,603	15,207	97,522	382,135
V新書	10,520	42	561	2,041	719	397	16,878	31,158
M外国文学	7,636	20	172	903	153	207	1,493	10,584
N環境	1,185	0	13	148	16	30	129	1,521
Jビジネス	38,896	118	1,029	6,243	1,032	1,463	23,931	72,712
X日本文学	94,042	314	1,396	10,116	1,665	1,520	8,691	117,744
W平和	2,178	11	17	194	32	37	266	2,735
H暮らし	80,995	426	1,313	6,411	1,442	1,431	22,286	114,304
D趣味	27,344	72	281	1,799	478	332	2,177	32,483
Sスポーツ	8,089	34	102	567	324	75	525	9,716
G旅行	33,378	44	317	1,604	369	368	2,075	38,155
WIウ行政	1	0	0	2	0	0	0	3
合計	472,711	1,943	17,421	125,446	32,412	21,792	179,062	850,787

(2-3) 貸出冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	803,098	9,786	47,809	363,049	69,999	56,780	372,264	103,274	1,826,059
平成30年度	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	108,344	1,776,596
令和元年度	669,481	10,546	41,430	327,622	59,911	50,000	325,075	116,816	1,600,881
令和2年度	483,635	10,399	31,726	297,348	40,961	35,305	238,523	91,220	1,229,117
令和3年度	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	133,076	1,606,989
令和4年度	656,978	13,444	44,158	324,729	61,405	52,633	305,321	138,028	1,596,696

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	329,168	11,349	25,911	199,227	29,405	29,043	101,047	38,986	764,136
平成30年度	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	40,987	752,083
令和元年度	301,475	11,199	23,916	170,290	22,772	23,014	101,201	58,093	711,960
令和2年度	232,703	10,085	22,177	174,842	13,773	14,950	87,132	40,041	595,703
令和3年度	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	66,478	839,367
令和4年度	324,994	9,861	28,945	179,505	25,203	27,699	115,376	69,904	781,487

c) 全体(図書)の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	1,132,266	21,335	73,720	562,276	99,404	85,823	473,311	100,822	2,548,957
平成30年度	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	142,260	2,521,608
令和元年度	970,956	21,745	65,346	497,912	82,683	73,014	426,276	149,331	2,287,263
令和2年度	716,338	20,484	53,903	472,190	54,734	50,255	325,655	174,909	1,868,468
令和3年度	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	199,554	2,446,356
令和4年度	981,972	23,305	73,103	504,234	86,608	80,332	420,697	207,932	2,378,183

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	136,700	150	4,836	54,548	5,688	7,226	50,383	5,345	264,876
平成30年度	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	5,215	241,093
令和元年度	86,332	90	3,357	42,207	4,263	5,932	43,774	4,293	190,248
令和2年度	60,803	140	3,466	36,493	2,999	4,788	17,454	3,975	130,118
令和3年度	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	5,854	174,808
令和4年度	72,041	247	4,100	39,427	4,065	6,409	40,234	6,670	173,193

e) 総計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	1,268,966	21,285	78,556	616,824	105,092	93,049	523,694	147,605	2,855,071
平成30年度	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	154,546	2,769,772
令和元年度	1,057,288	21,835	68,703	540,119	86,946	78,946	470,050	179,202	2,503,089
令和2年度	777,141	20,624	57,369	508,683	57,733	55,043	343,109	135,236	1,954,938
令和3年度	1,089,438	25,797	79,539	561,187	87,803	87,857	484,135	205,408	2,621,164
令和4年度	1,054,013	23,552	77,203	543,661	90,673	86,741	460,931	214,602	2,551,376

(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.44	1.43	1.82	1.94	1.36	2.27	5.79	0.90
1哲学	0.99	1.42	1.76	3.63	1.56	2.89	11.96	1.64
2歴史	0.58	2.13	1.93	2.76	1.63	1.93	6.05	1.40
3社会科学	0.60	0.86	1.13	1.74	1.16	1.58	7.87	1.02
4自然科学	0.65	0.80	1.12	2.18	1.20	1.16	6.45	1.09
5技術	0.72	1.19	1.60	3.40	1.43	1.74	4.02	1.80
6産業	0.51	2.28	0.88	2.06	0.98	1.34	3.76	1.07
7芸術	0.49	0.80	0.62	1.26	0.72	0.97	3.23	0.79
8言語	1.00	2.98	1.01	2.20	1.16	1.48	6.23	1.39
9文学	0.45	0.98	1.12	2.12	0.93	1.28	5.32	1.32
郷土行政	0.06	---	0.35	0.18	0.27	0.32	1.69	0.09
参考資料	0.02	---	0.02	0.01	0.00	0.05	0.04	0.02
外国語資料	0.16	---	---	1.15	---	---	---	0.23
障がい者資料	0.58	0.87	---	2.40	---	---	---	0.77
ポピュラー	1.68	---	3.87	5.71	3.37	3.47	3.77	2.30
一般計	0.98	1.23	1.65	2.74	1.67	1.89	4.23	1.51

中央 ポピュラー	Aヤング 1.31	B文庫 2.46	V新書 0.72	M外国文学 0.41	N環境 0.24	Jビジネス 1.15
総数	X日本文学 1.67	W平和 0.24	H暮らし 2.72	D趣味 1.33	Sスポーツ 1.45	G旅行 3.50

市川駅南口 コーナー別資料	Jビジネス 1.91	H健康・医療 2.42	B文庫 7.48	V新書 1.33
------------------	---------------	----------------	-------------	-------------

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.94	0.89	1.09	2.38	0.53	1.93	6.31	2.01
1哲学	2.61	3.56	1.44	3.29	0.97	1.56	7.07	2.69
2歴史	1.19	0.70	0.83	1.58	0.68	0.68	4.44	1.35
3社会科学	1.63	1.60	0.87	1.93	1.19	0.78	4.97	1.75
4自然科学	2.08	1.47	0.97	3.57	1.13	0.98	5.16	2.29
5技術	2.77	1.92	1.63	4.51	1.86	2.13	7.19	3.25
6産業	1.61	0.96	1.30	2.98	1.44	1.17	5.21	2.03
7芸術	2.52	2.26	1.69	3.33	1.07	1.16	6.06	2.65
8言語	1.55	1.18	0.79	2.74	0.63	1.23	5.25	1.84
9文学	2.70	1.48	1.92	3.82	1.34	1.13	8.29	2.89
E絵本	5.19	1.96	2.46	6.53	2.92	2.79	10.40	5.21
P紙芝居	4.63	0.44	1.05	5.91	1.31	1.67	6.01	4.12
児童郷土	0.41	---	0.25	0.30	0.13	0.00	---	0.39
児童参考	0.03	---	0.06	0.01	0.00	0.00	0.16	0.03
児童研究	0.28	---	---	0.49	0.13	0.14	---	0.36
児童計	3.31	1.71	1.93	4.68	1.91	1.78	8.47	3.56

図書計	1.27	1.39	1.75	3.22	1.73	1.85	4.90	1.86
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	0.84	---	3.88	3.72	2.72	4.84	9.96	1.44
ビデオ	0.17	---	---	4.86	---	---	---	0.26
DVD	4.38	---	---	4.99	---	---	3.72	4.36
CD	1.86	---	---	1.74	---	---	---	2.00

総計	1.27	1.41	1.82	3.20	1.77	1.95	5.24	1.88
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒

2.05

◎年度推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.36	2.29	2.07	1.59	2.13	2.05

(4) リクエスト統計

令和4年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	168,621	25.64%	94.1%
自動車	4,451	0.68%	86.0%
平田	21,689	3.30%	99.2%
行徳	144,585	21.97%	93.3%
信篤	23,322	3.54%	97.8%
南行徳	26,155	3.98%	100.9%
市川駅南口	153,575	23.34%	92.9%
図書館合計	542,398	82.45%	94.1%
ウィズ	1,729	0.26%	85.8%
情報プラザ	45,887	6.97%	98.0%
塩焼市民	4,419	0.67%	112.0%
福栄市民	4,760	0.72%	110.4%
大柏市民	1,488	0.23%	93.6%
大野公民	29,123	4.43%	97.2%
西部公民	15,757	2.39%	115.1%
曾谷公民	7,991	1.21%	93.2%
東部公民	4,132	0.63%	122.5%
千葉商大	0	0	0
宅配	276	0.04%	65.9%
関連施設合計	115,562	17.55%	100.8%
総計	657,960	100%	95.2%

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
令和3年度	691,005	13,942	704,947
令和4年度	657,960	12,941	670,901

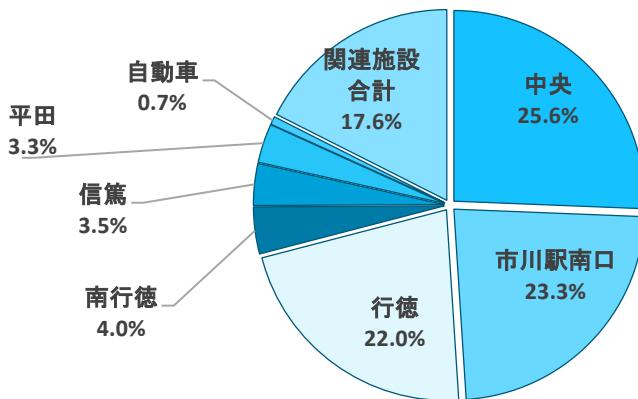
リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内所蔵	購入	市外借用	提供不能	合計
平成29年度	475,488	8,414	5,854	437	490,193
平成30年度	480,591	8,076	5,527	450	494,644
令和元年度	493,412	8,217	4,847	388	506,864
令和2年度	574,680	8,217	3,152	282	585,134
令和3年度	675,941	8,315	6,365	384	691,005
令和4年度	643,363	8,232	5,999	366	657,960

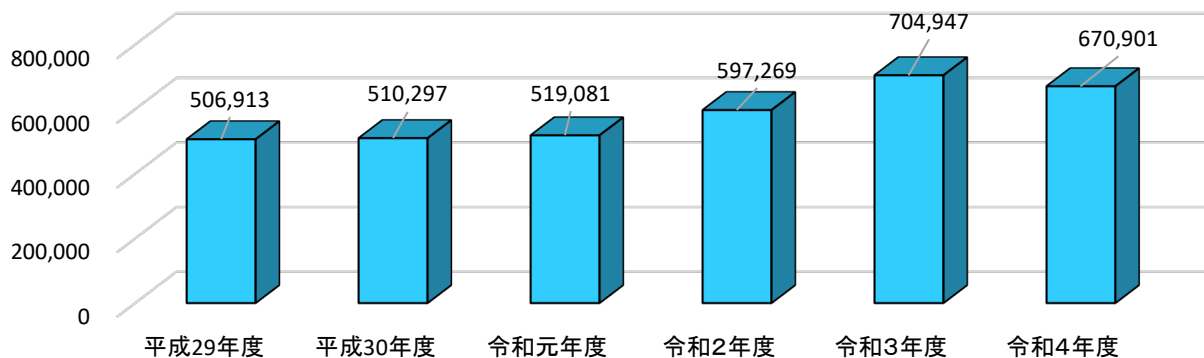
リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	CD	ビデオ	DVD	合計
平成29年度	13,185	108	3,427	16,720
平成30年度	12,895	118	2,640	15,653
令和元年度	9,846	77	2,294	12,217
令和2年度	9,063	4	3,068	12,135
令和3年度	10,746	9	3,187	13,942
令和4年度	10,119	6	2,816	12,941

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト資料別総数の推移



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和元年度	6,513	86	133	2,560	283	328	2,694	17	194	132	12,940
令和2年度	3,678	65	118	1,650	181	212	1,457	14	140	47	7,562
令和3年度	6,059	71	182	2,690	291	356	2,416	4	229	103	12,401
令和4年度	5,737	79	177	2,542	247	341	2,540	4	236	120	12,023
計	21,987	301	610	9,442	1,002	1,237	9,107	39	799	402	44,926

有効登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和元年度	52,358	404	1,656	19,132	2,923	3,070	21,739	108	2,088	429	103,907
令和2年度	45,348	351	1,625	17,505	2,485	2,552	19,591	127	2,029	579	92,192
令和3年度	40,840	342	1,688	17,075	2,294	2,199	18,751	120	2,136	838	86,283
令和4年度	39,578	321	1,777	17,903	2,194	1,971	18,979	116	2,238	1,006	86,083
内12歳以下	4,733	87	243	2,049	235	253	1,331	3	288	177	9,399

実利用者数	25,478	220	1,392	12,528	1,594	1,528	13,286	76	1,622	767	58,491
累積登録者数											644,965
更新者数											18,573

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：令和4年度に更新した登録者数。

※数値には団体登録等も含む。

有効期限内隣接地域登録者 (単位：人)

	隣接	在勤	在学	障がい	計
船橋市	2,886	268	157	3	3,314
松戸市	677	106	72	0	855
鎌ヶ谷市	104	19	7	1	131
浦安市	114	25	21	0	160
江戸川区	208	0	0	0	208
計	3,989	418	257	4	4,668

※隣接地域登録者

隣接地域に居住している方は登録可。

図書5冊まで。視聴覚の貸出不可。予約不可。

(6) 延べ利用者数の推移

※令和3年度より公民館等図書室には各施設の蔵書の利用者数も含めている。

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成29年度	306,234	4,333	22,131	163,595	32,079	24,902	190,805	54,789	798,868
平成30年度	293,330	3,774	20,886	159,897	30,237	23,633	185,940	56,516	774,213
令和元年度	253,320	4,410	18,813	146,520	26,522	21,396	174,046	61,864	706,891
令和2年度	188,849	4,142	14,821	112,712	17,267	15,257	115,813	47,555	516,416
令和3年度	265,086	5,331	21,263	153,731	26,065	23,110	169,523	114,140	778,249
令和4年度	272,249	4,859	21,442	157,579	26,687	23,507	173,928	116,795	797,046

(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※1 地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

※2 令和2年度4月1日～5月31日、1月8日～3月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館。

※3 令和2年度の数值には、臨時休館中に開設した臨時窓口での利用者数、貸出点数を含んでいる。

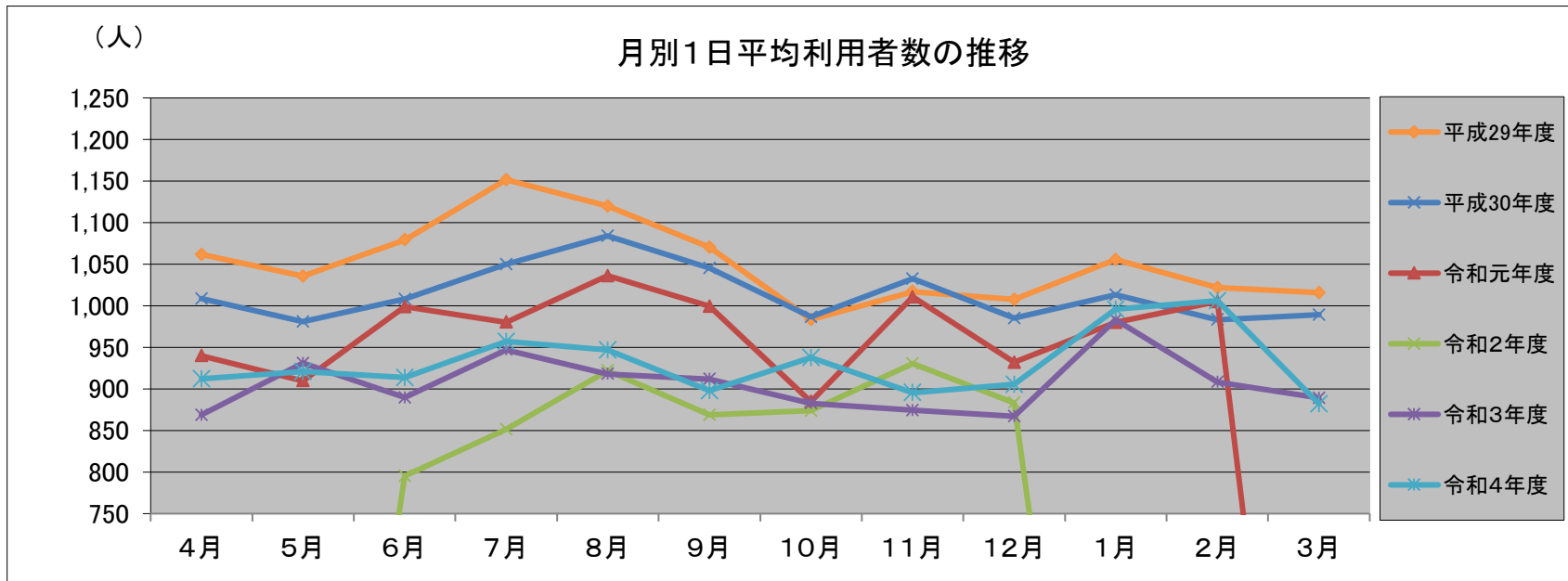
(単位:日) 蔵書点検等

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	休館月
平成29年度	25	25	22	25	27	25	25	25	23	22	22	25	291	6月・2月
平成30年度	25	25	25	25	27	25	25	22	19	22	23	26	289	11-12月
令和元年度	25	26	25	25	27	23	26	17	22	22	23	0	261	11-12月
令和2年度	0	0	24	26	26	25	26	24	24	3	0	7	185	※2・3
令和3年度	25	25	25	26	26	25	26	24	23	19	23	26	293	1月
令和4年度	25	25	25	26	26	25	25	25	23	22	20	26	293	1-2月

(単位:人)

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成29年度	26,537	25,887	23,745	28,791	30,239	26,758	24,587	25,426	23,174	23,218	22,480	25,392	306,234	
	1,061	1,035	1,079	1,152	1,120	1,070	983	1,017	1,008	1,055	1,022	1,016	1,052	95.0%
平成30年度	25,217	24,523	25,206	26,250	29,268	26,137	24,663	22,718	18,718	22,293	22,617	25,720	293,330	
	1,009	981	1,008	1,050	1,084	1,045	987	1,033	985	1,013	983	989	1,015	95.3%
令和元年度	23,499	23,656	24,974	24,506	27,977	22,988	23,006	17,178	20,504	21,557	23,113	362	253,320	
	940	910	999	980	1,036	999	885	1,010	932	980	1,005	-	971	95.8%
令和2年度	2,143	1,363	19,090	22,137	23,975	21,716	22,717	22,331	21,199	10,248	8,939	12,991	188,849	
	-	-	795	851	922	869	874	930	883	-	-	-	1,021	86.4%
令和3年度	21,715	23,272	22,239	24,624	23,869	22,796	22,953	20,989	19,942	18,681	20,892	23,114	265,086	
	869	931	890	947	918	912	883	875	867	983	908	889	905	140.4%
令和4年度	22,806	23,025	22,845	24,884	24,618	22,450	23,440	22,388	20,825	21,911	20,122	22,935	272,249	
	912	921	914	957	947	898	938	896	905	996	1,006	882	929	102.7%

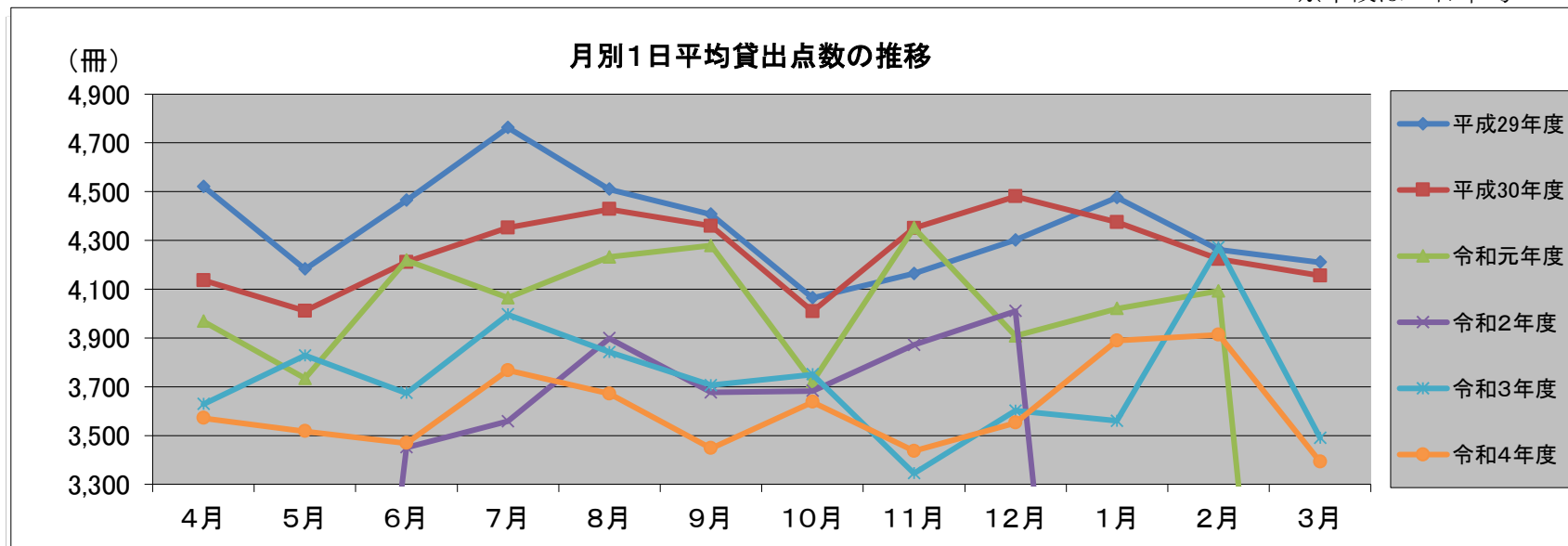
※下段は一日平均



(単位:点)

貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成29年度	113,037	104,555	98,213	119,063	121,767	110,181	101,598	104,109	98,932	98,475	93,778	105,258	1,268,966	
	4,521	4,182	4,464	4,763	4,510	4,407	4,064	4,164	4,301	4,476	4,263	4,210	4,361	96.6%
平成30年度	103,417	100,269	105,283	108,802	119,552	108,987	100,228	95,706	85,122	96,234	97,132	108,040	1,228,772	
	4,137	4,011	4,211	4,352	4,428	4,359	4,009	4,350	4,480	4,374	4,223	4,155	4,252	96.8%
令和元年度	99,212	97,084	105,480	101,616	114,268	98,423	96,743	73,973	85,979	88,448	94,132	1,930	1,057,288	
	3,968	3,734	4,219	4,065	4,232	4,279	3,721	4,351	3,908	4,020	4,093	-	4,051	86.0%
令和2年度	6,778	4,992	86,281	92,518	101,354	91,902	95,747	92,918	92,225	35,205	26,385	50,836	777,141	
	-	-	3,451	3,558	3,898	3,676	3,683	3,872	4,010	-	-	-	2,652	73.5%
令和3年度	90,723	95,698	91,847	103,897	99,896	92,662	93,759	83,614	82,836	78,305	85,451	90,750	1,089,438	
	3,629	3,828	3,674	3,996	3,842	3,706	3,750	3,345	3,602	3,559	4,273	3,490	3,718	140.2%
令和4年度	89,273	87,928	86,716	97,938	95,451	86,186	90,929	85,897	81,688	85,555	78,255	88,197	1,054,013	
	3,571	3,517	3,469	3,767	3,671	3,447	3,637	3,436	3,552	3,889	3,913	3,392	3,597	96.7%

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	170	8	114	-3	61	1	1	0	0	2	11	5	8	0	8	144	5	230	0	-81
1哲学	415	52	128	7	346	7	1	0	0	8	26	14	14	0	26	166	15	163	1	19
2歴史	575	21	427	25	194	8	1	0	0	9	94	19	35	0	78	367	11	340	2	40
3社会科学	1,185	18	618	0	585	18	2	1	1	20	112	15	128	3	2	599	37	535	6	107
4自然科学	530	2	45	31	518	7	0	0	0	7	94	20	116	-5	-7	248	14	327	1	-64
5技術	361	14	224	54	205	61	1	0	0	62	100	2	152	0	-50	407	16	455	2	-30
6産業	180	7	46	1	142	5	0	0	0	5	18	6	41	1	-16	118	4	32	-1	89
7芸術	385	27	69	-5	338	0	1	0	0	1	30	5	36	-1	-2	205	7	94	-1	117
8言語	186	4	42	12	160	0	0	0	0	0	6	1	6	0	1	47	3	23	2	29
9文学	199	15	191	127	150	157	24	3	4	182	406	17	286	0	137	965	58	759	4	268
郷土行政	144	671	33	140	922	0	0	0	0	0	2	21	10	-32	-19	9	124	212	22	-57
参考資料	337	16	10	12	355	0	0	0	0	0	3	0	1	-4	-2	51	1	19	5	38
外国語資料	72	11	15	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4	4	0	13
障がい者資料	109	68	184	0	-7	8	0	0	0	8	0	0	0	0	0	13	0	2	0	11
ポピュラー	8,135	793	3,728	364	5,564	0	3	0	-3	0	157	63	255	2	-33	872	444	1,358	6	-36
一般計	12,983	1,727	5,874	765	9,601	272	34	4	2	304	1,059	188	1,088	-36	123	4,224	743	4,553	49	463

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
1,805	125	629	14	1,315	22	7	5	0	24	1,105	14	612	73	580	471	6	103	9	383

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	10	3	2	-9	2	0	0	1	0	-1	2	2	0	0	4	7	2	10	-2	-3
1哲学	6	1	2	-5	0	0	0	8	0	-8	1	1	0	0	2	3	1	5	0	-1
2歴史	48	34	5	24	101	1	0	12	-1	-12	3	2	2	0	3	19	4	6	2	19
3社会科学	101	31	21	4	115	0	0	12	0	-12	6	6	0	0	12	21	7	4	-2	22
4自然科学	180	25	116	12	101	11	0	62	0	-51	14	1	4	7	18	83	7	41	0	49
5技術	102	13	37	27	105	2	0	29	0	-27	7	4	6	0	5	37	5	26	0	16
6産業	34	8	10	18	50	3	0	4	0	-1	3	3	1	0	5	16	3	2	0	17
7芸術	63	17	51	3	32	0	0	22	0	-22	11	3	4	0	10	27	3	23	3	10
8言語	24	1	2	-2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1	3
9文学	656	273	327	48	650	85	0	53	-2	30	69	7	95	0	-19	297	94	140	2	253
E絵本	1,419	518	1,234	40	743	118	2	63	-8	49	168	4	125	1	48	661	59	377	0	343
P紙芝居	85	1	111	0	-25	0	0	1	0	-1	0	0	0	0	0	19	0	3	0	16
児童郷土	1	11	20	-4	-12	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	1	5	0	0	6
児童参考	16	1	2	4	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
児童研究	18	5	2	-3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	1	0	10
児童計	2,763	942	1,942	157	1,920	220	2	267	-11	-56	284	33	237	7	87	1,203	193	639	4	761

図書計	15,746	2,669	7,816	922	11,521	492	36	271	-9	248	1,343	221	1,325	-29	210	5,427	936	5,192	53	1,224
-----	--------	-------	-------	-----	--------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	3,839	405	4,118	97	223	0	0	0	0	0	433	1	450	0	-16	1,481	4	816	-1	668
ビデオ	0	0	3	0	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	24	3	38	21	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3	2	0	23
CD	26	10	72	2	-34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	24	63	0	-18
その他付録等	4	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
図書以外計	3,893	418	4,233	121	199	0	0	0	0	0	433	1	450	0	-16	1,524	35	885	-1	673

総計	19,639	3,087	12,049	1,043	11,720	492	36	271	-9	248	1,776	222	1,775	-29	194	6,951	971	6,077	52	1,897
----	--------	-------	--------	-------	--------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

	大野公民館図書室					西部公民館図書室					市川公民館図書室					市川駅南公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	185	606	638	-35	118	171	228	354	-11	34	78	75	7	0	146	66	45	139	0	-28
児童	130	73	380	-87	-264	111	49	94	2	68	0	53	0	0	53	19	25	65	0	-21
計	315	679	1018	-122	-146	282	277	448	-9	102	78	128	7	0	199	85	70	204	0	-49

	塩焼市民図書室					福栄市民図書室					大柏市民図書室					ウイズ情報資料室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	69	144	75	0	138	62	281	148	0	195	108	0	107	0	1	45	16	4	-7	50
児童	129	118	475	0	-228	111	150	0	0	261	66	0	45	0	21	0	0	0	0	0
計	198	262	550	0	-90	173	431	148	0	456	174	0	152	0	22	45	16	4	-7	50

(単位:冊)

一般書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	15	3	8	1	11	18	2	7	1	14	7	0	3	-1	3	366	24	370	-2	18
1哲学	39	17	3	0	53	46	6	10	0	42	19	8	22	-10	-5	718	113	340	-2	489
2歴史	122	8	11	0	119	103	7	145	0	-35	79	6	86	-28	-29	1,348	73	1,044	-1	376
3社会科学	111	29	7	6	139	120	14	69	5	70	32	11	98	-20	-75	2,177	126	1,456	1	848
4自然科学	91	17	10	0	98	86	4	90	1	1	26	2	45	-37	-54	1,082	59	633	-9	499
5技術	143	21	18	-1	145	138	1	195	0	-56	101	1	180	-52	-130	1,311	56	1,224	3	146
6産業	23	2	1	0	24	17	5	39	0	-17	9	0	8	-4	-3	370	24	167	-3	224
7芸術	38	33	14	1	58	26	2	79	0	-51	31	4	40	-12	-17	715	79	332	-18	444
8言語	14	3	1	0	16	9	2	14	1	-2	8	1	19	-6	-16	270	14	105	9	188
9文学	381	44	46	2	381	416	15	245	0	186	285	19	126	-69	109	2,809	192	1,656	68	1,413
郷土行政	2	30	10	8	30	6	24	23	0	7	4	39	4	-17	22	167	909	292	121	905
参考資料	9	0	3	-5	1	9	0	2	-7	0	9	0	5	-10	-6	418	17	40	-9	386
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	15	19	0	81
障がい者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	68	186	0	12
ポピュラー	186	356	160	1	383	155	153	269	-4	35	1,011	189	1,361	-371	-532	10,516	2,001	7,131	-5	5,381
一般計	1,174	563	292	13	1,458	1,149	235	1,187	-3	194	1,621	280	1,997	-637	-733	22,482	3,770	14,995	153	11,410

M外国文学					N環境					Jビジネス				
294	7	60	-4	237	61	3	13	0	51	994	33	368	195	854
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
166	1	38	9	138	420	1	565	-16	-160	0	0	0	0	0

(単位:冊)

児童書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	2	2	2	0	2	5	2	3	3	7	0	2	4	1	-1	26	13	22	-7	10
1哲学	2	0	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	15	3	17	-5	-4
2歴史	5	2	0	0	7	5	1	6	0	0	10	2	8	-7	-3	91	45	39	18	115
3社会科学	3	4	1	0	6	5	5	6	0	4	5	9	5	1	10	141	62	49	3	157
4自然科学	17	0	1	0	16	12	0	66	0	-54	8	6	34	4	-16	325	39	324	23	63
5技術	8	3	4	0	7	10	3	12	0	1	4	4	41	8	-25	170	32	155	35	82
6産業	3	0	0	0	3	3	3	6	0	0	3	3	4	0	2	65	20	27	18	76
7芸術	3	2	1	0	4	6	2	0	0	8	9	3	28	4	-12	119	30	129	10	30
8言語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	27	1	4	-1	23
9文学	90	24	19	2	97	81	8	45	1	45	82	65	111	-16	20	1,360	471	790	35	1,076
E絵本	187	7	40	0	154	207	7	138	-2	74	294	48	400	33	-25	3,054	645	2,377	64	1,386
P紙芝居	0	0	0	0	0	13	0	1	0	12	0	0	1	0	-1	117	1	117	0	1
児童郷土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	20	-5	-7
児童参考	0	0	0	0	0	2	0	2	-3	-3	4	0	8	-2	-6	23	1	12	-1	11
児童研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	8	3	-3	28
児童計	320	44	68	2	298	351	31	286	-1	95	420	142	646	26	-58	5,561	1,387	4,085	184	3,047

図書計	1,494	607	360	15	1,756	1,500	266	1,473	-4	289	2,041	422	2,643	-611	-791	28,043	5,157	19,080	337	14,457
-----	-------	-----	-----	----	-------	-------	-----	-------	----	-----	-------	-----	-------	------	------	--------	-------	--------	-----	--------

(単位:点)

図書以外	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	473	1	809	0	-335	494	0	580	0	-86	572	0	508	-108	-44	7,292	411	7,281	-12	410
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	-3
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	13	-18	9	86	6	53	3	42
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	34	135	2	-52
その他付録等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	4	4	7	1	2
図書以外計	473	1	809	0	-335	494	0	580	0	-86	612	0	522	-126	-36	7,429	455	7,479	-6	399

総計	1,967	608	1,169	15	1,421	1,994	266	2,053	-4	203	2,653	422	3,165	-737	-827	35,472	5,612	26,559	331	14,856
----	-------	-----	-------	----	-------	-------	-----	-------	----	-----	-------	-----	-------	------	------	--------	-------	--------	-----	--------

	曾谷公民館図書室					東部公民館図書室					本行徳公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	110	86	266	0	-70	110	128	534	0	-296	67	0	0	0	67
児童	83	169	191	0	61	78	48	75	0	51	26	0	0	0	26
計	193	255	457	0	-9	188	176	609	0	-245	93	0	0	0	93

	他施設計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	1,071	1,609	2,272	-53	355
児童	753	685	1,325	-85	28
計	1,824	2,294	3,597	-138	383

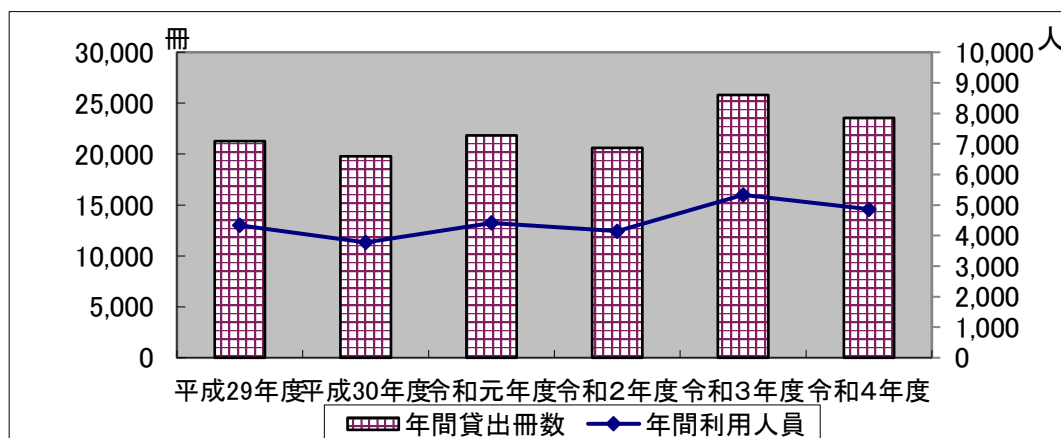
	他施設含む総計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	23,553	5,379	17,267	100	11,765
児童	6,314	2,072	5,410	99	3,075
図書以外	7,429	455	7,479	-6	399
計	37,296	7,906	30,156	193	15,239

(9) 自動車図書館ステーション別統計

	ステーション名	巡回数	貸出冊数		利用人員			
			一日平均	前年度比(%)	一日平均	前年度比(%)		
1	市営大町第1団地	23	627	27.3	56.8	136	5.9	73.9
2	市営大町第2団地	23	780	33.9	107.4	161	7.0	98.8
3	養護老人ホームいこい荘	22	350	15.9	82.2	129	5.9	92.8
4	柏井小学校	22	839	38.1	39.8	162	7.4	30.6
5	大野小学校	22	418	19.0	60.4	102	4.6	71.3
6	宮久保小学校	23	3,860	167.8	128.4	420	18.3	124.3
7	若宮児童公園	22	589	26.8	65.1	111	5.0	68.5
8	北国分2丁目公園	21	1,535	73.1	106.7	244	11.6	99.2
9	堀之内公園	46	2,133	46.4	72.5	507	11.0	72.9
10	歴史博物館	21	630	30.0	114.5	122	5.8	101.7
11	国府台児童公園	22	1,104	50.2	93.2	216	9.8	90.0
12	山王公園	22	1,095	49.8	89.0	184	8.4	95.3
13	宮久保プレーパーク	22	1,065	48.4	70.1	246	11.2	79.9
14	菅野小学校	23	837	36.4	80.8	134	5.8	81.7
15	㈱クボタ菅野ハイツ	22	1,082	49.2	72.0	193	8.8	62.7
16	塩浜団地商店街広場	45	3,983	88.5	93.9	1,148	25.5	99.7
17	島尻西公園	24	313	13.0	42.7	68	2.8	58.1
18	稲越小学校	22	480	21.8	134.1	121	5.5	133.0
19	タムス市川リハビリテーション病院	11	5	0.5	-	1	0.1	-
20	市営曾谷第1団地	12	73	6.1	-	28	2.3	-
21	市川真間グループホーム	10	21	2.1	-	8	0.8	-
22	石橋下公園	11	903	82.1	-	181	16.5	-
23	北方第2公園	11	363	33.0	-	93	8.5	-
24	大洲防災公園	11	339	30.8	-	81	7.4	-
25	行徳児童公園	12	8	0.7	-	3	0.3	-
	ステーション外利用	-	120	-	130.4	60	-	153.8
	合計	525	23,552	44.9	91.3	4,859	9.3	91.1

※19～25: 令和4年度10月以降の新規ステーション

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間巡回日数	153	148	139	141	150	160
年間巡回ステーション数	413	395	376	367	417	525
年間貸出冊数	21,285	19,767	21,835	20,624	25,797	23,552
一日平均	139.1	133.6	157.1	146.3	172.0	147.2
一ステーション平均	51.5	50.0	58.1	56.2	58.4	44.9
年間利用人員	4,333	3,774	4,410	4,142	5,331	4,859
一日平均	28.3	25.5	31.7	29.4	35.5	30.4
一ステーション平均	10.5	9.6	11.7	11.3	12.1	9.3



(10) 市川市の図書館サービス指標

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貸出点数	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376
人口	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048
人口1人当たりの貸出点数(点)	5.81	5.6	5.04	3.93	5.28	5.13
登録者数	111,504	107,810	103,907	92,192	86,283	86,083
人口	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048
登録率(単位:%)	22.7	21.8	20.9	18.5	17.4	17.3
貸出点数	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376
登録者数	111,504	107,810	103,907	92,192	86,283	86,083
実質貸出密度(点)	25.61	25.69	24.12	21.2	30.4	29.6
貸出点数	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376
資料点数	1,208,450	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739
蔵書回転率(単位:回)	2.36	2.29	2.07	1.59	2.13	2.05
年間購入点数	47,233	45,881	44,952	43,157	35,731	35,472
人口	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048
人口1人当たりの年間購入点数(点)	0.10	0.09	0.09	0.09	0.07	0.07
資料点数	1,208,450	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739
人口	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048
人口1人当たりの資料点数(点)	2.46	2.44	2.44	2.47	2.48	2.50
資料購入費:A	82,891,298	84,299,522	85,019,418	84,091,182	65,897,561	66,827,253
人口	491,214	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048
人口1人当たりの資料費(円)	169	171	171	169	133	134
資料購入費:B	79,691,130	81,089,632	81,659,337	80,710,694	63,564,766	64,419,724
÷購入点数	47,233	45,881	44,952	43,157	35,731	35,472
×貸出点数	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376
－総経費	714,449,345	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650
行政効果(単位:円)	4,102,603,017	4,093,685,659	3,729,287,936	2,938,496,638	4,091,081,359	4,040,933,161
総経費	714,449,345	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650
貸出点数	2,855,071	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376
貸出コスト(単位:円)	250.2	289.4	328.4	367	218.2	232.2

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数は視聴覚資料・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したものの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

※令和3年度から、諸経費の中の図書館電算システムに関する経費は情報部門に移管されている。

(11) 開館日数

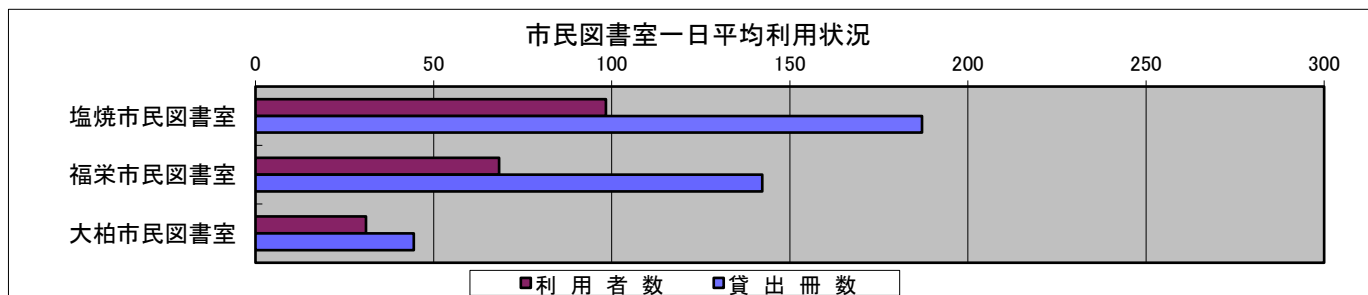
1	中央図書館	293日
2	行徳図書館	291日
3	信篤図書館	282日
4	南行徳図書館	282日
5	平田図書室	282日
6	市川駅南口図書館	295日

(12) 関連施設統計

①市民図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均			一日平均				
塩焼市民図書館	151	14,853	98.4	151	28,247	187.1	460	550	19,472
福栄市民図書館	151	10,333	68.4	151	21,482	142.3	454	148	20,281
大柏市民図書館	148	4,598	31.1	148	6,577	44.4	174	152	17,358
計	450	29,784	66.2	450	56,306	125.1	1,088	850	57,111

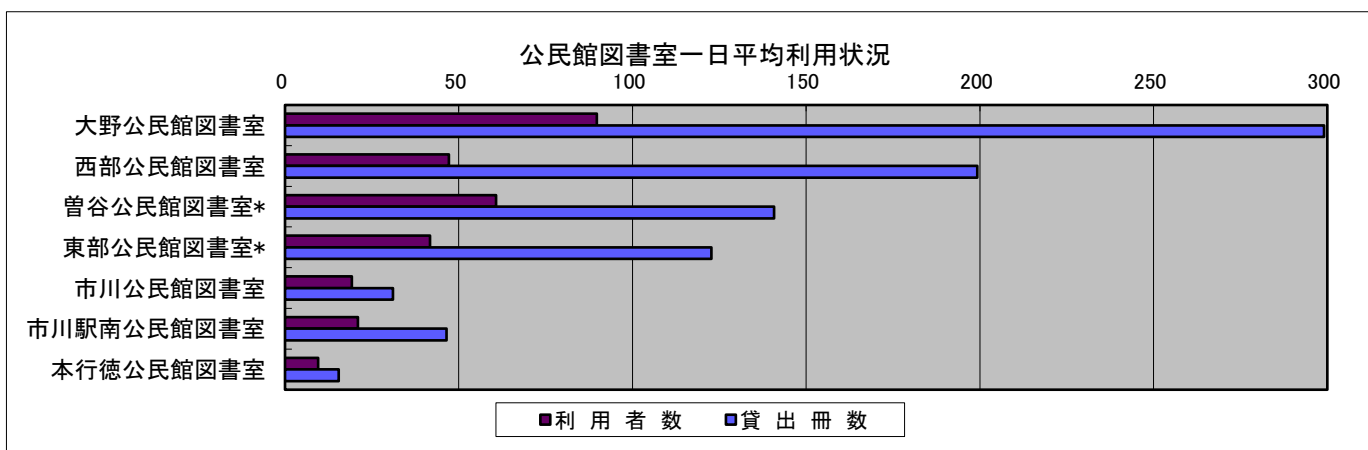
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均			一日平均				
大野公民館図書館	281	25,224	89.8	281	84,037	299.1	1,116	1,262	17,232
西部公民館図書館	281	13,264	47.2	281	55,990	199.3	635	533	15,593
曾谷公民館図書館*	194	11,783	60.7	194	27,314	140.8	451	457	13,282
東部公民館図書館*	136	5,677	41.7	136	16,688	122.7	392	609	11,395
市川公民館図書館	100	1,923	19.2	100	3,110	31.1	206	7	8,883
市川駅南公民館図書館	101	2,123	21.0	101	4,695	46.5	155	172	7,022
本行徳公民館図書館	167	1,577	9.4	167	2,576	15.4	93	0	17,596
計	1,260	61,571	48.9	1,260	194,410	154.3	3,017	3,040	91,003

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト ※休館中の回収

(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

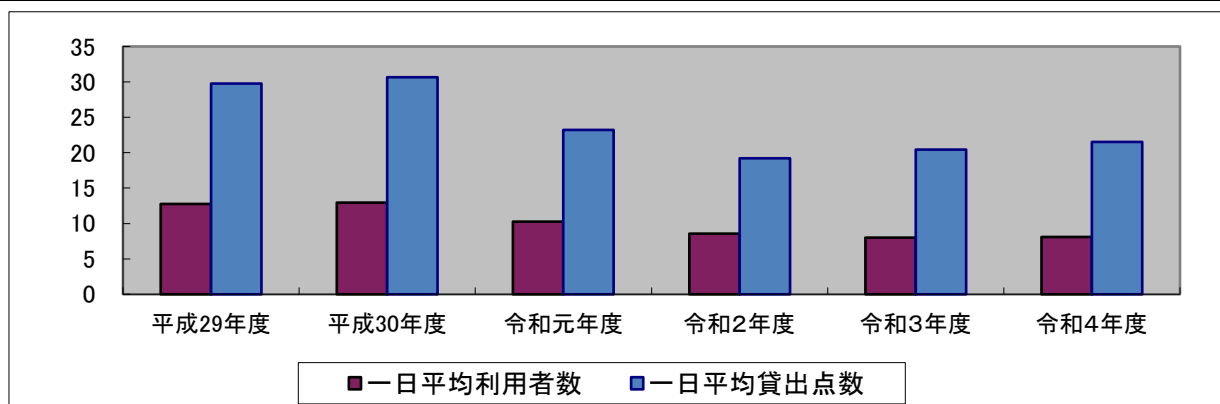
	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,888	4,648	5,271	4,423
福栄市民図書館	2,097	5,003	5,004	4,764
大柏市民図書館	2,860	1,405	1,826	1,489
市民図書館小計	6,845	11,056	12,101	10,676
大野公民館図書館	25,224	84,037	95,518	29,838
西部公民館図書館	13,264	55,990	52,623	16,168
曾谷公民館図書館	3,706	8,319	13,270	7,991
東部公民館図書館	1,804	4,421	8,099	4,132
公民館図書館小計	43,998	152,767	169,510	58,129
合計	50,843	163,823	181,611	68,805

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	57,747	27.3%
市川公民館	7,991	3.8%
歴史博物館	833	0.4%
ベルクス市川堀之内	15,993	7.5%
中山窓口連絡所	4,420	2.0%
市役所本庁舎	18,592	8.8%
イオン市川妙典	64,681	30.5%
南行徳市民センター	33,289	15.7%
塩浜市民体育館	2,984	1.4%
菅野公民館	5,209	2.5%
大野公民館※	35	0.1%
合計	211,774	100.0%

④男女共同参画センター(ウィズ)情報資料室

※令和2年度より週3日(水・土・日)の開室

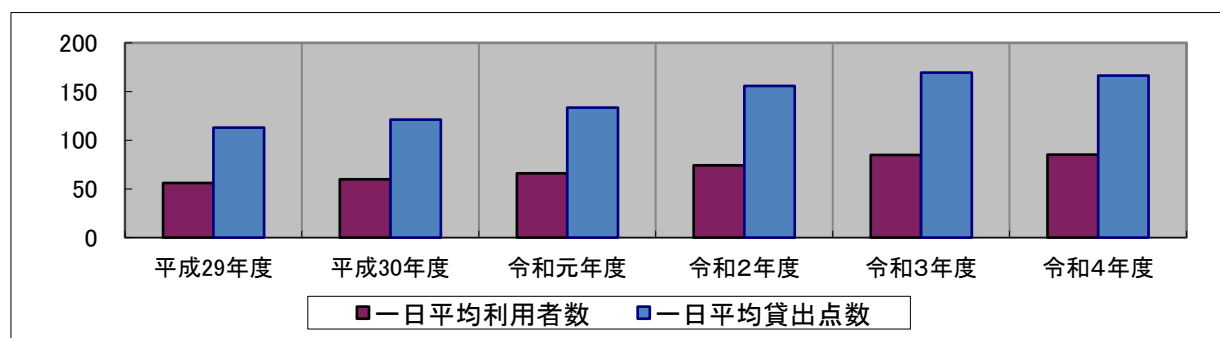
	開館日数	利用者数		貸出点数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均	一日平均	一日平均			
平成29年度	267	3,406	12.8	8,687	29.8	239	737	15,851
平成30年度	263	3,409	13.0	7,947	30.7	180	788	15,243
令和元年度	242	2,483	10.3	8,061	23.2	776	1,112	14,907
令和2年度	167	1,428	8.6	5,614	19.2	208	32	15,083
令和3年度	157	1,255	8.0	3,205	20.4	75	54	15,104
令和4年度	149	1,205	8.1	3,209	21.5	61	11	15,154



⑤情報プラザ

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均	一日平均	一日平均
平成29年度	284	15,965	56.2	32,062	112.9
平成30年度	277	16,547	59.7	33,520	121.0
令和元年度	261	17,244	66.1	34,853	133.5
令和2年度	248	18,392	74.2	38,649	155.8
令和3年度	284	24,075	84.8	48,130	169.5
令和4年度	284	24,189	85.2	47,282	166.5

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学附属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均	一日平均	一日平均
平成29年度	260	313	1.2	893	3.4
平成30年度	252	311	1.2	811	3.2
令和元年度	236	316	1.3	971	4.1
令和2年度	0	0	-	0	-
令和3年度	0	0	-	0	-
令和4年度	0	0	-	0	-

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成29年度	20	128
平成30年度	33	242
令和元年度	41	266
令和2年度	39	177
令和3年度	65	445
令和4年度	46	288

※平成18年10月より宅配サービス開始

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

※令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

※一時休止後、平成25年7月より再開

9. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和60年にコンピュータシステムを導入。その後の更新により、市内全域へのネットワーク拡大、Webメニューの多機能化に加え、中央図書館での座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システムの導入を実施した。現在は富士通の図書館システム iLisfi era を使用している。

また、ICタグによる蔵書管理システム iLiscomp を市川駅南口図書館、行徳図書館で先行して導入、令和元年12月に中央図書館ほか市内全図書館で導入を完了した。関連施設では、男女共同参画センター情報資料室、大野・西部各公民館図書室にも導入している。市川駅南口図書館、行徳図書館、中央図書館には、ICタグ対応のセキュリティゲートや自動貸出機等を設置したほか、令和元年度には、中央図書館、行徳図書館に自動返却機と予約受取棚等を設置し、窓口業務の効率化を推進した。

令和4年度には、市川駅南口図書館及び行徳図書館のICタグ関連機器を更新した。行徳図書館には自動貸出機を1台増設し更なる利便性の向上を図った。同時に蔵書点検用機器を無線型に変更し作業の効率化を目指している。

(2) インターネットでのサービス

平成12年10月よりインターネットで蔵書情報を公開し、IDとパスワードにより貸出状況・予約状況の照会が可能となった。

その後もメールでのレファレンス受付、インターネットからの予約受付や貸出延長、利用者登録申請、貸出履歴の保存、Web上のMy本棚の作成、図書館利用券のスマートフォン対応等サービスを拡大し、図書検索結果への書影表示、国立国会図書館等との横断検索、デジタルアーカイブの公開、「青空文庫」等の電子テキストと所蔵資料との一括検索等、Webサービスの多機能化を進めている。

(3) ネットワークの拡充

平成12年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能になった。以降、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設している。

現在、図書館5館1室のほか、関連施設として、男女共同参画センター情報資料室、公民館図書室2室（大野・西部）では、蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、コンピュータによる蔵書管理を行っている。また、いちかわ情報プラザ、公民館図書室2室（曾谷・東部）、市立小学校に併設の市民図書室3室（塩焼・福栄・大柏）、千葉商科大学附属図書館にはオンライン端末を設置し、図書館の予約資料の受渡しを実施している。

（千葉商科大学附属図書館はコロナ禍以降中止）

平成29年全庁的に情報セキュリティ強靱化対策が実施され、図書館業務はインターネット系回線での利用となった。

(4) 図書館内インターネット接続サービス等

図書館内には、利用者用の蔵書検索端末を設置しており、Web-OPACでは蔵書検索以外にもMyページにログインし、Webサービスを利用することができる。

中央図書館・行徳図書館・市川駅南口図書館には、新聞社等のデータベースを導入しており、データベース端末で閲覧及びプリントアウトができる。

中央図書館・行徳図書館では、国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の利用が可能で、中央図書館ではその複写サービスや、「歴史的音源」も利用することができる。

市川駅南口図書館では、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを導入し、令和4年度からID貸出をしている。

中央図書館には、従来のITブースに代わるものとしてリストに登録された図書館や公的機関、

新聞社等のサイトの検索が可能な調べもの用インターネットブースが設置されている。

利用者の持ち込みパソコンのインターネット接続環境の整備として、中央図書館ビジネスルームには有線LANと無線のPOPCHAT、行徳図書館パソコンルームには無線のフリースポット、市川駅南口図書館閲覧席には有線LANと無線のフリースポットを導入している。

また、市内の公共施設には、通信会社のWi-Fiスポット（公衆無線LAN）が設置されており、中央図書館・行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室では、ソフトバンク、ドコモの回線契約をしている機器で、それぞれのWi-Fiス

ポットを利用できる。

令和4年6月に中央図書館にいちかわFree Wi-Fiを設置。館内でインターネット接続できるエリアが広がった。

<参考>

①図書館システム 機器台数

業務用パソコン 89 台、館内 OPAC 15 台、Web-OPAC 10 台、データベース閲覧端末 8 台、調べもの用インターネットブース端末 4 台、座席管理用端末 5 台、デジタルサイネージ 4 台、障がい者用パソコン 1 台

②ICタグ関連機器 台数

自動貸出機 19 台、自動返却機 8 台、予約棚 29 本、予約確認機 3 台、ICセキュリティゲート 9 基、蔵書点検機器 パソコン 6 台 無線型 8 台、ICリーダライタ及びアンテナ 77 台

③オンラインサービス・データベース導入一覧

令和5年4月1日現在

	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	朝日新聞クロスサーチ：朝日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
②	ヨミダス歴史館：読売新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
④	日経テレコン 21 [図書館向け]	○	○		○	○		○	○	
⑤	D1-Law.com:第一法規 法情報総合データベース	○	○		○	○		○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○		○	○		○	○	
⑦	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑧	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
⑨	日経ヴェリタス電子版		○							
⑩	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○

④データベース・プリント枚数(令和4年度)

館	枚数	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写枚数
中央	1,771 枚	92 枚
行徳	70 枚	—
駅南	324 枚	—

非公開

非公開

10. 令和4年度事業概要

概況

・サービス等の段階的復旧

令和4年度は、第7波や8波、変異株の流行等コロナ禍が続くが、一年を通じて通常開館となった。

従来の防止策に加え、全館での検温器の設置、混雑時の入館制限ルールなどは継続しているものの、大きな混乱もなく、順調な運営となった。

サービスや利用の制限も徐々に緩和し、座席等の利用は、中央図書館では仕切り板を残した状況ではあるが、12月1日よりコロナ前の状態に戻した。

イベントの再開については、2年間中止となっていたリサイクルブック市の参加方法をウェブからの事前予約制にし、入場者数も以前より少数にするなどの対応で開催した。図書館友の会の活動は1年を通じて休止となったが、リサイクルブック市には協力を得ることができた。

また、絵本の読み聞かせは、感染防止策をとりながらも段階的に再開し、開催回数を徐々に増やしていった。

一般的に図書館の利用統計の値は、年度を通じて安定的に開館できたことにより、コロナ禍前の水準に戻った。予約統計は今年度もコロナ禍以前の値を上回っており、図書館の利用の仕方が常態になりつつあるように見受けられる。

・既存サービスの継続・改善と新たな取り組み

自動車図書館は、半導体不足により納車が数か月遅延したが、5月から車両を更新した。それに伴い、10月から北部地域を中心にステーションを7か所増設し計25か所で、市北部地域での図書館サービスの拡充を図った。

宅配サービスについては、現状の問題点の把握と見直しに努めた。

平成16年施行の「市川市子どもの読書活動推進計画」を、中央図書館主導で関連各課と協力して改定作業を行った。それに伴い、本来のブックスタートである乳幼児への絵本贈呈の実施に向けて、改めて検討し予算要求を行った。

令和4年度から市川駅南口図書館の指定管理者の

指定期間が更新され、新たな提案であった電子書籍の導入を開始した。市全体での電子書籍の導入についても館内での検討を進め、予算要求など、実現に向けて取り組みを本格化している。

(1) 資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

令和4年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ情報資料室・宅配）の貸出点数は、2,551,376点、延べ利用者数は797,046人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は670,901件であった。

②資料収集

令和4年度の全館の図書費（装備費を含む）は、5,766万円で、大幅な減額があった令和3年度とほぼ同額となった。新刊書の購入を厳選し、寄贈図書の活用や予約の多い資料の複本数を抑える等の対策をしながら、必要な資料の収集に努めた。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架担当制度を設け、各担当で破損本の買い替えや書架整理等、棚揃えの管理を行っている。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

市川駅南口図書館、行徳図書館に続き、令和2年度より中央・信篤・南行徳図書館及び平田図書室でIC機器を用いた蔵書点検を開始した。令和4年度の中央図書館の蔵書点検は1月31日から2月3日に実施した。

(2) リクエストサービス

①リクエストサービス

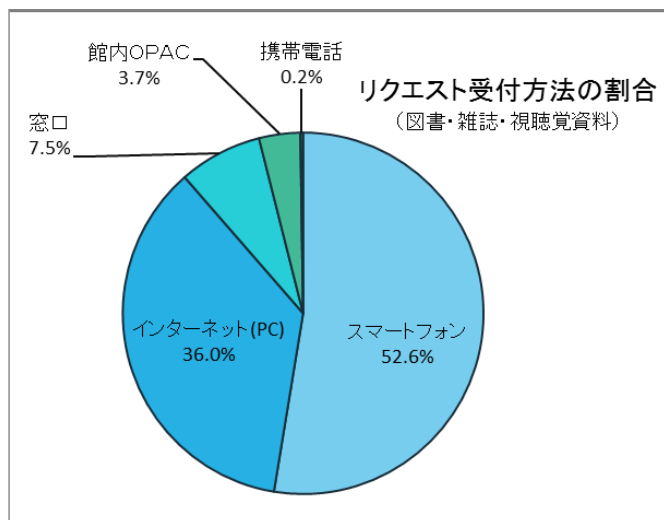
令和4年度のリクエスト受付件数は、前年度比95%と減少に転じている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較すると依然として高い水準で推移している。

受付方法別では、スマートフォンからの予約が52.6%と、はじめて全体の半数を超えた。インターネット（パソコン）での予約から、スマートフォンでの予約への移行が進んでいることが分かる。

リクエスト受付方法別総数

(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	前年比
窓口	50,113	98%
インターネット(PC)	241,492	86%
スマートフォン	352,844	103%
館内OPAC	24,798	91%
携帯電話	1,654	109%
合計	670,901	95%



②国・県・市町村図書館との相互協力

相互協力の貸出冊数は、令和3年度と比較するとやや増加したが、借用冊数はリクエスト受付件数の減少幅とほぼ同じ、前年比94%となった。

令和3年度から相互協力利用が可能になった大野公民館図書室、西部公民館図書室において借用数が増加しており、利用が定着しつつあることが伺える。

他自治体への貸出冊数

	令和3年度	令和4年度
千葉県立図書館	140	133
県内 市町村立図書館	3,557	3,726
その他(県外含)	14	17
合計	3,711	3,876

借受け先別の借用冊数

	令和3年度	令和4年度
国立国会図書館	8	7
千葉県立図書館	1,496	1,384
県内 市町村立図書館	4,833	4,558
その他	28	50
合計	6,365	5,999

借用冊数館別内訳

	令和3年度	令和4年度
中央図書館	2,421	2,038
自動車図書館	156	42
平田図書室	257	308
行徳図書館	1,652	1,330
信篤図書館	276	290
南行徳図書館	155	197
市川駅南口図書館	1,363	1,386
大野公民館図書室	78	360
西部公民館図書室	7	48
合計	6,365	5,999

(3) レファレンスサービス

令和4年度は、47,910件の質問が寄せられた。新型コロナウイルスの流行により、対面でのレファレンスが困難な期間があり利用の減少があったが、一方、メールレファレンスの利用については、広まる傾向が見られた。

電話やメールレファレンスも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「あれこれふぁ（参考業務月報）」として編集し、「レファレンス事例集」としてウェブサイトに掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数と事例に対するアクセス数が多かったことから、令和5年3月に、国立国会図書館より市川市中央図書館へ14度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて冊子「新・参考業務年報」として市役所内部はじめ関係機関へ配布している。

なお、今年度発行分より、「新・参考業務月報」を「あれこれふぁ」と親しみやすく改題している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、令和4年度には6点のパスファインダーを作成・配布した。

一般	写真について調べるには	新規
	知る・楽しむファンタジーの世界	新規
	工芸品について調べるには	新規
地域資料	市川の地図を調べる	改訂
こども	伊能忠敬についてしらべよう	新規
	ユニバーサルデザインについてしらべよう	新規

レファレンスの用に供するため、10種類のオンライン・データベースを導入している。新聞記事検索、官報検索がよく利用され、平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスの利用も定着してきた。

デジタル化資料複写枚数

年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
件数	747	1,127	376	566	879	92

※令和4年度よりデジタル化資料の複写が、一部個人登録者でも可能となったため減少傾向にある。

地域館におけるレファレンスについては、中央図書館がバックアップするなどし、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

レファレンス受付館別件数

中央図書館	18,398	信篤図書館	1,862
行徳図書館	17,797	平田図書室	1,554
南行徳図書館	2,203	市川駅南口図書館	6,096
合計			47,910

(4) 関連施設・類縁機関との連携

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校4校に設置され、併設されている学校図書室と読書教育の推進を担ってきた。

なお、稲越市民図書室は須和田の丘支援学校の児童増加に伴う教室不足のため、令和3年3月31日をもって閉室となった。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の会計年度任用職員が市民ボランティア（ブラウン方式の貸出返却、本の整理等）の協力を得て図書室の運営を行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなど、それぞれ地域住民の活動の場として機能している。

- ・市立図書館とは別に、それぞれの図書室で（ブラウン方式）貸出の利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。
- ・図書館とオンライン化されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができ、その手続きは会計年度任用職員が行っている。

- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回。
- ・令和3年11月1日より図書館利用券の更新サービスを開始した。
- ・令和4年11月18日より視聴覚資料の貸出・返却・予約受け渡し等の取り扱いサービスを開始した。

②公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館図書室の運営については、公民館を所管する社会教育課が社会教育指導員を配置している。

但し、市北部地域の図書館サービスを拡充するため、大野・西部公民館図書室は中央図書館が所管し、会計年度任用職員が運営している（令和4年度も前年度に引き続き大野に再任用1名を配置）。

なお、公民館図書室7室の図書費は図書館が予算化し、選書の審議を行っている。

令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の5室の公民館図書室は、貸出日のみ開室とした。（開室日…開室しているが、窓口が無人のため貸出ができない日がある）

ア. 大野・西部公民館図書室…図書館システムによる蔵書管理

大野公民館図書室は平成28年12月から、西部公民館図書室は平成31年3月から、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館の利用券で共通に利用できることとし、図書の貸出点数は、市立図書館と同じ20冊までとなった。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

- ・平成31年4月からの視聴覚資料の返却可能に続いて、令和3年6月1日から、大野・西部公民館図書室は、視聴覚資料の予約受付を開始した。
- ・令和3年10月1日から、西部公民館図書室は火曜日を開室し、貸出を週6日に拡大した。
- ・令和4年1月5日から、大野・西部公民館図書室は、リクエスト（所蔵しない図書の予約）受

付を開始した。

イ. 曾谷・東部公民館図書室 …受取拠点

貸出方法は、ブラウン方式（1人2冊）を採用しており、それぞれの図書室で利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却と予約の受付・受取ができる。

市立図書館の物流便は週2回巡回。

また令和4年8月から、曾谷・東部公民館図書室は開室時間と貸出時間を以下のように変更した。

開室時間 9:00～12:00 13:00～17:00

貸出時間 9:30～12:00 13:00～16:30

ウ. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

貸出方法は、曾谷・東部公民館図書室と同様。市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

市川及び市川駅南公民館図書室は、集会室の不足を補うため、規模が縮小されている。

また令和4年8月から、市川・市川駅南・本行徳公民館図書室は、開室時間と貸出時間を曾谷・東部公民館図書室と同様に変更した。

③男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。蔵書と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館利用券で利用できる。また、市立図書館の蔵書を予約・受取も可能。

水・土・日曜日の週3日のみを貸出日として開室。

施設の所管は、総務部多様性社会推進課だが、図書購入費及び会計年度任用職員の人件費は図書館費。

市立図書館の物流便は、毎週水・日曜日に巡回。

④いちかわ情報プラザ2階

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の資料の予約貸出のみを委託業者が行っている。なお、図書・雑誌の返却は窓口横に設置されている返却ポストに投函。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

⑤「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館が相互

に連携し、図書資料や情報を流通させることで、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用している。学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア. 参加校数

市川市立の義務教育課程の学校55校（小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校）及び幼稚園6園。

イ. ネットワーク用資料の整備

中央図書館や市内図書館所蔵の資料のほかに、複数の学校からの要望にも対応するため、ネットワーク専用資料10,838冊（令和5年3月末現在）を中央図書館で所蔵している。令和4年度は購入、寄贈等により65冊の受入れを行った。

ウ. 資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、当該校に貸出をする。配送は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校とを結んでいる。

物流回数		70回	
貸出冊数		4,897冊	
依頼件数 507件	内訳	小学校	349件
		中学校	116件
		義務教育学校	1件
		幼稚園	9件
		特別支援学校	32件

エ. 指導研究・調整事務

毎年行われる教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者による学校図書館研修会では、教育センターの職員から資料の配布と確認事項の説明を行ってもらった。

⑥大学図書館及び他機関とのネットワーク事業

ア. 千葉商科大学附属図書館

- ・市川市国府台1-3-1
- ・TEL 047(373)9798

18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学附属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

また、図書館とオンライン化されており、予約図書・雑誌の受取ができる。また、大学附属図書館内に資料返却用のポストが設置されている。

令和4年度は、千葉商科大学が新型コロナウイルス感染拡大防止のため大学関係者以外の入構制限を行ったため、新規紹介状申込み及び予約資料の受取・返却等、連携事業のすべてが中止となった。

イ. 和洋女子大学図書館

- ・市川市国府台2-3-1
- ・TEL 047(371)1111（代表）
047(371)1362（図書館）

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学図書館所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互の物流は、搬送する図書・文書等があるときのみ、金曜日に中央図書館の物流便で行っている。

令和4年度は、和洋女子大学が新型コロナウイルス感染拡大防止のため大学関係者以外の入構制限を行ったので、図書の貸出・借受けは0件であった。

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が前記以外の大学図書館等を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

- 令和4年度に発行した紹介状は、
昭和女子大学図書館 1件

(5) 対象別サービス

①児童サービス

「市川市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、ブックリストやパスファインダーを発行し、子どもたちが本へ関心を抱くようなイベント等を開催している。また、教育センター、こども館など行政各部門と連携し、子どもの読書活動を推進している。

今年度は、平成16年施行の「市川市子どもの読書活動推進計画」を約18年ぶりに中央図書館主導で、上記の関連各課と協力して改定作業を行い、第二次計画として3月に施行した。なお計画期間は、令和5～7年度の3年間とした。

ア. 発行物

子どもの年齢や学年ごとにお薦めの本のリストやリーフレットを作成し、配布している。

小学生向けおすすめの本リストである「本のぼけっと」は、基本版2号を増刷し、2022年版を学校等に新たに配布した。

保護者を対象に絵本の選び方を解説した「本のほかほかだより」0～13号と付録（読み聞かせの本リスト1号・2号）、「新一年生の保護者の方へ」は継続して配布している。

イ. 館内特集展示

こどもとしょかんや、地域館の児童コーナーに季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

こどもが参加できる従来の、母の日、父の日、七夕の願い短冊に加えて、文学ミュージアムでの「星野道夫展」に呼応して、子どもたちから、おすすめの動物の本を募り、動物型のPOPとして、書架に掲示した。

また、Twitterでの図書館への要望に即対応しようという試みから、こどもとしょかんに来館した保護者の方向けに、一般書をブックトラッカー一台分に載せて手に取れるようにした。2月に開始し3月末までに439冊の貸出があった。

※(7)②参照

ウ. 読み聞かせ等

例年、中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、絵本の読み聞かせの会などを実施している。令和4年度も、間隔をとり人数を減らす等の感染防止対策を引き続き講じながら実施した。

また、絵本や紙芝居の読み聞かせ等の動画を作成し、YouTubeで配信した。※(11)参照

イベント名	館	対象年齢	回数	人数
えほんの会	中央	4歳～小学生親子	38	399
	行徳	0～3歳親子	23	443
	信篤	3歳～小学生親子	10	17
	南行	3歳～小学生親子	6	17
らっこの会	中央	0～3歳親子	8	101
わらべうたであそぼう	中央	0～3歳親子	中止	
おはなし会	中央	4歳～小学生		
	行徳	5歳～小学生		

エ. 館内行事

各図書館では、定例の読み聞かせの会のほかに、本に親しみを持ち、新たな本との出会いを創出するイベントを実施している。※(7)③参照

中央図書館では、8月に「小学生のためのこわいおはなし会」、10月に「秋空えほんの会」、12月に「としょかんツアーサンタさんの顔が消えちゃった?!」、1月に「わくわくいっばいふくぶくろ」、3月に「親子で楽しむ科学遊びの会」などを感染防止対策を講じながら開催した。

オ. 大型絵本・大型紙芝居

コロナ禍で密接せず、遠くからも見える大型絵本と大型紙芝居は、非接触サービスの一環として大きな役割を果たした。また従来、団体への貸出利用に限定していたが、令和3年11月から市内在住・在勤・在学の個人利用者への貸出を始め、コロナ禍後も好評に利用されている。

タイトル数：大型絵本111、大型紙芝居16

カ. 出張サービス【中止】

市内の公立小学校・公立保育園・幼稚園を対象に「出張おはなし会」を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

キ. 学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っている。10月6日に柏井小学校49人に実施した。

ク. まちたんけん・地域学習

市内の小学生が授業の一環として「まちたんけん」「地域学習」で来館した。

館名	学校名	回数	人数
行徳図書館	新浜小学校	5	20
南行徳図書館	南行徳小学校	2	35

ケ. 学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った(学校ネットワーク物流便利用)。

学校種別	貸出冊数	(内特別支援)
小学校	2,220冊	(360冊)
中学校	100冊	(100冊)
義務教育学校	0冊	

コ. 乳幼児サービス

中央図書館では、0歳から3歳までの親子対象新型コロナ感染症拡大防止のため中止していた「らっこの会」を再開した。「わらべうたであそぼう」は中止を継続。

行徳図書館では「小さい子のためのえほんの会」(3歳までの親子対象)を実施した。

また、市川市版のブックスタート事業「たのしく絵本! はじめの一步」(こども館事業)に選書面などで協力している。

サ. よみっこ運動

「市川よみっこ運動」からビブリオバトルで集めた募金による本86冊(中央図書館21冊、行徳図書館32冊、市川駅南口図書館33冊)の寄贈を受け、本のPOPを3館で工夫して展示した。

館	寄贈	展示期間
中央	21冊	10月1日(土)～11月29日(火)
行徳	32冊	10月1日(土)～11月29日(火)
駅南	33冊	10月1日(土)～11月9日(水)

②ヤングアダルトサービス

中学生以上19歳までの世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult(若い大人)としてとらえサービスを行っている。

中央図書館では、児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー(ポピュラーライブラリー)の中に設けている。Young Adultコーナーにおいては3か月ごとにテーマを決め特集展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集している。7～9月に絵画ラックでも掲示した。

行徳図書館、南行徳図書館においては、児童サービスの延長として、Young Adult世代向けのサービスを行っている。行徳図書館は、年に4、5回程度テーマを決め特集展示を行っている。資料は、中学生以上向けの児童書である。南行徳図書館ではYoung Adult向け文庫が中心である。

ア. 発行物

・「Young Adult通信」

Young Adult世代向けのブックリストとして年1回作成。市内公立中学校の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のウェブサイトにも掲載している。

・「Young Adult通信 入門編」

Young Adult世代向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、5月に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 てっばんせれくと号」

夏休み前に、10代のうちに出会ってほしいおすすめの本のリストを市内公立中学校2年生全員に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 号外 新生活応援号」

春休み前に、卒業する市内公立中学校3年生全員におすすめの本のリストを学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

イ. イベント

・YA “夏季” 氷本

8月に中学生以上の19歳までの方に、涼しく感じられる本を、ホラー系とクール系に分け、かき氷のイラストをつけて、1冊ずつ包んで用意し、22セット貸出された。

・YA “めで” たいやき本

12月～1月に中学生以上の19歳までの方に、「暖かい」、「熱い」の二つのテーマに分け、1冊ずつ包み中身を隠して用意して、27セット貸出された。

・Yサポ（YAサポーター）大募集

Young Adultコーナーや図書館をPRする活動をするボランティア。コロナ禍で休止していたが、募集を再開した。POPの作成や、イベント手伝い等の活動をのべ20人、16回行った。

ウ. 学校との連携

市内中学校（昭和学院中学校、市川市立第一中学校、第七中学校）及び千葉県立国府台高等学校、市川南高等学校、市川東高等学校から校内で作成した本のPOP等を借用し、各校約2～3か月の期間でYoung Adultコーナーや絵画ラック等に展示した。一緒に展示した本は、常に貸出され好評だった。

③障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、DAISY図書、大活字図書、

CDブック、布の絵本・布のおもちゃ、LLブック等を、購入やボランティア団体の制作によって蔵書として提供している。音訳図書、文芸カセットについては、資料の経年劣化を踏まえ、他媒体での補完も可能であることから令和元年3月末で提供を終了した。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、中央図書館案内カウンター・レファレンスカウンターには聞こえをサポートする対話支援機器 comuoon（コミュニケーション）を、行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行っている。視覚障がい者に対しての対面朗読は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月より中止している。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校を対象に案内パンフレットを配布し、学校ネットワークを通して貸出を行っている。

令和4年度には、ボランティア団体の案内で来館した視覚障がい者に対して、障がい者サービスの利用方法や資料についてのガイダンスを実施した。

障がい者サービス登録者数

障がいの状況・種別	累積登録者数（うち年度新規）
視覚障がい者	103（2）
聴覚障がい者	146（0）
内部疾患・肢体不自由者	167（4）
外来困難者・その他	111（3）
合計	527（9）

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

令和4年度は英語図書52冊、中国語図書43冊、その他の言語5冊、児童書洋書72冊を受け入れた。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市へ、市川市から5冊の贈呈を行った。

ウ. 逐次刊行物（市内全館所蔵タイトル数）

雑誌 英語 9

新聞 英語 3 / 中国語 1 / 韓国語 1

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とし、更新は年度ごと。

貸出日	図書：31日	CD：15日
貸出期間	図書：無制限	CD：3点
予約 (窓口のみ)	1日5タイトル、累計20点まで 新規資料の購入はしない	

・活動場所の提供

中央図書館では、図書館関連5団体に活動場所として集会室・サークル室を提供している。

イ. 読書会サポート

・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で

読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備されており、市立図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

年度	登録団体数	貸出冊(点)数
令和4年度	43	4,624
令和3年度	36	4,291
令和2年度	30	2,954

(6) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料と市民文庫

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）の収集、整理を行った。地域行政資料は、市川独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

中央図書館では絵画ラックやガラスケースを利用して地域に関連する展示を行った。

5～6月には、絵画ラックで「山下清生誕100年」として、貼絵作品のポスターを展示した。

9月～10月には、特集展示「日本の鉄道開業150周年」にあわせ、ガラスケースで、1970年代以降の市川市を走る列車の模型を路線毎に展示したほか、1945年代と1960年代頃の「京成沿線案内」や、京成電鉄と北総鉄道発行の記念乗車券等の展示を行った。

12月～1月には、特集展示「徳川家康と江戸時代」関連展示として、ガラスケースと絵画ラックで「『江戸名所図会』でみる市川の名所」「徳川家康鷹狩の道 東金御成街道」の展示を行い、天保7年刊行の貴重な資料、『江戸名所図会 第20冊（第7巻）松戸・行徳・葛飾等』も公開した。

イ. 特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）

特別コレクションは論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ. 電子化とウェブサイトによる情報発信

3月には、地域資料パスファインダー「市川市ってどんな街？ 5 市川の地図を調べる」の改訂版を

発行し、ウェブサイトも更新した。

また、「大柏川第一調整池緑地だより」のデータの提供を受け、デジタルアーカイブにおけるインターネット公開に向けて順次作業を進めている。

②視聴覚資料

中央図書館ではCD・ビデオ・DVD、行徳図書館ではCD・DVD、市川駅南口図書館ではDVDを所蔵している。

ア. 視聴覚資料（CD・広報ビデオ・DVD）の提供に関すること

貸出点数は、1人CD3点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴コーナーの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ. 試聴コーナーに関すること

[設置台数]

- ・中央図書館：CD用（2台）
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月より利用を中止）

③その他

中央図書館のビデオ架の場所に、健康都市推進課の協力で「SDGsってなんだろう？ SDGsブックコーナー」を令和3年8月から設置している。

同じくビデオ架に令和2年6月から設置した、人気時代小説作家のコーナーは、好評につき作家数を15名に増やして継続している。

（7）主催事業

①リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料及び寄贈資料のうち既に所蔵しているものや資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効に再活用するため、利用者へ無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

中央図書館では市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では行徳公民館レクリエーションホールをそれぞれ会場として、「市川図書館友の会」の協力により開催。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行ってきたが、令和4年度は見合わせた。中央図書館では、参加方法を事前申し込み制に変更して3年ぶりに開催した。

地域の図書館でも小規模なりサイクルブック市の単独開催やリサイクルコーナーの設置を行っている。

令和4年度リサイクルブック市等実施状況

	実施日	対象及び参加数	準備冊数及び提供冊数（提供率）	備考
中央 (第27回)	令和4年11月18日(金)	図書室等 71団体	準備：24,305冊 提供：14,940冊 (提供率：61.5%)	市川図書館友の会の協力
	令和4年11月19日(土)	一般市民 488人		
行徳 (第23回)	令和4年11月26日(土)～12月27日(火)	集計なし	準備：8,725冊 提供：8,682冊 (提供率：99.5%)	
信篤 (第22回)	令和4年11月1日(火)～11月27日(日)	一般市民 667人	準備：3,126冊 提供：2,101冊 (提供率：98%)	
平田	令和4年12月1日(木)～12月27日(火)	集計なし	準備：3,982冊 提供：3,890冊 (提供率：97.7%)	リサイクルコーナーの設置
南行徳	令和4年12月1日(木)～12月4日(日)	集計なし	準備：2,570冊 提供：2,268冊 (提供率：88.2%)	リサイクルコーナーの設置

②特集展示

中央図書館特集展示 一般フロア []は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ガラス展示	絵画ラック
4月	建築・景観と私たち [街づくり計画課・ 整備課]	芽吹き	育ててみよう	ピアトリクス・ポ ター	POP 掲示 [県立東高校]
5月		写真を撮ろう ～日常を特別に～	ウクライナ	木村伊兵衛と土門拳	山下清生誕 100 年
6月	梅雨から夏を 快適に過ごす				
7月		本が運ぶ風	防災 備えあれば… [危機管理課]	Y Aポスター展 [昭和学院中学校]	
8月	名前をめぐる話				自殺予防週間 [健康支援課]
9月		読んで 食べる	イグ・ノーベル賞	没後 100 年 森鷗外とその時代	
10月	日本の鉄道開業 150周年				没後 100 年 森鷗外とその時代
11月		健康に暮らす [地域支えあい課]	断捨離しませんか？	・徳川家康と房総 -東金御成街道 ・江戸名所図会	
12月	徳川家康と江戸時代				もう一つの Another World
1月		Another World ファンタジー世界へ の招待-海外編	手作り工芸に チャレンジ	切り絵作家CHIKUの 楽しい切り絵の世界 展 [3/5 講座]	
2月	工芸品の世界へ [商工業振興課]				数学の日
3月					

健康都市推進課の協力で「SDG s ってなんだろう？ SDG s ブックコーナー」

SDG s (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2016年から2030年までの15年間で、社会分野、経済分野、環境分野の問題を解決することを目指した世界共通の目標。

各分類、児童書から本を選び、元ビデオ架(展示10)で令和3年8月から開設。



中央図書館 Young Adultコーナー

展示期間	特集タイトル
4月～6月	#友だち
7月～9月	ナゾトキ
10月～12月	非・日常
1月～3月	ふぁんたじー

展示期間	生徒作成ポスター・POP展示	冊数
6/18(土)～9/29(木)	市川第七中学校	10
7/1(金)～9/29(木)	昭和学院中学校	79
10/1(土)～12/27(火)	市川第一中学校	8
10/29(土)～12/27(火)	千葉県立国府台高等学校	36
1/11(水)～3/30(木)	千葉県立市川南高等学校	14
	市川東高等学校	33

高校生の作成したPOPについては、吹き抜け下に目立つように特設展示して、一般利用者にも広く知らしめる工夫をした。

中央図書館特集展示 こどもとしょかん []は連携先

展示月	メイン展示	ガラスケース (フロア側)	ガラスケース (メイン展示側)	ロビー側	小展示	一般 展示塔
4月	だいすきともだち	宮本えつよし氏作品展示		はるがきたよ	新一年生	アーノルド ・ローベル
5月	ぼうけんしよう	ピーター・ラビット		母の日	こどもの日	モーリス・ センダック
6月				雨	父の日	
7月	本のぼけっと大集合			星野道夫 [文学ミュージアム]	七夕 /どうぶつおたより	
8月	こどもとしょかん 本のレストラン	世界の昔話	ぞうのババール	しゃしんえほん どうぶつ	くま館長からの 挑戦状	宮沢賢治
9月				お月さまと お星さま	おじいちゃん おばあちゃん	
10月				ビブリオバトル POP展示 [市川よみっこ運動]	山脇百合子 /ハロウィン	
11月	クリスマス			松居直 /なかのひろたか		
12月		クリスマス		クリスマス	年越しの本	
1月	いろいろのりもの べんりなきかい	十二支	お正月	CHIKU氏切り絵 作品展示/雪	お正月	雪
2月		のりもの	うさぎ	CHIKU氏切り絵 作品展示/春 [3/5講座]	せつぶん・おに /福袋おたより	ぞうのババール
3月	さあ しゅっぱつ!				ひなまつり	

行徳図書館特集展示 三階 一般フロア []は連携先

展示月	メイン展示	小展示
4月	疑問形タイトル大集合	追悼 宮崎学
5月	沖縄 一過去・現在、そして未来ー	装幀者 菊地信義の仕事
6月		生誕500年 千利休を読む
7月	本の世界で旅しよう	星野道夫 生誕70年記念
8月		松本清張 没後30年/早乙女勝元さんと考える東京大空襲
9月	本で見つける美味しい秋	相談できる場所がある 心が軽くなる本がある (自殺予防週間) [健康支援課]
10月		—
11月	日本の鉄道開業150年	—
12月		ツタンカーメン王墓発掘100年
1月	徳川家康と歴代将軍たち	—
2月		池波正太郎 生誕100年
3月	令和のベストセラー	追悼 目黒考二/遠藤周作 生誕100年

行徳図書館特集展示 二階 児童・ヤングアダルト

展示月	メイン展示	サブ展示	小展示	季節の展示	ヤングアダルト
4月	春ですね	いろいろたまご	絵本作家ロジャー・デュボアザン	こどもの読書週間	「映える」本
5月	みどりいろ	えいごでえほんをよんでみよう		おかあさん/こいのぼり	
6月		こんな人してる?	あべ弘士	おとうさん/たなばた	
7月	〇〇博士になっちゃおう!	大集合!! まぼろしのいきものたち	グリム兄弟	平和 子どもの本とともに	原作本 -映像化された小説
8月				くだものだいすき	
9月	こんなことってある?	お誕生日の本(家族の週間)	いちかわよみっこ運動ビブリオバトルで紹介した本	ハロウィン	こんな「推し活」はいかが?
10月				おやすみのじかん	
11月	クリスマスの本	堀内誠一生誕90年	お正月		
12月	うさぎの本	ふゆだいすき	版画の絵本	鬼	カラフルな本棚
1月				おはながさいたよ	
2月	のびーるのびる			—	

信篤図書館 特集展示

展示月	一般	児童
4月	気象と防災	はるのほん
5月	目には青葉…	おかあさん/おとうさん
6月		6月小展示 あめふり
7月	戦争と平和	なつがきた/本のぼけっと/課題図書
8月		
9月	図書/図書室/図書館	おしゃれだいすき
10月		10月小展示 ありがとう山脇百合子さん
11月	家族	かぞく
12月	年末年始	クリスマス/おしょうがつ
1月	年末年始 冬を楽しく	おしょうがつ/うさぎ おに
2月		うさぎ/おに/ひなまつり
3月	新生活	はるがきた

南行徳図書館 特集展示

展示月	一般	児童	
4月	チャレンジ	本のぼけっと基本版/新一年生におすすめ	
5月	青春小説	ともだち/幼稚園・保育園・小学校	
6月			おとうさん・おかあさん
7月	沖縄、本土返還50年	雨	夏/課題図書/本のぼけっと
8月			ぼうけん・たんけん
9月	収穫	かぞくっていいね	秋/おいしいものはなし
10月			クリスマス
11月	家族	ふゆ/どうぶつ	
12月	年末年始		
1月	芥川賞・直木賞・本屋大賞	お正月・干支(うさぎ)	
2月			健康
3月	健康	どうぶつ/幼稚園・保育園・小学校	
		本のぼけっと基本版/春	

平田図書室 特集展示

展示月	一般	児童
4月	春、ちょっと心身のリフレッシュ	ゆめ
5月	図書館・図書室	ふしぎでたのしいおじさん&おばさん
6月		あめ
7月	夏	課題図書
8月		
9月	犬と猫 身近な友達	ぞうさん
10月	家族	きのみ・きのこ
11月		たいせつなかぞく
12月	年末・年始	クリスマス
1月	冬	うさぎどし・おしょうがつ
2月		むかしむかし
3月	笑い	ありがとう

③その他イベント

講座

開催日	館名	講座名・内容	人数	講師	場所
3/5(日)	中央	切り絵作家の春花カード作成ワークショップ	19人	切り絵作家 種村千明(CHIKU)氏	メディアパーク 地下集会室

おすすめの本等のイベント

開催日	館名	イベント名	対象	貸出数	内容
7/30(土)～8/14(日)	中央	YA“夏季”氷本	YA向け	22セット	本を包む、 または袋に詰め、 何の本かわからない 状態で貸し出す
7/30(土)～8/2(火)	行徳	イチオシBOOK in summer	一般向け	50セット	
12/17(土)～1/9(月)	中央	YA“めで”たいやき本	YA向け	27セット	
1/5(木)～13(金)	中央	本のお楽しみ袋	一般向け	220セット	
1/5(木)～8(日)	中央	ワクワクいっぱいふくぶくろ	子ども向け	200セット	
1/5(木)～8(日)	行徳	福袋	一般向け	35セット	
1/5(木)～6(金)	行徳	福袋	YA向け	2セット	
1/5(木)～6(金)	行徳	福袋	子ども向け	38セット	
1/5(木)～7(土)	信篤	福いち	一般向け	10セット	
1/5(木)～7(土)	信篤	福いち	子ども向け	14セット	
1/5(木)	南行徳	福壱	一般向け	11セット	
1/5(木)～11(水)	南行徳	本のふくぶくろ	子ども向け	20セット	

④館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数・貸出数
5/5(木)、5/19(木)、 6/2(木)	中央	こどもとしょかんミニ農園(小カブ、ミニキャロット収穫)	延べ18人
7/23(土)	中央	夏のおたのしみ会	31人
7/30(土)～8/21(日)	行徳	としょかんラリー クイズで〇〇博士になっちゃおう	延べ570人
8/2(火)～31(水)	中央	くま館長からの挑戦状	532冊
8/3(水)	行徳	夏のおたのしみ会	18人
8/9(火)	行徳	ちょっぴりこわいえほんの会	16人
8/12(金)	中央	小学生のためのこわいおはなし会	9人
8/12(金)	信篤	小学生のためのおはなし会	6人
10/22(土)	中央	秋空えほんの会	20人
12/24(土)	中央	としょかんツアー「サンタさんの顔が消えちゃった?!」	30人
3/11(土)	中央	親子で楽しむ科学遊びの会 わゴムであそぼう	19人

(8) 市川駅南口図書館自主事業 (指定管理館)

① 展示

展示月	ギャラリー展示	一般展示	ビジネス展示	健康医療展示	児童展示
4月	じゅん菜池四季折折	えきなん 春のパン祭り	なぜ働くの？	食育 ～食べたい心を 育む食育づくり ～	花 いっぱい！
5月	もふもふわんわん ～ポメラニアン兄妹のお写真ぼ写真展～	気軽に読書を楽しもう！	パソコンスキルをアップする	専門医が教える○○	こんな場所に暮らしたい
6月	NHK 学園「はじめての風景スケッチ」展	わたしをおうちへ連れてって！	先人に学ぶ 一度は読んでおきたいビジネス書	健康は美に通ず	すうじを見つけよう！ かぞえよう！
7月	真間川流域－市川の四季・彩り	闘志を燃やせ！	円安と暮らしの行方	子どもを学ぶ 子どもと学ぶ	ようこそ！ 海の世界
8月	行徳自然ほごくらぶ 暑さに負けない！夏の生き物たち	あつまれ！ どうぶつの本	今でも 貿易大国？	1日に必要な 栄養って どれくらい？	虫 みーつけた！
9月	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを！～	味読 してみませんか	メンタル マネジメント	日ごろの疲れを 解消しよう！	いぬとねこ
10月	2022 エドロックの足跡 ～エドロックからカワミュウへ～	大人のための児童文学	学び続ける	介護情報ステーション	お茶会へようこそ！
11月	市川国府台に建つ赤レンガ 坂と大地の地形とともに 全国各地の駅舎建築 まちかどの近代建築写真展 in 市川Ⅷ	「私のおすすめの一冊」	結局、お金のことが知りたい	闘病記を読む	むかしむかしのものがたり
12月	市川写真家協会 アマ部門 IPPS クラブ写真展	東西ミステリー 対決	仕事時間・自分時間を充実させよう	老いを 受け入れる	Merry Christmas
1月	市川大野の梨園の四季を追う	和 (なごみ)	Webをビジネスで活用しよう！	共に生きる	2023年 うさぎ年
2月	和洋女子大学 服飾造形学科 卒業制作写真展	「月が綺麗ですねとか言ってる場合か！」今宵みんなでキュン死しよっぜ！	あなたの文章、伝わっていますか？	ウィルスって なんだ！！	手作りをたの しもう！
3月	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科生徒作品展	道草のすすめ	働きたくないでござる	みんな知りたい 病院のアレコレ	ありがとう！

② 講座

開催日時	講座名	人数	講師	場所
5/28(土) 10:00～11:30	シニア向け iPad 入門講座	8人	かもめ IT 教室代表 岩間麻帆氏	I-link ホール
7/17(日) 10:00～11:30	今の日本に必要な英語教育について考える	10人	英会話教室ママネーナの 学校校長 細中ネーナ氏	I-link ホール
9/16(金) 10:00～11:30	美文字講座～筆ペンを楽しむ～	9人	書道教室かなで組 北村多加氏	I-link ホール
10/31(月) 10:00～16:00	駅南ウィキペディアタウン ～オンライン百科事典で市川の魅力を発見しよう～	8人	ウィキペディア日本語版 元管理者 海瀬(らっこ)氏	市川駅南口図書館
2/19(日) 10:00～11:30	とっさの時に役立つ 筋力アップの知識と体操	11人	和洋女子大学看護学 科新谷奈苗教授	I-link ホール

③ イベント

開催日時	イベント名	人数	講師等	場所
4/17(日) 10:00～10:30 11:00～11:30	親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた	親子3組 親子1組	(株) ヴィアックス 井坪朋実氏	I-link ホール
6/23(木)-26(日) 10:00～16:00	市川で育ったオオムラサキ観察会	946人	NPO 法人 市川にオオムラサキを 生息させる会	市川駅南口図書館
7/1(金)-7(木)	七夕飾り	212人	利用者記入の短冊飾りの 展示	市川駅南口図書館
7/27(水) 9:30～11:30 7/28(木) 9:30～11:30 13:30～15:30	夏休み一日図書館員	小学生3人 小学生3人 中学生1人	市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
7/30(土)-9/4(日)	和洋女子大学日本文学文化学科 SEREAL 連携 「和洋女子大学日本文学文化学科の学生たち がすすめる「わたし」の一冊」		本の紹介 POP を制作・展示	市川駅南口図書館
8/15(月) 9:30～12:30	植物標本を作ってみよう	16人	NPO 行徳自然ほごくらぶ 市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
11/1(火)-29(火)	私のおすすめの一冊 (投稿文の掲示)	65人	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/28(水) 10:30～11:40	えきなん冬のおたのしみ会	26人	人形劇 劇団員の火	市川駅南口図書館
1/8(日) 10:30～11:30	新春えきなん寄席	38人	音曲：桂小すみ氏 落語：雷門小助六氏	I-link ホール
3/18(土) 10:30～12:00	天井プラネタリウム 天井プラネタリウムで春の星座と 金環皆既日食を楽しもう ～あなたの手元に星空を	27人	(株) アストロコネクト 荒井大作氏	I-link ホール

④ 刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
駅南だより Vol. 75～78	A 4 両面色刷・二つ折り 1 枚 (A 5 サイズ)	4 回/年
きらきらつうしん 子ども向け No. 51～54	A 4 両面色刷・二つ折り 1 枚 (A 5 サイズ)	4 回/年
えきなん音楽だより Vol. 5～8	A 4 片面色刷・1 枚	4 回/年
市川駅南口図書館パスファインダー (調べ案内) ・「市川市」について調べる 改訂 ・「災害情報」について調べる 改訂 ・「健康医療」について調べる 改訂 ・「就職に役立つ情報」を調べる 改訂 ・「相続」について調べる 改訂	A 3 両面印刷・二つ折り 1 枚 (A 4 サイズ)	随時
私のおすすめの一冊	A 5 版 製本冊子 33 p	1 回/年

(9) 委員会等

① 研修委員会

ア. 図書館サービス外部研修

千葉県公共図書館協会、その他外部機関等が主催する図書館サービス関連の研修には、職員・会計年度任用職員（フルタイム）が参加している。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインで開催されるものも含めて、現地へ参集しての研修は11件、オンライン・遠隔研修は3件、延べ21人が参加し、研鑽に努めた。

イ. 異動者対象研修

異動してきた職員等4人に、図書館業務の基本と市川市の図書館についての研修を4月5日に実施した。

ウ. 会計年度任用職員対象研修

今年度採用された会計年度任用職員を対象に、4月7日にパートタイム1名、7月1日にフルタイム1名、パートタイム3名の新任研修を行った。

エ. 図書館実習

9月8日から14日にかけて、東京農業大学の大学生1人を対象に図書館実習を実施した。

また、9月2日から4日に、インターンシップの大学生（和洋女子大学1人）を受け入れた。

オ. 職場体験学習

11月1日に3人、11月2日に2人、市川市立第六中学校2年生の生徒の職場体験学習を受け入れた。

また、2月9日に、筑波大学附属聴覚特別支援学校の中学部2年生4人の職場体験学習を受け入れた。

② 広報委員会

ア. 図書館刊行物

「図書館だより」については、ウェブ掲載中心に移行し発行部数を減らしたほか文字情報だけでなくテーマを決めて写真や書影の画像を入れて魅力ある紙面にするため発行頻度を年2回とし、色刷りで発行した。

また、地域資料版の調べ方案内で利用の多い「市川に関する浮世絵」についても色刷りで増刷した。

イ. インターネット、SNSでの情報掲載

昨年同様にYouTube動画の活用として、「OPACを使った本の検索方法」基礎編と初級編を作成してアップした。

その他、図書館からの情報発信としてFacebookを利用してきたが、Twitter等、他のSNS活用も検討した。

ウ. コミュニティ誌への情報掲載

明光企画が発行するコミュニティ紙「いちかわ新聞」と「行徳新聞」に「図書館スタッフさんのオススメ本」と題して、職員による本の紹介記事を9回にわたり連載した。

エ. 市刊行物及びオリジナルグッズの販売

コロナ禍で中止していた販売を再開した。

オ. イベントの開催

子どもへの読み聞かせや本の展示が主な中心であったが、広く市民から図書館の活性化に繋がるイベントの企画を募るため「令和5年度市民提案型図書館推し活企画イベント」募集を3月22日から実施した。（募集期間:令和6年1月31日まで）

令和4年度内に、2件の応募について、推し活事業として採択した。

③ 蔵書構成検討委員会

ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「令和4年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行った。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新（買い換え、除籍等）を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応。
- ・雑誌の休廃刊に対する対応。
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施（毎週）。

イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行。
- ・資料費の執行庶務。

ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、1月31日から2月3日に特別休館期間を設け、蔵書点検や図書整理を行った。

エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・ 特集展示は年間計画を立てて実施。
- ・ 市役所内部はじめ関係機関との連携による展示を実施。
- ・ 時節に臨機応変に対応した展示を実施。

④その他 千葉県公共図書館協会の委員

- ・ 職員理事 主幹 1名
- ・ 協会誌編集委員会 副主幹 1名
- ・ 児童奉仕研修委員会 副主幹 1名

(10) 図書館刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
市川市の図書館 2022	A4・製本冊子152p	1回/年
市川図書館だより 第110号 「紙面で図書館バックヤードツアー」 第111号 「大人の知らない!?絵本の世界」	A3両面色刷印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時
あれこれふぁ (参考業務月報 2022年4月号～2023年3月号)	A4両面印刷・1枚	1回/月
新・参考業務年報 2021	A4・20枚ホチキス綴じ冊子	1回/年
地域資料リファレンス 市川市ってどんな街? 5. 市川の地図を調べる 改訂	A3両面印刷・二つ折り3枚 (A4・12p)	随時
市川市中央図書館調べ案内 29. 写真について調べるには 30. 知る・楽しむファンタジーの世界 海外編 31. 工芸品について調べるには	A3両面印刷・二つ折り2枚 (A4・8p) A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時
各種利用案内 1-Z. 中央図書館 閲覧席の案内 改訂 2. 本を返せる場所のご案内 改訂 3. 関連施設のご案内 改訂 6-2. スマホで利用券を表示 改訂 9-2. 館内インターネット接続利用サービス 改訂	A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚 A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ) A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚	随時
Young Adult通信 第83号 「2022年度YA PRポスター展」 号外 (入門編) 改訂 号外 (てっばん・せれくと号) 改訂 号外 (新生活応援号) 改訂	A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・三つ折り リーフレット A4両面印刷・三つ折り リーフレット	1回/年
本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 2022 3・4年生におすすめする本 2022 5・6年生におすすめする本 2022	A4両面印刷・1枚	1回/年
市川市子どもとしょかんバスファインダー 6. 伊能忠敬についてしらべよう 7. ユニバーサルデザインについてしらべよう	A3両面印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時

(11) 図書館作成動画

①読み聞かせ動画の原典があるもの

タイトル	原典	年度
絵本「曾谷の百合姫」	中津攸子／文, 唐沢静／え (すがの会 2007. 11)	R3
絵本「真間の手児奈」	中津攸子／文, 唐沢静／絵 (すがの会 2008. 8)	R3
絵本「奉免の常盤井姫」	中津攸子／作, 唐沢静／絵 (すがの会 2009. 7)	R3
絵本「なし作りのぜんろくさん」	唐沢静／え (すがの会 2019. 1)	☆
絵本「かあさんの庭 水木洋子と熊太郎」	宮下公子／絵, 水木洋子市民サポーターの会絵本チーム／文・編集 (市川市文学ミュージアム 2018. 3)	☆
絵本「ぼくのスカイライナー」	京成電鉄株式会社／さく, いろりこ／え (ポプラ社 2018. 12)	☆
紙芝居「塩じいさん」	南崎晶子／作, 茜之介／絵 (オフィス坂井 2019. 4)	R3
紙芝居「大波百人」	南崎晶子／作, 山口加奈子／絵 (オフィス坂井 2017. 3)	R3
環境紙芝居「りゅうた君のクリスマス」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2016. 12)	R3
環境紙芝居「りゅうた君の豆まき」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 2)	R3
環境紙芝居「りゅうた君のお花見」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 4)	R3
環境紙芝居「りゅうたくんと緑のカーテン」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 5)	☆
環境紙芝居「りゅうたくんのぼうけん ハロウィンの巻」	市川市環境政策課／作・絵 (市川市環境政策課 2017. 10)	☆

②くま館長が〇〇してみた！

タイトル	参考資料	年度
チョコケーキ作ってみた！	「マグカップでまぜるだけふわふわケーキ」 宮沢うらら／著 (汐文社 2021. 8)	R3
いちご大福作ってみた！	「30分でできる伝統おやつ 1. 春のおやつ」 伝統おやつ研究クラブ／編 (偕成社 2016. 7)	☆
お花を観察してみた！	「花のつくりとしくみ観察図鑑 4. 公園・花だんの花」 松原巖樹／著 (小峰書店 2010. 4)	☆
サイダーで作るダイヤモンドゼリー作ってみた！	「ルルとララの手作りSweets 夏のお菓子」 あんびるやすこ／監修 (岩崎書店 2015. 11) 「ルルとララのきらきらゼリー」 あんびるやすこ／作・絵 (岩崎書店 2006. 4)	☆
自然博物館で虫を観察してみた！	「昆虫 (講談社の動く図鑑MOVE)」養老孟司／監修 (講談社 2018. 6)	☆
『実験』でアイスクリーム作ってみた！	「すごい！うちでもこんな実験ができるんだ！！」 米村でんじろう／監修 (主婦と生活社 2006. 10)	☆
はりねずみスイートポテト作ってみた！	「かんたん☆かわいい♥だいすきクッキング 1. ときどき！プレゼントスイーツ」Goma／作 (あかね書房 2016. 3)	☆
エアインチョコ作ってみた！	「おいしい!ふしぎ!理科実験スイーツ とける・ふくらむギフト&デコスーツ」WILLこども知育研究所／編著, ダンノマリコ／料理 尾嶋好美／科学監修 (金の星社 2021. 3)	☆

③利用案内等

タイトル	内容	年度
中央図書館イメージ映像 (本編)	ドローン撮影による紹介動画 (2021. 11. 29撮影 2021. 12. 16～公開中)	R3
くま館長のこどもとしょかん案内	こどもとしょかんの紹介動画 (2022. 2～4 撮影)	☆
OPACを使った本の検索方法 基礎編	パワーポイントによるスライド動画。①簡単な検索方法 (簡易検索) とは、②細かい検索方法 (詳細検索) とは、③タイトルで本を探す方法	☆
OPACを使った本の検索方法 初級編	パワーポイントによるスライド動画。①細かい検索方法 (詳細検索) の使い方、②テーマ (一般件名) で探す方法、③分野 (分類) で探す方法	☆

☆…令和4年度作成

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

図書館紹介記事 (Web 掲載記事を含む)

記事見出しタイトル 【コラム名】	『掲載紙』 (出版社) 掲載年月日 巻号 掲載ページ
『市川カタログ 2022-2023』 (明光企画) 2022年9月25日発行 120-122 ページ	図書館施設の紹介
『行徳カタログ 2022-2023』 (明光企画) 2022年6月25日発行 227-229 ページ	図書館施設の紹介
本と思いを載せて 新しくなった自動車図書館「みどり号」出動!	
『チヨコミ』 (地域新聞社による運営サイト) ちいき新聞ライター 2022年6月20日 Web 公開	
市川駅南口図書館にて開催中 Shun Shirai さん写真展「真間川流域～市川の四季・彩り」	
『チヨコミ』 (地域新聞社による運営サイト) 編集部R 2022年7月17日 Web 公開	
中央図書館 読み聞かせ動画の配信	
『教育いちかわ』 Web 版 2022年9月13日号	
人をつなぐ未来へつなぐ その138 ご存知ですか? 図書館の本の宅配	
『市川よみうり』 2022年9月24日(土) 2139号 2面	
季節のお役立ち情報～読書の秋に読みたい本～	
『A E L D E 行徳・妙典』 (スターツ出版) 2021年9月20日発行号 10 ページ	
自動車図書館「みどり号」ステーションを増やし下半期も巡回	
『ポイントペーパー行徳新聞』 2022年10月21日(金) 2172号 2面	
『ポイントペーパーいちかわ新聞』 2022年11月4日(金) 954号 2面	
自動車図書館のステーションが 25 か所に増加	
『教育いちかわ』 Web 版 2022年11月8日号	
ウィキペディアで市川の魅力を発信! 「駅南ウィキペディアタウン」レポート	
『ちいき新聞 八幡版』 2022年12月16日 1025号 1面 『ちいき新聞 市川版』 2022年12月16日 1017号 1面	
『チヨコミ』 (地域新聞社による運営サイト) 編集部R 2022年12月19日 Web 公開	
中央図書館 市内高校生によるPOPや美術作品の展示	
『教育いちかわ』 Web 版 2023年2月7日号	
「天井プラネタリウム」で天体を楽しむ 図書館が主催するプラネタリウム?	
『ちいき新聞 鎌ヶ谷版』 2023年3月3日(金) 1151号 8面	
『チヨコミ』 (地域新聞社による運営サイト) 編集部F 2023年3月1日 Web 公開	
中央図書館 切り絵作家CHIKUの楽しい切り絵の世界展	
『ポイントペーパー行徳新聞』 2023年3月3日(金) 2191号 1面	
『持続可能なまちづくり 4 豊かなくらしのための公共施設』 (岩崎書店) 2023年2月発行 20-23 ページ	
コロナ禍における非来館・非接触型サービスの取組み 山岸裕朋	
『らいぶらりあん』 No.64 2023年3月発行 16-17 ページ 【やっています! こんなサービス!】	

職員による本の紹介記事

【コラム名】 「紹介本のタイトル」 《職員》	『掲載紙』 掲載年月日 号数 掲載面
【図書館スタッフさんのおすすめ本】 連載	『ポイントペーパーいちかわ新聞』 『ポイントペーパー行徳新聞』
1. 「なんで洞窟に壁画を描いたの?」 《齊藤都》	2022年7月15日 939号 1面 7月15日 2159号 8面
2. 「二都物語」 ディケンズ 《松下》	2022年8月26日 944号 4面 9月2日 2165号 4面
3. 「西の魔女が死んだ」 梨木香歩 《片岡》	2022年10月7日 950号 2面 9月30日 2169号 2面
4. 「中野のお父さん」 北村薫 《長谷川》	2022年11月11日 955号 2面 11月11日 2175号 4面
5. 「すずばあちゃんのおくりもの」 《田中利》	2022年11月25日 957号 2面 12月2日 2178号 4面
6. 「本好きの下克上」 香月美夜 《大石》	2023年1月13日 964号 4面 12月23日 2181号 2面
7. 「ウルド昆虫記」 前野ウルド浩太郎 《高柳》	2023年2月3日 967号 4面 1月27日 2186号 8面
8. 「お探し物は図書室まで」 青山美智子 《大西》	2023年2月24日 970号 1面 3月3日 2191号 2面
9. 「うつ病九段」 先崎学 《福島》	2023年4月7日 976号 4面 4月7日 2196号 2面

(13) 視察・講師派遣等

① 視察

日	時	視察者・視察団体	視察目的・視察場所
2022年9月29日(木)		柏市立図書館	児童書等資料の除籍基準及び書庫内視察について
2023年1月17日(火)	15:00~16:00	成田市教育委員会	公立図書館と学校図書館支援センター事業 (社会教育委員・公民館運営審議会委員・図書館協議会委員 合同視察研修)(ベルホールにて)

② 講師派遣

日	時	テーマ(講師)	集会名、主催団体等(講演場所)
2022年7月30日(土)	10:00~12:00	ブックトーク (前越裕子 ほか学校司書2名)	第54回 日本子どもの本研究会全国大会 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
2022年8月5日(金)	10:30~11:00 低学年 13:30~14:30 高学年	星野道夫の絵本の世界 (高橋とも子、渡部莉絵)	令和4年度文学ミュージアム第I期企画展 「星野道夫展 oneness-いのちの循環-」 (文学ミュージアム ベルホール)
2022年9月1日(木)	15:20~16:50	図書館運営 (安永 崇 館長)	令和4年度 新任図書館長研修 (Zoomによるオンライン形式)
2023年1月20日(金)	14:00~15:00	絵本のことを 司書さんに聞いてみよう (前越裕子、齊藤都)	新井親子つどいの広場 (新井地域ふれあい館)

(14) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧

映画・テレビ番組一覧

放送日	放送内容	撮影日	撮影地
2023/2/11 (5話) 2023/2/25 (7話)	朝日放送系ドラマL「ひともんちゃくなら喜んで」 (大学時代の回想シーンで図書館)	2023/1/30 (月)	中央図書館

(15) デジタルアーカイブ

① 館内パソコン公開資料

DB-PC…データベース専用端末 Musetheque V4…キーボード使用の Web-OPAC

タイトル	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市全地図	市川市役所 1954	1102420761	○	
市川市全図	大日本学生連盟 1935	1102249236	○	
市川市教育要覧 市川市教育要覧図	市川毎日新聞社 1953	1102249237	○	
市川驛 東京近傍第三号 (第一軍管地方迅速測図)	参謀本部陸軍部測量局 1897	1101410569	○	○
国府台 正式二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410570	○	○
船橋 二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410568	○	
市川市動態図鑑 昭和 32 年度改訂版	日本都市協会 1957	1100862393	○	
市川市動態図鑑 昭和 36 年度版	日本都市協会市川事務局 1961	1100024561	○	
市川市住宅詳細図 1965 (昭和 40) 年版	三洋堂 1965	1101943198	○	
市川市動態図鑑 1966 (昭和 41) 年版	日本広飾企画研究所 1966	1101289194	○	
京成電車 沿線案内 [昭和 5~10]	京成電気軌道株式会社旅客係	1101732706	○	○
京成電車御案内(東京・成田間・沿線名所図)	京成電気軌道株式会社 1926	1101726411	○	○
京成電車 御案内 (東京・成田・千葉間沿線名所圖)	京成電気軌道 1929	1102491818		○
京成電車沿線案内(東京・成田・千葉)	京成電気軌道株式会社 1930	1102604930	○	○
京成電車沿線案内	[京成電鉄 1935 頃]	1102359423		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1945 頃]	1102491821		○
沿線案内	京成電鉄 1953	1102491819		○
沿線案内	京成電鉄 1955	1102491820		○
観光市川ハイキング	京成電鉄 [1955 頃]	1102522219		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1960 頃]	1102420753		○
観光の市川	市川市観光協会 [195-頃]	1101803572	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市役所商工課 出版年不明	1101803571	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市 出版年不明	1101803573	○	
手児奈マーチ オーケストラ版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
手児奈マーチ 吹奏楽版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
トンボ通信 創刊号~179 (欠 No.16)	房総蜻蛉研究所、行徳トンボ研究室	1102872902	○	
広報いちかわ (市川市広報) 創刊号~800 号	市川市	—		○

② 音声・映像資料

タイトル	サブタイトル・内容・著者・他	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市歌	斉唱・合唱/南行徳中合唱部 吹奏/市消防楽団	市川市 1994	1100792269	○	
行徳音頭	日本民謡全集五巻 関東 日本郷土民謡芸術保存会/唄・お囃子	TOYO SOUND LTD	1102336455	○	
新中山音頭	浄光寺 千町/他	市川市	1100974197	○	
新・市川音頭	市民の歌だよ踊ろじゃないか 小野文雄/他	市川市	1101201992	○	
市川讃歌	「透明の蕊の蕊」 宗左近/他	1999	1100794092	○	
マイタウンいちかわ 2003 年~2017 年 (欠あり)		市川市	—		◎

◎…Web 公開

(16) 議会の図書館関係質問一覧（過去5年間）

議会	質問事項
平成30年9月 一般	IT施策について（大場諭議員） 図書館システムの情報セキュリティ対策について（IC導入や更新にあたり）
平成30年12月 一般	大柏ビジターセンターについて（湯浅止子議員） 絵本コーナー設置の効果と今後の予定
令和元年12月 一般	図書館開館時間の延長について（宮本均議員） 平日21時以降の開館、年間のトータルとして開館時間を増やすことについて
令和2年12月 一般	公用車や公共施設、駐車場の管理・運営について（稲葉健二議員） →メディアのバイク置き場はいつまで暫定なのか
令和3年2月 代表一般	コロナ禍における図書館サービスについて（稲葉健二議員） ① 図書の貸出、返却の今後の方向性 ② 図書館と図書室の今後の考え方
令和3年2月 代表一般	子どもの読書推進について（金子貞作議員） →子どもの読書推進計画の策定
令和4年9月 公明党 代表	公共施設の学習スペースについて（西村議員・堀越議員） （1）本市の現状、課題について （2）今後の図書館のあり方について
令和4年12月 一般	公共施設の学習スペースについて（宮本均議員）
令和4年12月 一般	図書館運営について（中町けい議員） （1）返却ポストの増設について （2）貸出窓口の増設について （3）北部地域への図書館の設置について
令和4年12月 一般	図書館利用券のセキュリティ対策について（清水みな子議員） （1）現状と課題について （2）対策について
令和4年12月 一般	大柏川第一調節池緑地のビジターセンターについて（秋本のり子議員） （2）「えほんコーナー」の利用状況及び管理について

11. 市川図書館友の会

F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)

①発足

平成6年9月18日

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

③会員数

66人(令和5年4月1日現在)

④役員(令和3年度)

会 長：橋場くみ
副会長：尾高有子 鵜殿幸夫
会 計：小澤奈香 大山秀子
監 事：岩崎陽子 富田道子

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会 費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特 典 なし

⑥活動内容(令和4年度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動休止を継続した。
定期総会は書面表決で行い、役員は留任とした。
恒例のリサイクルブック市は事前抽選により参加人数を制限して共催することができた。図書館講座・図書館見学会・夏休み体験ボランティア講座等の開催はできなかった。

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。
活動休止継続により以下の活動はできなかった。

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理他。

3. インフォメーション部

新入会員への館内案内。
総会司会、リサイクルブック市アナウンス。
図書館見学会の企画と実施。
毎月第3水曜日に学習会開催。

4. 広報部

会報「FIL通信」を発行。

5. 総務部

入会申込みと継続会費の受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で開催。

12. 新聞・雑誌一覧

(1) 購入雑誌一覧

令和5年4月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アエ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アエ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②				③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アカ	Akachanと!	赤ちゃんとママ社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アカ	赤ちゃんとママ	赤ちゃんとママ社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	22年5月号より「Akachanと!」へ変更
アク	アクアライフ	エムピージェー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アク	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	21年3月号で購入中止
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	20年7月号で休刊
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5月29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							イ-1	毎月 10日	
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①					②		ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	③							カ-2	3・6・9・12月27日	19年夏号で休刊
イコ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	季刊					①				1・4・7・10月3日	
イナ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
イン	Interface	CQ出版	月刊						③			毎月 25日	
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウイ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウイ	with	講談社	不定期刊					①				不定期	22年3月号で購入中止
ウイ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウオ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
イク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞出版	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
イス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
イス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	21年3月号で購入中止
エッ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
エム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	行徳21年4月号で購入中止
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	22年4月号で休刊
オズ	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャ/パンマシニスト社	年2回	◎		⑤					オ-1	4・10月25日	21年110号で購入中止
オト	男の隠れ家	三栄	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	平田・信篤21年3月号で購入中止
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カク	科学	岩波書店	月刊	③							ケ-2	毎月 28日	
カク	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カク	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチュアエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カサ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	22年夏号で休刊
カク	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カク	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カテ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	隔月刊	①							ウ-1	奇月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研プラス	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かもがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	20年3月で休刊
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3,6,9,12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	22年8月号で休刊
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クヨ	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クワ	暮しの手帖	暮しの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	季刊	①		①					ア-4	3,6,9,12月の7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	4・7・10・1月15日	
クロ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
ケア	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケイ	経済界	経済界	月刊						③			毎月 22日	
ケイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
ケイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ケテ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							エ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
コウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	月刊	③							ク-1	毎月 15日	
コウ	航空情報	せきれい社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	季刊	①							ア-3	1・4・7・10月9日	
コク	國語と國文學	明治書院	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コク	國文學 解釈と教材の研究	學燈社	月刊	◎							エ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
コト	月刊子どもの本棚	日本子どもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期刊	◎							エ-3	不定期	17年VOL.48以降刊行なし
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしゃかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	行徳21年冬号で購入中止
コト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	20年冬号で休刊
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎							子供	毎月 25日	
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(0・1・2)	福音館書店	月刊	⑤		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	信篤21年4月号で購入中止
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月 20日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	隔月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	不定期刊			③							19年4月号で休刊
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	毎月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	樫出版社	不定期刊	③							イ-3		2020vol.96で購入中止
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 25日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シエ	JJ	光文社	不定期刊	①							ア-4	毎月 23日	21年1月号で購入中止
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
シエ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シセ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で購入中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	シーディージャーナル	季刊	②							ウ-5	3・6・9・12月20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月 12日	19年3月号で休刊
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	月刊社会教育	旬報社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	
シヤ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月 28日	19年6月号で休刊
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	20年5月号で購入中止
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 15日	
シユ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	19年3月下旬号で休刊
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	奇月 21日	
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シヨ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	20年5月号で休刊
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①					ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	年10回	◎							ウ-6	毎月 22日(12月、8・9月合併号)	
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		奇月 15日	
シシ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シシ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	行徳21年4月号で購入中止
シシ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シシ	新ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 25日	
シシ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
スリ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3.6.9.12月12日	19年春号で休刊
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 15日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月 1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セブ	SEVENTEEN	集英社	不定期刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					ア-5	奇月 28日	
ソウ	社快	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	23年4月号で休刊
ソト	ソトコト	sotokoto online	隔月刊	⑤							ア-4	奇月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	20年7月号で休刊
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	販売元:富士山マガジンサービス	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド ZAi	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①				①		ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タサ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タビ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①			①		ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
タン	短歌	角川文化振興財団	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	年2回	◎	②	⑤					イ-1	1・7月25日	20年128号で購入中止
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤			⑤		子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎							ア-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	21年2月号で購入中止
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	21年3月号で購入中止
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊	①		①					ア-3	毎月 7日	20年4月号で休刊
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チリ	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤							ク-3	毎月 1日	
チル	チルテンびと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信で一た	ムービーウォーカー/KADOKAWA(発売)	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	季刊	③							イ-4	毎月 21日	22年8月号で休刊
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	扶桑社	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特選街	マキノ出版	月刊	①							ア-4	毎月 3日	21年11月号で休刊
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	22年11月号で休刊
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	月刊	③							ク-3	毎月 20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経会社情報	日本経済新聞社/日本経済新聞出版社(発売)	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	17年2月号で休刊
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ケ-4	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ケ-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ケ-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ケ-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経ヘルス	日経BP社	不定期刊	①							イ-1	奇月 2日	21年4月号で購入中止
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	21年4月号で休刊
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	21年5月号で休刊
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	21年3月号で購入中止
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニユ	Newsweek 日本版	CCCメディアハウス	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞出版	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ネコ	猫びより	辰巳出版	季刊	①							ウ-4	3・6・9・12月12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期刊	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で購入中止
ノシ	ノジュール(nodule)	JTB/パブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	行徳21年5月号で購入中止
ハイ	俳句	角川文化振興財団	月刊	◎		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	ピークス/マイナビ出版発売	隔月刊	①		①					ウ-4	奇月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	隔月刊	⑤							ア-5	毎月 21日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	B=PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①					①		ア-3	毎月 28日	
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①		②		子供	毎月 3日	駅南21年4月号で購入中止
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハル	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ヒシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	20年4月号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ビシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ビシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	21年5月号で購入中止
ビシ	美術手帖	美術出版社	季刊	◎							イ-2	奇月 7日	
ビシ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ビハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ビフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊
ビロ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
ビラ	ひらがなタイムズ [英語]	ひらがなタイムズ	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	リンクタイズ	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月刊	③	①	①	①	①			ウ-6	毎月 15日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	不定期刊	①							ア-3		21年5月号で購入中止
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月7日	19年6月107号で休刊
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	PRESIDENT WOMAN Premier	プレジデント社	半年刊	①					①		ア-3	不定期	
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	不定期刊			①						不定期	21年8月号で購入中止
フル	プレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	隔月刊	③							ウ-2	奇月 8日	
フシ	文学	岩波書店	隔月刊	◎							イ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フシ	文学界	文藝春秋	月刊	◎							イ-3	毎月 7日	
フシ	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フシ	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フシ	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で休刊
フシ	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月26日	17年秋号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	CCCメディアハウス	月1回	③							ア-4	毎月 28日	
ホウ	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ホウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ホウ	訪問看護と介護	医学書院	隔月刊	⑤							ク-3	不定期	
ホウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ホク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	22年8月号で休刊
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	16年5月号から寄贈へ
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 28日	
マッ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	季刊	①				①	③		ア-4	3・6・9・12月28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	21年8月号で休刊
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①			①				ア-3	毎月 7日	21年4月号で休刊
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							イ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミョ	Myojo	集英社	月刊	①							イ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月 15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 24日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 28日	行徳21年5月号で購入中止
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					イ-1	毎月 3日	
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ヤサ	やさしい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①				①			ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	23年5月号で休刊
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	奇月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラク	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールビーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リ	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リカ	RikaTan理科の探検	SAMA企画 文理(発売)	不定期刊	③							ク-2		19年4月号で購入中止
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3、6、9、12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③					②		ウ-5	毎月 20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月 25日	
ロク	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロク	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月 10日	21年6月号で休刊

購入タイトル数	329	287	28	92	30	31	37	3
---------	-----	-----	----	----	----	----	----	---

注1: 所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

令和5年4月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」へ変更
アル	ALPS ライフプラン情報誌	地域社会ライフプラン協会	季刊	②登							ア-3	
アワ	Our Story	ノートルモンド社	月刊	②							オ-2	22年12月で休刊
イチ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊			◎					ア-2	19年5月号で休刊
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①登							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニュース・レ	NABA	不定期刊							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②登							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カケ	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カキ	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カキ	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①登							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年4回	③登							ク-3	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①登							オ-3	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②登							キ-1	
コウ	皇室	扶桑社	季刊	③登			○				オ-2	
コウ	交通科学	交通科学研究会	年2回	③							キ-1	19年Vol.49で休刊
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①登							オ-2	
コウ	高齢社会をよくなる女性の会会報	高齢社会をよくなる女性の会	隔月刊							○		
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協	不定期刊	③登							キ-2	21年8月号Vol.101で休刊
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コム	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②登							オ-3	
サナ	サ～ナ sana	イフ	半年刊	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②登							キ-1	
シグ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シテ	city & life	第一生命財団	年3回	②登							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シヤ	JICA MAGAZINE	国際協力機構	隔月刊	②							オ-3	
シヤ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シユ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シユ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	18年6月号で休刊
シヨ	書斎の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①登							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学会	年2回	③登							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セキ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	16年秋号(23号)で終刊
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
ソラ	宇宙のとびら	宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター	季刊	③登			①登				エ-1	
タカ	たのくら	明光企画	月刊				◎登					07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①登							キ-2	
チイ	地域防災	日本防火・防災協	隔月刊	②登							オ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年6月から購入
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①登							キ-2	
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①登							ウ-1	
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							オ-1	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登		①	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
トト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ノ	のんびる	バルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
ハイ	俳句界	文學の森	月刊	③登							エ-3	19年12月号で寄贈中止
ハイ	俳句四季	東京四季出版	月刊	③							エ-3	
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①登							ク-1	
ハツ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともふらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	FishingCafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	2021年秋号で寄贈中止
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②登							ウ-1	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎登							ア-1	20年12月号で休刊
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	KADOKAWA	月刊	◎登							ア-1	19年7月号で休刊
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともふらす	明光企画	季刊	②登		◎登					イ-1	21年春号で休刊
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
マン	マンション管理センター通信	公益財団法人マンション管理センター	月刊	①登							ク-1	
ミス	みずず	みずず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	mr partner for real life	ミスター・パート	隔月刊	②登							ア-3	20年2月号で寄贈中止
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②登							キ-1	
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	21年6月号より「JICA MAGAZINE」へ変更
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①登							オ-2	
レキ	歴史の旅人	歴史街道倶楽部事務局	季刊	③登							オ-2	
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数	69	67	0	4	4	0	0	2
-----------	----	----	---	---	---	---	---	---

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

令和5年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	AELDE(アエルデ)行徳・妙典	スターツ出版	BOX(AELDE行徳・妙典)
2	あいねすと通信	市川市行徳野鳥観察舎あいねすと	緑ファイル
3	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
4	いちかわ 商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
5	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
6	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
7	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル
8	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川よみうり)
9	市景 瓦版	まち並み景観整備課	緑ファイル
10	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市民部ボランティア・NPO課	ファイル(I/NO)
11	Event Guide: 市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
12	ウイズレター	市川市総務部多様性社会推進課	緑ファイル
13	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
14	沖	沖発行所	BOX(沖)
15	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
16	ガーデニング通信	市川市まちなみ景観整備課	緑ファイル
17	かいづか	市川市博物館友の会	緑ファイル
18	科学館ニュース(千葉県立現代産業科学館)	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
19	かずさDNA研究所ニュースレター	かずさDNA研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
20	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	ファイル(I/Q4)
21	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
22	監査結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
23	監査結果の公表について	市川市監査委員会	ファイル(I/F7)
24	北千葉道路だより	北千葉道路広報ワーキンググループ	ファイル(I/S2)
25	教育いちかわ	市川市教育委員会	ファイル(I/Q1)
26	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
27	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
28	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
29	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
30	クオリティライフいちかわ	市川市消費生活センター	緑ファイル
31	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(Green Port Report)
32	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
33	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
34	研究紀要	千葉市立郷土博物館	図書登録(C21.1/R3)
35	県警からのお知らせ	千葉県説売防犯協力会	青ファイル
36	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
37	県水だより:千葉県営水道広報誌	千葉県企業局	BOX(県水だより)
38	考古・歴史博物館だより	市川考古博物館/市川歴史博物館	緑ファイル
39	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
40	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
41	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
42	コミュニティクラブ遊びの情報	市川市教育委員会学校地域連携推進課	緑ファイル
43	コミュニティサポートだより	コミュニティサポート委員会	緑ファイル
44	採蓮:千葉県美術館研究紀要	千葉県美術館	図書登録(C21.1/R4)
45	THE CHIBA OJ 放送大学千葉学習センター機関紙	放送大学千葉学習センター	黄ファイル
46	三番瀬署名ニュース	三番瀬を守る署名ネットワーク	クリアファイル(I/T0)
47	しいむじな 房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
48	CUC: View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
49	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
50	JW・Jの会(勉強会)	JW・Jの会	ファイル(Z/W5)
51	市史研究いちかわ	市川市文化スポーツ部文化振興課	図書登録(I/B0)
52	社会的連帯経済	ちば社会的連帯経済研究所	黄ファイル
53	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
54	じゅんかんニュース	市川市環境生活部環境整備課	緑ファイル
55	生涯学習研究所だより 聖徳大学生涯学習研究所	聖徳大学生涯学習研究所	黄ファイル
56	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
57	市立いちかわ自然博物館だより	市立市川自然博物館	緑ファイル
58	知るぼると	千葉県金融広報委員会	青ファイル
59	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
60	C'n Scene news	千葉県美術館	ピンクファイル
61	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
62	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
63	聖徳大学生涯学習研究所紀要	聖徳大学	図書登録(C22.8/Q3)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
64	生命のにぎわいとつながり:生物多様性ちばニュースレター	千葉県生物多様性センター	青ファイル
65	清和大学短期大学部紀要	清和大学短期大学部	図書登録(C35.1/Q3)
66	赤十字NOW 千葉	日本赤十字社千葉県支部	黄ファイル
67	袖ヶ浦市史研究	袖ヶ浦市郷土博物館	図書登録(C35.3/B0)
68	たかつぼ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
69	ちいき新聞 市川版(2020年4月～市川中央・北部が合併)	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
70	ちいき新聞 八幡版(2020年4月～本八幡・八幡北版が合併)	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
71	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
72	ちば:教育と文化	千葉県教育文化研究センター	図書登録(C10/Q0)
73	千葉教育	千葉県総合教育センター	図書登録(C10/Q0)
74	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(C10/K0)
75	千葉県SLA会報 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会会報)	千葉県教育研究会学校図書館教育部会	青ファイル
76	千葉県環境研究センター・環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
77	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
78	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(ちば県議会だより)
79	千葉県財政事情	千葉県総務部財政課	ファイル(C10/G2)
80	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
81	千葉県新聞組合市川支部だより	千葉県新聞組合市川支部	黄ファイル
82	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
83	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
84	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
85	ちば市史編さんだより	千葉市立郷土博物館	ピンクファイル
86	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
87	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	ファイル(C10/M1)
88	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
89	CHI~BA Magazine チーマガ	サンケイ・アド・インクワイアリ	図書登録(C10/A5)
90	ちばまなびの森:千葉市生涯学習情報誌	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
91	千防協NEWS	千葉県建設防水工事業協同組合	黄ファイル
92	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
93	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
94	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部・現代教養学部	図書登録(C22.1/Q3)
95	定年時代:千葉版	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
96	図書館だよりぼーれぼーれ	千葉県立保健医療大学図書館	青ファイル
97	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
98	友の会のお知らせ/市川博物館友の会	市川博物館友の会	緑ファイル
99	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
100	流山市史研究	流山市教育委員会	図書登録(C22.5/B0)
101	なのはな通信	アイビー千葉	BOX(なのはな通信)
102	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
103	成田市史研究	成田市教育委員会	図書登録(C23.2/B0)
104	NEWS LETTER 中央学院大学社会システム研究所	中央学院大学システム研究所	黄ファイル
105	Net Work通信	千葉市図書館情報ネットワーク協議会	ピンクファイル
106	野田市史研究	野田市	図書登録(C22.6/B0)
107	千潟を守る	千葉の千潟を守る会	ファイル(I/T0)
108	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(ひまわり倶楽部)
109	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル
110	フォリオ 和洋女子大学司書課程・司書教諭課程年報	和洋女子大学司書課程・司書教諭課程	図書登録(I/Q3)
111	福祉ちば	千葉県社会福祉協議会	青ファイル
112	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
113	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(ふれあい毎日)
114	ポイントペーパーいちかわ新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパーいちかわ新聞)
115	ポイントペーパー行徳新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパー行徳新聞)
116	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
117	ほくそう	北総鉄道	BOX(ほくそう)
118	Hokso Smile ほくそうすまいる	北総鉄道	BOX(ほくそう)
119	まいたうん:市川・本八幡版 ⇒(2020年3月号～「市川よみうり」に合併)	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
120	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1/W0)
121	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
122	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
123	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館	図書登録(C22.8/R3)
124	ミーティアムガイド:市川市公民館講座情報紙	市川市教育委員会社会教育課	BOX(ミーティアムガイド)
125	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
126	ミュージアムレター(市川市文学ミュージアム)	市川市文学ミュージアム	緑ファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
127	みる かたる つくる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
128	ミレニアム	千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
129	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
130	ようちえんのひろば:市川市私立幼稚園協会広報	市川市私立幼稚園協会	黄ファイル
131	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
132	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(LOUNGE)
133	LINK:千葉商科大学学内広報誌	千葉商科大学	BOX(LINK)
134	例月出納検査結果報告	市川市監査委員	ファイル(1/F7)
135	REKIHAKU	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	図書登録(C23.1/R3)

※ 配架・分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

令和5年4月1日現在

ミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①			
かん	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シャ	JAX's(寄贈)	○					
シュ	週刊読書人	○					
シユ	自由民主(寄贈)	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スホ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
チュ	中小企業振興(寄贈)						①
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○
リッ	立憲民主(寄贈)	○					

注: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)、駅南(3ヶ月)

※朝日、読売、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央: 平成22年1月～所蔵

「萬朝報」明治25年11月～大正9年12月

「日本」明治22年2月～明治39年6月

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～

以下、欠号

昭和13年1～2月、昭和14年9月

昭和15年5月、昭和17年2月

昭和27年11月、昭和29年4月

昭和30年12月

昭和31年3月、5～12月

昭和34年11月、昭和35年11月

昭和39年10月

昭和41年8月、昭和45年11月

昭和49年6月、8月

昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

以下欠号

昭和60年7月、61年7月、62年7月

昭和63年7月、平成元年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

資料編 目次

13. 関連法規（条例・規則等）

○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例	… 88
○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	… 92
○ 市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例	… 95
○ 市川市中央図書館の管理に関する規則	…102
○ 市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則	…105
○ 市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針	…106
○ 図書館法	…109
○ 子どもの読書活動の推進に関する法律	…112

14. 計画

(1) 市川市教育振興基本計画 ※図書館記載部分抜粋	…114
(2) 市川市立図書館運営基本計画	…117
(3) 令和3年度 市川市立図書館評価報告書	…134
「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果	…135
(4) 市川市子どもの読書活動推進計画第二次（令和5～7年度）	…141
※第2章までと施策体系図を抜粋	

15. アンケート・市民要望

(1) 令和4年度市川市立図書館アンケート（eモニ）	…150
子どもの読書活動と図書館Webサービスに関するアンケート報告書	
(2) 令和4年度市川市立図書館来館者アンケート報告書	…153
(3) 市民要望	…163

13. 関連法規（条例・規則等）

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日 条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けられるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けられるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 登録の日から起算して3年
- (2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
- (2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（開館時間）

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

（休館日）

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

（入館の制限等）

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

（損害賠償）

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。
- (6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年3月31日 教育委員会規則第6号
 改正 平成23年3月25日 教委規則第2号
 平成24年3月14日 教委規則第2号
 平成28年3月31日 教委規則第5号

市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（蔵書の構築）

第2条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則2・一部改正）

（館内利用）

第2条の2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（レファレンスサービス）

第3条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則2・一部改正）

（登録の申請等）

第4条 条例第6条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第1号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）

- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあつては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

	平成6年9月28日	条例第22号
改正	平成15年6月25日	条例第42号
	平成17年9月22日	条例第38号
	平成19年12月20日	条例第44号
	平成20年12月12日	条例第40号
	平成23年12月7日	条例第45号
	平成25年3月25日	条例第20号
	平成28年9月28日	条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（休館日）

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認める

ときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(駐車場の供用日等)

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

(平20条例40・追加)

(使用権の譲渡等の禁止)

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正)

(使用の停止等)

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

(平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則 (抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。
(市川市教育センター設置条例の廃止)
- 3 市川市教育センター設置条例(昭和36年条例第9号)は、廃止する。
(市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止)
- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例(昭和63年条例第20号)は、廃止する。

附 則 (平成15年6月25日条例第42号)

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月22日条例第38号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則 (平成19年12月20日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成20年12月12日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「旧条例」という。)に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則 (平成23年12月7日条例第45号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則 (平成25年3月25日条例第20号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行)

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則 (平成28年9月28日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

	平成6年10月18日	教育委員会規則第9号
改正	平成8年2月7日	教委規則第1号
	平成10年6月10日	教委規則第7号
	平成15年8月13日	教委規則第11号
	平成17年2月16日	教委規則第3号
	平成18年3月22日	教委規則第1号
	平成19年10月24日	教委規則第14号
	平成19年12月20日	教委規則第18号
	平成21年3月19日	教委規則第4号
		〔題名改正〕
	平成23年3月25日	教委規則第2号
	平成24年3月14日	教委規則第1号
	平成25年7月12日	教委規則第5号
		〔題名改正〕
	平成28年3月31日	教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

- 2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。
- 3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正)

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

- 2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード

の交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

- 3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

- 2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則

平成15年 9月10日教育委員会規則第12号
改正 平成21年 3月19日 教委規則第 5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条及び市川市教育委員会に対する委任に関する規則（昭和42年規則第20号）第1項第8号の規定に基づき、生涯学習センター自動車駐車場（以下「駐車場」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車することのできる自動車)

第2条 駐車場に駐車することのできる自動車は、市川市生涯学習センターを利用する者が乗車している自動車とし、かつ、道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第1に掲げる普通自動車、小型自動車及び軽自動車であつて、その大きさが、長さ5メートル、幅1.9メートル、高さ2.1メートルをそれぞれ超えないものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(供用の中止)

第3条 委員会は、駐車場の維持管理その他の事由により特に必要があると認めるときは、駐車場の全部又は一部の供用を中止することができる。

(平21教委規則5・一部改正)

(利用の手続)

第4条 委員会は、駐車場に自動車を駐車するもの（以下「使用者」という。）に対し、その入場の際、駐車券を交付するものとする。

2 条例第8条第3項ただし書に掲げる自動車を駐車した使用者は、当該自動車を出場させるときまでに、駐車券を提示して、当該自動車を駐車した旨を委員会に申し出るものとする。

3 使用者は、自動車を駐車場から出場させるときは、駐車券を提出して使用料を納付しなければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(駐車券の紛失)

第5条 使用者は、駐車券を紛失したときは、駐車券紛失届（別記様式）により委員会に届け出なければならない。

(平21教委規則5・一部改正)

(使用料の算出基礎)

第6条 条例第8条第3項に規定する使用料の額は、駐車場に入場した時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。ただし、使用者が駐車券を紛失した場合については、当該使用者が駐車場に入場した時として委員会が決定したその入場の時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。

(平21教委規則5・一部改正)

附 則

この規則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成21年 3月19日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成21年 4月1日から施行する。

○市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3月30日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8月26日

(趣旨)

第1条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第6号）第2条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成6年教育委員会規則第9号）第2条の2の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第2条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第3条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

- 2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。
- 3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。
- 5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- 6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第4条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和元年6月7日法律第26号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- 一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- 二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。
- 四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- 五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- 六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。
- 七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- 八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- 九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

- 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。
- 3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

- 一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの
- 二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
- 三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
- イ 司書補の職
- ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの
- ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの
- 2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

- 一 司書の資格を有する者
- 二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協

議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

(図書館の補助)

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

○子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日
法律第154号

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母そのほかの保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動

を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

14. 計画(14)

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市教育振興基本計画

【第3期】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成31年1月
市川市教育委員会



3 計画の体系

【基本理念】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

家庭・学校・地域の連携・協働	【方針1】 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる	《目標1》自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育てる
	【方針2】 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する	《目標2》主体的に学びに向かい、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する
		《目標3》健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する
		《目標4》社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する
	【方針3】 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する	《目標5》家庭・学校・地域の教育力の向上に向けた取組を推進する
		《目標6》人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する
		《目標7》特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援を充実させる
		《目標8》グローバルに活躍する人材を育成する
		《目標9》新しい地域づくりを推進する
		《目標10》持続可能な学校指導体制を整備する
《目標11》教育の未来環境を整備する		
《目標12》安全・安心で充実した教育環境を実現する		

《基本的な考え方》

- I 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます
- II 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます
- III 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

▶施策 1) 人と関わる力を身に付ける活動の充実 2) 道徳教育の充実 (志を大切にさせる教育の推進)	3) 読書教育の推進
▶施策 1) 幼児期における教育の推進 2) 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進	3) 情報教育の推進 4) 学校間の連携の推進
▶施策 1) 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進 2) 食育の推進 3) 体力向上の取組の推進	
▶施策 1) キャリア教育・職業教育の推進 2) 地域や企業との連携推進	
▶施策 1) 学校・地域と連携・協働した家庭の教育力の向上	2) 学校・家庭と連携・協働した地域の教育力の向上 3) 家庭・地域と連携した学校の活性化
▶施策 1) “自分らしく輝くための学び”の機会の充実 2) 学校卒業後における障がい者の学びの支援 3) 図書館機能を活用した学習活動の充実	4) 博物館などの活用を通じた学習活動の推進 5) 公民館を活用した地域の学習拠点づくり 6) 文化財の保護と活用
▶施策 1) 特別支援教育の推進 2) 教育的支援が必要な子どもへの対応 (不登校児童生徒や日本国籍者が自覚する児童生徒など) 3) 夜間中学の充実	4) 学校教育における学力保障・進路支援、子ども・福祉関係部署等との連携の強化 5) 教育費負担の軽減に向けた経済的支援 6) 地域の教育資源の活用
▶施策 1) 外国語教育の推進 2) 国際理解のための学習の推進 3) 青少年の海外交流支援	4) 地域の歴史や文化に関する教育の推進
▶施策 1) 新しい地域づくりに向けた学びの場づくりの振興	2) 地域を支える人材の育成と“自分らしく輝くための学び”の成果活用 3) 環境学習と体験活動の充実
▶施策 1) 地域とともにある学校づくりの推進 2) 特色ある学校運営(教育課程づくり) 3) 教職員の指導力の向上	
▶施策 1) 教育のICT連携整備 2) 教職員のICT活用指導力の向上	
▶施策 1) 子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取組の推進 2) いじめ、暴力行為などへの対応や、子どもや保護者を支援する相談体制の強化	3) 放課後の子どもの居場所づくりの推進 4) 防災教育の推進 5) 安全・安心で質の高い教育環境の整備

方針2

“自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

年齢、性別、国籍、経済事情、障がいの有無等に関わらず、人には無限の可能性がります。よりよい人生、よりよい社会にしていくために、誰もが社会の一員として自立し、社会に主体的に参画できるようにすることが必要です。

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて主体的に活動できるよう、多様な教育的ニーズに的確に応えられる体制づくりも必要です。

そのために、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりの中で、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習“自分らしく輝くための学び”の環境の実現を目指します。

そして、夢や希望を持ち、自らの個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭や地域と連携し、個に寄り添った支援の充実や、地域の多様な教育資源を効果的に活用するなどの取組を進めます。また、豊かな地域社会をつくるためには、地域の教育力の向上を図るとともに、学んだ成果を地域社会に還元する、学びと活動の循環を促進します。

さらに、多様な学習のニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効活用を進めます。また、地域にある大学と連携することにより、交流活動や学びの場を広げます。

目標 6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

▶施策

1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実

一人一人が生涯にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的に行います。

【主な事業】

- 公民館主催講座活動事業
- いちかわ市民アカデミー講座

2 学校卒業後における障がい者の学びの支援

市川市が設置している特別支援学校には高等部がありますが、学校卒業後も自立に向けて生涯を通して学べるよう、ニーズを的確に捉え、関係機関との連携を図り、教育やスポーツ、文化等のさまざまな学習機会を充実させます。

【主な事業】

- 日曜大学との連携
- 公民館の活用

3 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{*1}の充実、図書館ネットワーク^{*2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

*1 レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。

*2 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

【主な事業】

- 蔵書構築事業

4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

博物館の持つさまざまな機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を推進します。また、子どもの学習活動を支援するため、博物館などの社会教育施設と学校との連携を図ります。

【主な事業】

- 博物館調査研究・保存事業
- 博物館教育普及事業
- 博物館運営基本方針の運用（博物館運営事業）
- 博物館の体験学習を支援するボランティアの養成
- 博物館企画展事業

5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり

地域の学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効利用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し、連携することで地域に密着した公民館運営を推進します。

【主な事業】

- 公民館主催講座活動事業

6 文化財の保護と活用

市川市の自然・風土・歴史・文化的遺産を貴重な学習資源と捉え、学校の体験学習や生涯学習など、幅広い教育活動に活用します。また、市内に残る貴重な文化財を未来の子どもに継承するため、市川市文化財指定基準に基づき、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護を図ります。

【主な事業】

- 博物館の活用の推進（文化財を活用した博物館事業）
- 指定文化財維持管理費補助金事業
- 史跡公有化事業及び史跡維持管理事業

施策

成果指標	現状	目標 (計画最終年度)	関連施策 (目標・施策)
「地域には学ぶ場と機会（文化活動やスポーツ活動を含む）が十分にある」と回答する人の割合	17% (平成30年度)	30%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがある」と回答する人の割合	36% (平成30年度)	50%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「生涯学習に関する情報提供が十分である」と回答する人の割合	今後把握	平成31年度の実績より増	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「学校卒業後に学習やスポーツ、文化等の活動の機会が確保されている」と回答する障がい者の割合	今後把握	平成31年度の実績より増	6-2

参考指標	現状
生涯学習をしたことがある場所や形態の把握	公民館 47% 図書館 23% 学校 23% (平成30年度)
公民館が学校や地域と連携した講座数	103件
文化財資料の延べ利用回数	3,274回

参考：図書館記載部分を抜粋

令和3年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

点検・評価報告書

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和4年9月

市川市教育委員会



いつも新しい流れがある 市川

【方針2】目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

○目標6に属する施策とその評価

施策	評価
施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実	○
施策2 学校卒業後における障がい者の学びの支援	○
施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	○
施策4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進	○
施策5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり	○
施策6 文化財の保護と活用	○

【方針2】目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

▶施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実	
一人一人が生産にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的に行います。	
【主な事業・取組の実績】	
<ul style="list-style-type: none"> 各公民館等で市公式YouTubeチャンネルによる動画配信型オンライン講座を62講座(84本)実施した。(再生総回数28,223回)また、双方向型オンライン講座をWeb会議システムで1講座開催した。(3回 延68人) 市川市民アカデミー講座は、コロナ対策のため、開講時期を遅らせ規模を縮小したが、1大学は対面式、2大学はWeb会議システムの活用により開催することができた。(3大学各6回 延受講者数295人) 市公式ホームページで、オンライン講座を中心に学習情報を提供した。 コロナ対策のため、公民館主催講座の実施は見合わせた。 自動車図書館の運行、また公民館図書室や市民図書室との連携により、市民が図書に触れる機会を提供した。 特別支援学校の教室転用により閉室した稲越市民図書室の代替措置として、自動車図書館を運行させた。 一部公民館図書室において、リクエストサービスの対象を市立図書館に所蔵していない資料に拡大するなど、市北部地域の図書館サービスの充実に向けた取り組み。 市内3つの国指定文化財について、多言語による音声ガイドなどを活用した紹介情報を発信している。 	
評価	評価の理由
○	成果指標38は目標値を達成しており、39、40は、概ね目標値付近で推移している。数値はいずれも微減傾向がみられるが、コロナ禍による主催講座の開催見合わせなどの影響が考えられる。オンライン講座の実施等広い年代層への学習機会提供に努めたことなどから、施策の実現が概ね図られてきている。

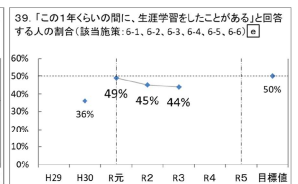
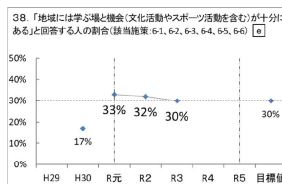
【今後の方向性】	
<ul style="list-style-type: none"> Web会議システムを活用した双方向型講座の開催は受講者に好評であった。オンライン講座等の新たな受講者層が、今後の公民館での学習や自主活動へのきっかけを作り、学びを通して地域コミュニティの向上へつなげることを目指している。今後、コロナ禍の終息後は対面型の講座も再開するが、対面型の講座、動画配信、Web会議システム等、目的や効果に適した多様な学習形態の選択と活用を図っていく。(社会教育課) 自動車図書館の運行や公民館図書室等との連携により市全域での図書館サービスの充実を図った。今後は、自動車図書館の車両入れ替えによる小型化に伴い、巡回場所の拡大など自動車図書館の特性を生かしたサービスを拡充していくとともに、公民館図書室等との連携により、市全域で図書館サービスが提供できるよう努めていく。(中央図書館) 	

【方針2】目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

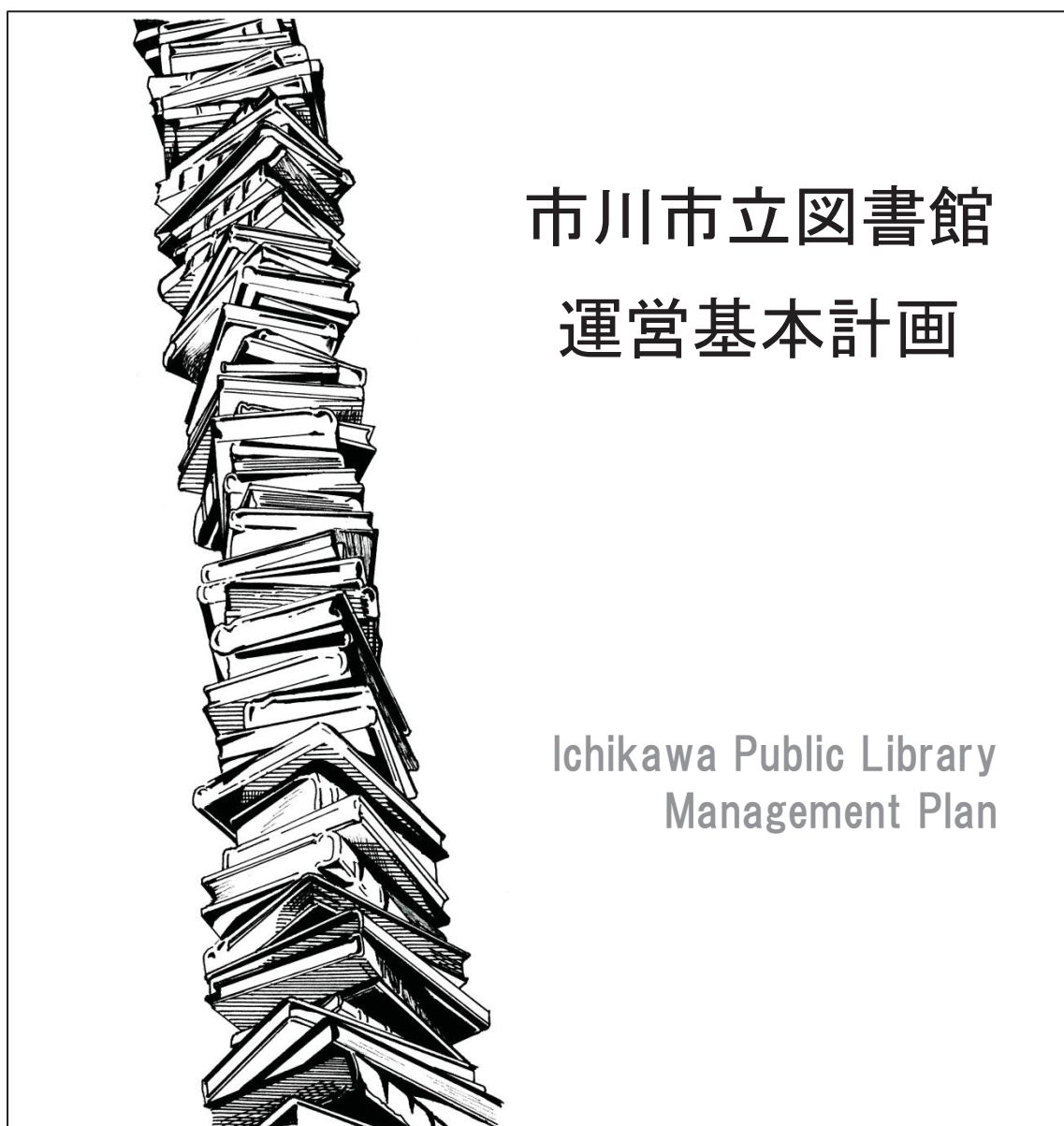
▶施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	
誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やリファレンスサービス ^{※1} の充実、図書館ネットワーク ^{※2} の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。	
【主な事業・取組の実績】	
<ul style="list-style-type: none"> IC関連機器を使った蔵書管理の実施により効率的、効果的な図書館運営を進めた。 蔵書構築事業では、年間の収集方針に基づき、計画的な資料の収集と更新を実施した。 図書館ホームページをリニューアルし、小学生以下対象のこどものページ、中高生対象のYAのページ(ヤングアダルトサービス)を新たに設けて、市川市にゆかりのある紙芝居などの読み聞かせ動画を8本配信するなど、子どもの読書活動推進のための取組を行った。 	
評価	評価の理由
○	成果指標38は目標値を達成しており、39、40は、概ね目標値付近で推移している。成果指標74は調査対象が変更されたものの、目標値を達成していることから、施策の実現が概ね図られてきている。
【今後の方向性】	
<ul style="list-style-type: none"> IC関連機器による蔵書管理業務の合理化と市民サービスの向上を図ってきた。今後も、電子図書の提供等、新しいニーズに即したサービスを引き続き検討し、情報拠点として市民の学びを支えていくよう努めていく。また、図書館ホームページやSNS等を活用した広報活動を引き続き積極的に行っていく。(中央図書館) 	

※1 リファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。
 ※2 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

【成果指標】



※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため単純比較はできない。
 第3期計画策定時から選択肢を一部変更。
 策定時:「ある」「ない」「わからない」
 変更後:「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」「どちらともいえない」



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

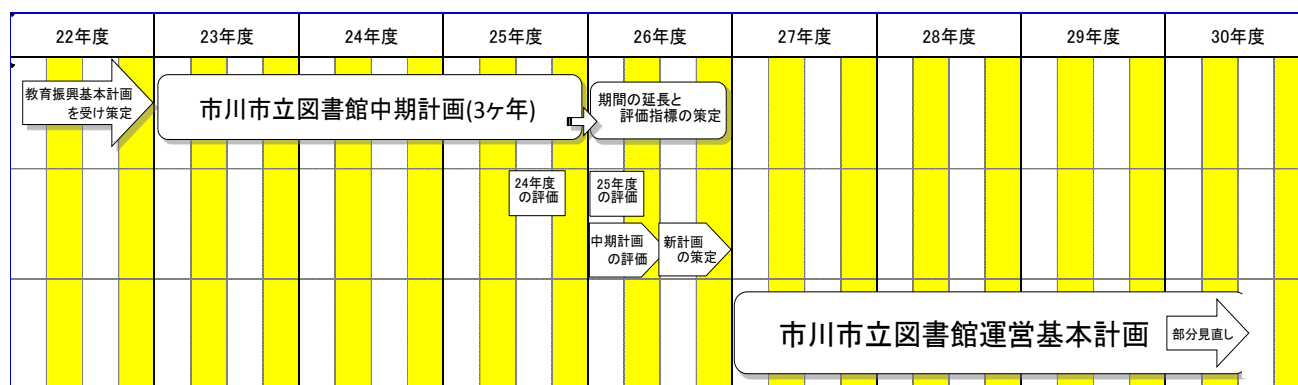
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

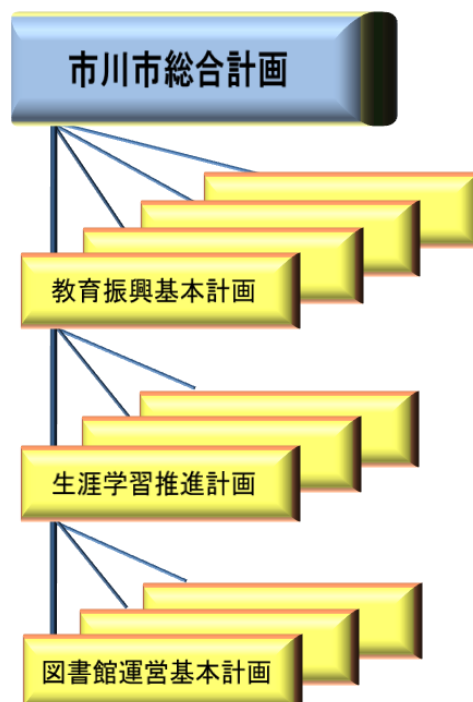
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとし、また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとし、



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

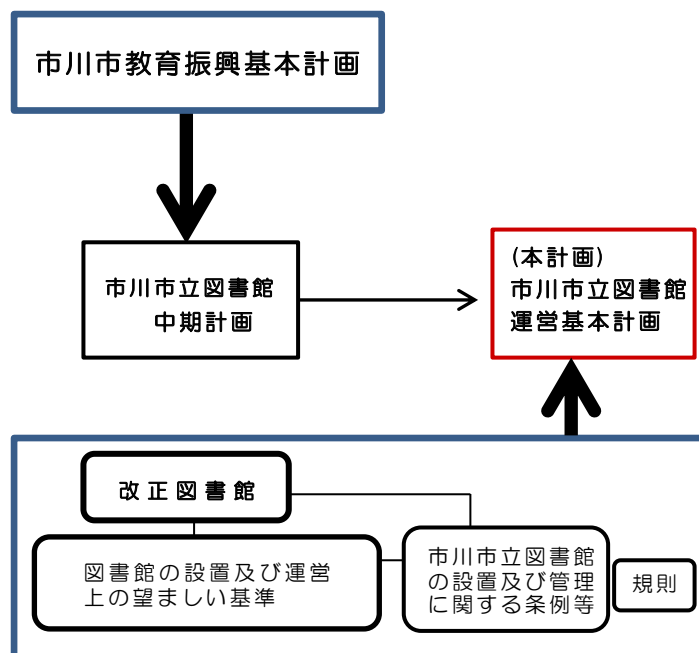
「図書館法」(昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正)の平成20年(2008)の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年(2012)に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24(2012)年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期	内 容	
平成26年	2月13日	策定方針についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
	4月3日	策定方針について（議決）（定例教育委員会議）
	4月23日	策定方針についての意見聴取（関係各課）
	9月26日 ～10月6日	e-モニターの実施
	10月25日	計画（素案）についての意見聴取（図書館ボランティア）
	11月15日 ～12月14日	計画（素案）についての意見聴取（パブリックコメント）
	11月20日	計画（素案）についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
平成27年	2月5日 ～3月6日	パブリックコメント実施結果公表
	2月5日	計画（案）について（定例教育委員会議）
	2月12日	計画について（報告）（市川市社会教育委員会議）
	4月	「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書齋」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学附属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3カ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組みことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報を入力するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

(3) 今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

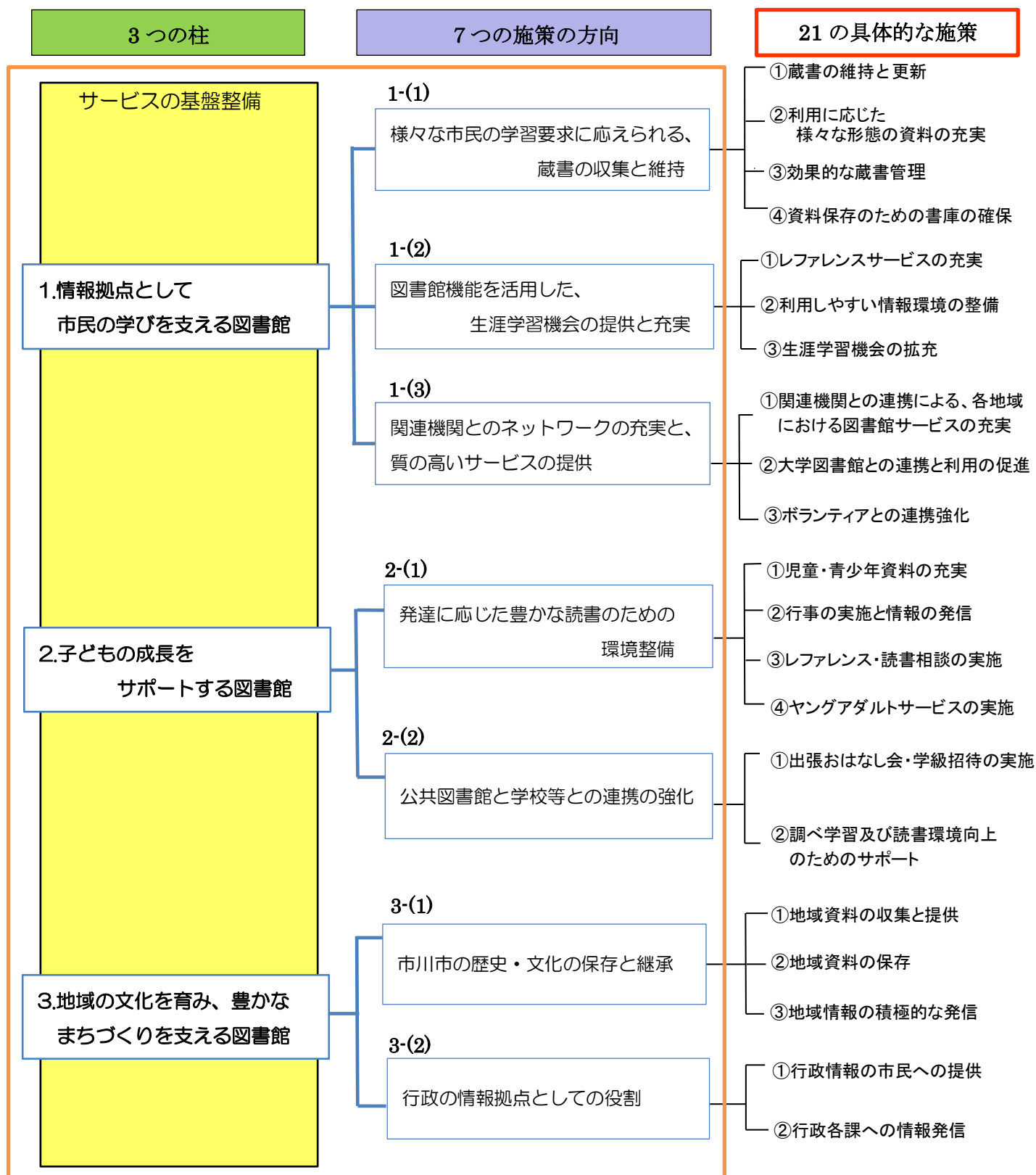
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えています。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

① 蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

② 利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③ 効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的にを行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書を更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実をめめます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供してまいります。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行ってまいります。

(2) 「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信してまいります。

第3章 実施計画編（令和3年度～令和5年度）

市川市立図書館運営基本計画（平成27年策定）で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、令和3年度～令和5年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行なうため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の更新(購入と寄贈の合計冊数)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	50,000冊	50,000冊	50,000冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 全館的なICタグによる蔵書管理の発展的な実施の検討

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(パスファインダー等)の発行		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	継続発行、発展	継続発行、発展	継続発行、発展

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に corres ponding データベース等の提供及び利活用の促進

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

実施事業 2 非来館型サービスについての調査及び導入の検討

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進

数値目標等	図書館利用登録者数の拡大		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

実施事業 2 北部地域の図書館サービスの拡充

実施事業 3 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの充実

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	継続的な資料の更新(購入と寄贈の合計冊数)		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信

数値目標等	読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	継続実施	継続実施及び充実	継続実施及び充実

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

実施事業 3 中学・高校生へのヤングアダルトサービスの PR

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	60,000 冊	前年度比増	前年度比増

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 地域行政資料の電子化

数値目標等	地域行政資料の電子化の取り組み		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	継続実施	継続実施	継続実施

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」(昭和25年法律第118号)第7条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年文部科学省告示第172号)、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」(平成21年教育委員会規則第6号)第1条の2及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」(平成6年教育委員会規則第9号)第2条に基づき、令和3年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第3章 実施計画編(令和3年度～令和5年度)の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、令和3年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合してA～Dの4段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3つの柱」についての取り組みを4段階評価で表した。(3つの柱と7つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7 を参照)

実施内容	評価
十分達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。)	A
概ね達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。)	B
やや不十分だった。(実施したが、十分な成果をあげることができなかった。)	C
不十分だった。(実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。)	D

4. 自己評価結果

令和3年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の3つの柱のうち「子どもの成長をサポートする図書館」、「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」の2つについては、目標を達成することができA評価となった。特に、子どもへのサービスについては、非来館型サービスとなる読み聞かせの動画配信を開始するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開した。また、地域行政資料については引き続き積極的な収集を行い、パスファインダーや図書館ウェブサイトなど様々なツールで地域情報を発信することができた。

「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、非接触でセルフ対応できるIC機器の利点を活かしたサービスを展開することができたが、資料予算減額により、蔵書の受け入れ冊数が目標値に至らずB評価となった。

全体としては、7つの施策の方向のうち4つがA評価、3つがB評価であったが、令和3年度の目標は概ね達成でき、一定の成果をあげたと評価ができる。

5. 令和3年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙

外部有識者2名(図書館情報学)から、令和3年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

令和3年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	--------------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------

コロナ禍が続く中、職員を介さずに非接触でセルフ対応できるIC機器の利点を活かしたサービスを展開することができた。また、関連施設の閉館日の拡大などにより、北部地域の図書館サービスの拡充を図ることができた。

資料の受入れ冊数については、資料予算減額のため、目標値には届かなかったが、蔵書のバランスを考慮した資料収集を行うことができた。今後は、電子資料の導入に向けて調査・検討を行い、紙資料と電子資料の双方から、幅広い情報が得られる図書館を目指していく。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

前年度は中止となった集会行事を、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら再開し、コロナ禍でも子どもの読書欲を掻き立てる試みとして新たなイベントも開催した。また、図書館ホームページのリニューアルに伴い、こどもとYAのページを設けて、非来館型サービスとなる読み聞かせの動画配信を開始した。

今後も、コロナ禍での行事を工夫しながら実施し、積極的に読書支援、図書館利用の促進を図っていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

パスファインダーや図書館のホームページなどさまざまなツールで、地域情報を積極的に発信することができた。また、行政各部署と連携した行事や展示を行い、行政情報を市民に提供することができた。特に、行政部門と連携して、中央図書館に設置したSDGsブックコーナーは、図書館で作成したパスファインダーとともに幅広い年代に利用された。

今後も、地域の文化を後世に伝えるために地域資料の整理を進め、資料の電子化に継続して取り組み、情報発信を積極的に行っていく。

令和3年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持(購入と寄贈の合計冊数)	50,000冊	32,640冊	B
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・検討	調査・検討	
	・障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備	DAISY図書目録の作成	DAISY図書目録追録版作成	
③効果的な蔵書管理	・全館的なICタグによる蔵書管理の発展的な実施の検討	IC機器の活用	IC機器の活用	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用	可動式書庫の活用	可動式書庫の活用	

実績と評価

前年度は臨時休館期間があったため、令和元年度に導入したIC機器を十分に活用することができなかったが、3年度はコロナ禍が続く中、資料を予約した上で来館し、予約受取コーナーで職員を介さずにセルフ貸出をするという利用パターンが増加し、IC機器の利点を活かしたサービスを展開することができた。

蔵書の受入れ冊数は、資料予算減額のため、目標値の65.3%に留まったが、寄贈図書の活用や複本冊数の調整、適切な新刊書の購入等の対策を行い、市民のリクエストにも応えつつ、蔵書のバランスを考慮した資料収集を行うことができた。

課題

千葉県内でも電子資料の導入が徐々に進んでいる。図書館向けに販売しているコンテンツの充実はまだ十分とは言えないが、電子資料の特性を活かしたコンテンツの収集及び提供や、自館で電子化した地域資料のデジタル・アーカイブサービスの充実など、電子図書館の環境を整えることが必要となっている。

方向性

電子資料の導入のために調査・検討を行い、紙資料と電子資料の双方から、幅広い情報が得られる図書館を目指す。

施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の提供	継続発行、 発展	継続発行、発展 (発行数 14)	A
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施 (200 点以上)	実施 (282 点)	
	・市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備	整備・実施	実施	
	・非来館型サービスについての調査及び導入の検討	検討・実施	検討	
③生涯学習機会の拡充	・中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進 (図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度 16,290 人)	22,840 人	
	・北部地域の図書館サービスの拡充	実施・周知	実施と周知	
	・イベントの開催や地域イベントへの参加・協力	検討・実施	実施	

実績と評価

レファレンスサービスは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面でのレファレンスを中止した期間があったが、クイックレファレンスやメールでのレファレンスが增加し、全館で 52,489 件の受付・回答となり、前年度より 7,506 件増加した。事例集である「参考業務月報」を 6 回発行したほか、市民の調査研究に活用できるよう、既存のパスファインダーを点検し、8 つのパスファインダーの作成・改訂を行った。また、その事例等を協同データベースに提供した結果、被参照件数など 3 点の項目で基準を上回り、国立国会図書館から感謝状を受け取った。図書館ホームページはサイトのリニューアルに伴い、こどもや YA のページを新たに設け、対象別のわかりやすい発信が可能となった。こどものページでは、非来館型サービスとして、読み聞かせの動画配信を開始した。図書館利用の登録者数については、イベント等による登録者数を増やす試みは行わなかったが、前年度は休館があったため、前年度比では 140.2%と目標値を大幅に上回ることができた。北部地域の図書館サービスとして、西部・曾谷公民館図書室の開館日を増やし、菅野公民館に新たに返却ポストを設置した。また、大野・西部公民館図書室でのリクエストサービスについて、6 月から視聴覚資料、1 月から市内未所蔵資料と対象資料を順次拡げ、市外図書館から借用した資料の貸出・返却も可能とした。

課題

電子図書館の導入や Web での新規登録サービス等、新たな非来館型サービスについて検討し、図書館利用に繋げる方法を模索していく。

方向性

新型コロナウイルスの感染状況等社会情勢を注視しながら、対面型イベントの実施やホームページを活用したイベントの発信、レファレンスサービスの周知など、来館型・非来館型サービスをバランスよく実施していく。

施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関係機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの充実	実施	実施	B
②大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施(1 件)	
	・市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進	実施	中止	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施	
③ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	検討	中止	
	・障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施(20 点)	実施(40 点)	

実績と評価

千葉商科大学及び和洋女子大学については、前年度に引き続き、年度を通じて学外者が入構できず、利用のための紹介状の発行や相互利用の PR 等が実施できなかった。また、図書館友の会も活動を休止し、共催行事を実施することができなかった。一方、コロナ禍でも作製活動を続けている障がい者サービス関連のボランティアからは、点字資料や DAISY 図書などの成果物を 40 タイトル受取り、目標値を上回ることができた。大学の図書館実習は実習期間を短縮して実施し、前年度休止したインターンシップの受入れも再開した。

課題

新型コロナウイルスの感染対策と社会活動の両立ができるよう、活動再開に向けた図書館友の会との協議など、ボランティア活動の支援、協力体制の維持が課題である。

方向性

大学や関連施設との連携により、各地域における図書館サービスの充実と地域住民の利便性の向上を目指す。また、ボランティアとの連携により、質の高い図書館サービスが提供できるよう努めていく。

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新(購入と寄贈の合計冊数)	9,000冊	6,877冊	A
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施	継続実施	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備	レファレンスツールの作成	レファレンスツールの作成	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(15回)	
	・中学・高校生へのヤングアダルトサービスのPR	実施	実施	

実績と評価

資料の充実については、絵本や実用書を重点的に買い替えたが、資料予算減額のため、受入れ冊数の達成率は目標値の約76.4%に留まった。寄贈書の受入れは増加した。

行事の実施については、新型コロナウイルスの感染拡大防止を講じつつ、定例の「えほんの会」等の回数を減らし、参加人数を制限して再開した。絵本作家の宮本えつよ氏のワークショップを実施、27名の参加があり、大変好評を得た。図書館ホームページのリニューアルに伴い、こどものページ、YAのページを作成し、そこで非来館型のサービスとして、新たに郷土の絵本の読み聞かせ等のYouTube動画を8本公開した。また、コロナ禍でも子どもの読書欲を掻き立てる試みとして、「くま館長からの挑戦状」を夏休み期間に実施し、「わくわくいっぱいふくぶくろ」等に加え、館内に長く滞在しなくても楽しめる取り組みを行った。おすすめの本のリストも3種類作成し、配布した。パスファインダーは「SDGsについてしらべよう」「絵本で学ぼうSDGs」を作成し、一般の特集展示にからめることができた。

ヤングアダルトサービスについては、夏休み期間に「YA“夏季”氷本」を、毎年冬に行っている「YA 図書館本A-Z」とともに実施し、「YA通信」「YA通信 入門編」等の刊行物は継続的に発行・改訂してPRに努めた。

課題

引き続き、利用者の安全性を確保しながらイベントの開催や運営等ができる方法を模索していく必要がある。

方向性

コロナ禍前に行っていた定例行事を、感染対策を実施しながら徐々に戻していく。同時に非接触型の行事も工夫しながら実施していく。

施策の方向 2-2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施充実	中止	B
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	継続実施	継続実施 (資料依頼479件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	前年度並 (260冊)	249冊	
	・外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実	実施	実施	

実績と評価

前年度に引き続き「出張おはなし会」「学級招待」は、コロナ禍で中止せざるを得なかった。「学校図書館支援センター事業」については、予定通り実施し、前年度より依頼件数、貸出冊数は増加した。学校図書館向けの貸出である「学級文庫」については、特別支援学級向けのセットの依頼の増加により10セット追加した。毎年市内中学生に作成してもらっているヤングアダルト特集展示のためのポスターは、継続して実施した。また、市内の中学校や高等学校で作成されたPOP等を借用し、館内で展示した。不二女子高等学校の2年生の調べ学習においては、事前に職員が学校に赴き、図書館の使い方の説明を行った。外部機関との連携イベントとして、小学生高学年から中学生向けに明治安田保険相互会社の包括協定における「金融・保険セミナー」を実施し、明治安田保険の講師の講座の後、図書館から関連する本の紹介をした。

課題

学校図書館向け貸出資料については、学校から求められる資料を提供できるように計画的に購入し、充実させていく必要がある。

方向性

学校図書館への支援や外部機関との連携は、感染対策に十分考慮した様々な取り組みを揃えて、状況に応じて選択できるよう用意していく。学校や外部機関を通して、子どもと保護者に向けて読書の大切さをPRし、積極的に読書支援、図書館利用の促進を図る。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-1 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理 (地域行政資料の蔵書冊数)	60,000 冊	62,069 冊	A
②地域資料の保存	・地域行政資料の電子化	継続実施	実施	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域情報の追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数は目標値を大幅に上回る事ができた。

中央図書館では、館内データベース端末で、房総蜻蛉研究所・行徳トンボ研究室よりデータの寄贈を受けた「トンボ通信」を創刊号から順次公開したほか、「市川の音楽」として「市川市歌」「市川讃歌」など6曲を試聴できるようにした。

図書館ホームページはサイトのリニューアルに伴い、トップページに地域情報への扉となるバナー「地域情報を探す」を新たに設けて、地域情報関連データベースなどの地域情報へのアクセスがしやすい環境を整えることができた。

また、地域資料のパスファインダー「市川の地名」を新たに作成し、「八幡のやぶ知らず」「市川市に関する浮世絵」を全面改訂し、ホームページも更新した。中央図書館の絵画ラックでは、「市川市に関する浮世絵」の改訂に伴い、パスファインダーに掲載した浮世絵の複製画を展示し、配布用のパスファインダーも多くの方に手に取っていただくことができた。

課題

地域行政資料を永く保存していくための十分なスペースの確保と、資料の劣化対策として資料の電子化を計画的に進めることが課題となっている。収集・保存している資料については、電子化への取組みとともに、デジタルアーカイブ・システムの活用を進め、広く市民が利用できる環境を整備する必要がある。

方向性

地域行政資料の積極的な収集と受入れに努め、引き続き資料の充実を図るとともに、地域行政資料・情報の整理を進めていく。著作権保護期間満了の資料の電子化に取り組み、デジタルアーカイブ・システムで館内公開する資料を追加更新し、ホームページの地域情報関連ページを活用した情報発信を積極的に行っていく。

施策の方向 3-2 「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	継続充実	実施充実 (14回)	A
	・市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布	継続実施	配布のみ実施 (販売休止)	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信	実施	実施	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、スポーツ課、環境政策課、健康支援課、子ども家庭支援課、文学ミュージアム等と実施した。また、SDGs を推進する健康都市推進課と連携し、中央図書館の書架を利用して一般書と児童書が混在した「SDGs ブックコーナー」を設置した。図書館で作成したパスファインダーとともに幅広い年代にSDGs 関連の資料が利用された。コロナ禍が続いたため、関連機関と連携した集会行事は減少したが、市川駅南口図書館と和洋女子大学と連携した講座を Zoom で開催した。

行政各部署でもレファレンスサービスを利用してもらえよう、関連部署にレファレンス事例集を配布している。内容的には好評であったが、PR が足りないという指摘があったため、図書館だけでレファレンスの特集を組むなどPRに努めた。

課題

市民に向けては、図書館が集約した幅広い行政情報を、誰でも使えるように整理し、どこでもいつでも、わかりやすい形で情報提供していくことが課題である。行政各部署に向けては、図書館が行政情報の集約・整理に努めていることを周知させていくとともに、行政に役立つパスファインダー等の作成に取り組み、これらを情報発信していくことが必要である。

方向性

行政各部署や市内関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画し、身近な行政情報を市民に積極的に提供していく。

また、行政各部署には、図書館で利用できるデータベース等、役立つツールの活用法をわかりやすくPRし、図書館のレファレンス機能を地域の課題解決やまちづくりに役立ててもらえるように情報発信をしていく。

令和3年度 市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見

(別紙)

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

・蔵書は図書館の生命線である。令和3年度の図書費が、前年度から22%ほどの減額となったことから、受入冊数が目標の65.3%にとどまったことに、図書館サービスの低下が避けられないのではないかと危惧している。減額に対して、図書館では種々の試みをされているが、蔵書の絶対量を確保するための措置を早急に図ってほしい。

電子資料については、調査・検討の状況が続いているが、そろそろ試行に移ってもよいのではないかと考える。その過程では、電子書籍、データベース、デジタルアーカイブなどについて、所有(備品、消耗品)ではなく、アクセス(使用料、委託料)として、資料費の概念を拡大する必要があるようにも思われる。

サービス全般については、新型コロナウイルスへの対応として、本来のサービス提供に大きな制約があったものの、さまざまな工夫や努力が見られ、市川の図書館の実力が発揮できたものと評価している。

・予約・セルフ貸出による利用をはじめ、いわゆるウィズコロナ・アフターコロナにおけるサービスに向けた取り組みが進められている。非来館型サービスの拡充も求められるところであるが、子どもやYAなどの対象別ウェブページを設定するなど、できることから着実に実施されていると受け止められる。電子コンテンツについては、図書館で導入できる電子書籍が十分に普及していない現状そこまで拡大していない状況も踏まえ、市川だからこそできる、市川だからこそ求められる地域資料の電子化などを重視することも大切であろう。

レファレンスサービス(質問・回答)の事例集をまとめたり(参考業務月報)、パスファインダーを更新したりといった活動は、図書館サービスを「見える化」するものともいえ、いわゆるPRとしても有効であり、利用者(市民)の図書館利用の活性化や情報リテラシーの向上などにも資すると考えられる。ウェブの活用などにより、さらに展開されることを期待したい。図書館の負担だけを増やすかたちではなく、関連機関を含む地域との協働を進めることで効果と効率の両立をはかることも考えられよう。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

・子どもの本もまた、図書費の減額に伴い、受入冊数が目標の76.4%にとどまったことは非常に残念である。児童書や絵本は、定期的な更新(同一資料の買い替え)も必要であるだけに、子どもたちの読書意欲を減じることになりはしないかと懸念している。

読書推進行事と学校図書館支援は、市川の図書館の質の高さを示すものであるが、コロナ禍において、動画配信などを実施するなど、可能な限りのサービスを提供できたことと評価している。

・コロナ禍で思うような活動が展開できないなかで、子どもやYAなどの対象別ウェブページを作成したり、回数・参加人数を工夫して行事を再開したりしている点に努力と工夫が見られる。読み聞かせ動画の配信など、新たな取り組みも展開されており、コロナ禍でなくとも、遠隔・閉館時の利用拡大につながるものとして高く評価したい。

資料予算削減により、一般書と同様に児童・YA資料の受入冊数も目標値には達していないが、「量」のみでなく「質」も重要であることから、必ずしもネガティブには受け止めなくてよい面もあろう。市立図書館だけでなく、着実に実行されている学校図書館等との連携などを基盤として、YAを含めた子どもたちが生活全体のなかで資料にアクセスできる環境を整備するという観点が今後はさらに重要となつてこよう。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

・地域行政資料の充実が、市川の図書館の声価を高めるものになりつつあると認識している。蔵書冊数が目標を大きく上回った収集面だけでなく、図書館ホームページからの容易なアクセスや、関連するパスファインダーの用意など、今後のサービスの展開につなげていることは大変よい流れである。

地域行政資料は公立図書館の地力を示すもので、一般の市販資料も重要であることに変わりはないが、持続可能な図書館であるために、図書館でしかできないことに、更に知恵を絞ってほしいと願っている。

・公立図書館にとって、行政資料を含む地域資料は、他の自治体に委ねることが難しい、極めて重要なものである。目標を上回る資料の収集、音楽を含む資料のデータベース化、ウェブサイトにおけるパナーの設定、地域資料のパスファインダーの作成など、工夫された取り組みが積み上げられていることがわかる。今後は、ウェブ活用を含めて、さらなる拡充とともに、周知・活用促進が進められることを期待したい。

行政各部署との連携も確実に展開されている。とりわけSDGsブックコーナーなどは、市全体として恒常的に重視されるべきテーマであり、高い評価に値する。

アフターコロナ・ウィズコロナに向けて、「市川ならではの」「市川だからこそ」の情報・文化の担い手として、対面のイベントなどを含めたさらなる活動がなされることを願いたい。

総 評

- ・コロナ禍にあっても、創意工夫によって高いサービスが維持されていることに対し、職員はじめ関係各位の努力に深く敬意を表するものである。いつものことながら、自己評価は抑制的であるが、それがこの図書館の矜持であり、絶えざる成長に向けての決意なのだと理解している。
資料費の減額など、図書館をめぐる環境には厳しいものもあるが、市民の期待に応えることで、市民と手を携えた図書館として、よりいっそうの発展を期待している。
- ・三つの柱のいずれも、コロナ禍におけるやむを得ない事情などを考慮すれば、十分な運営がなされていると判断できる。自己評価も妥当なものである。
とはいえ、リソースの限られるなかでは、「効果」とともに「効率」も大切である。今後も、利用者(市民)の声(ニーズ)にさらに耳を傾けながら、上述のとおり、地域団体・市民(利用者)との協働を進めるとともに、「図書館」だからできることにより注力していくことを期待したい。

市川市子どもの読書活動推進計画 第二次(令和 5～7 年度) ※一部抜粋

2023年3月
市川市教育委員会

第1章 計画の概要

1. 子どもの読書活動の意義

子どもにとっての読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子どもたちが、読書活動で得た知識や適切な情報等を基にして、直面するさまざまな課題を克服し、人生をより主体的に、より豊かに生きていく力を確実に身につけるために、国や地方公共団体が積極的にそのための環境整備を推進していくことは極めて重要です。

2. 計画の背景

(1) 国

平成13(2001)年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、この法律に基づき、平成14(2002)年8月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(第一次)を策定し、平成20(2008)年3月には第二次基本計画、平成25(2013)年5月には第三次基本計画、平成30(2018)年4月には第四次基本計画を策定し、概ね5年間にわたる施策の基本方針と具体的な方策が示されました。

この間、平成17(2005)年7月には、読書活動に関わりの深い「文字・活字文化振興法」が施行され、文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進が図られるとともに、平成20(2008)年6月の国会において、平成22(2010)年を「国民読書年」とし、読書への国民の気運をさらに高めるため、「政官民が協力し、国をあげて、あらゆる努力を重ねること」が決議されました。

(2) 千葉県

千葉県は、国の推進計画に基づいて、平成15(2003)年3月に「千葉県子どもの読書活動推進計画」の第一次計画を策定し、その後の国の動向や計画の成果と課題を踏まえ、平成22(2010)年3月に第二次計画、平成27(2015)年3月には第三次計画、令和2(2020)年2月には第四次計画を策定しました。

(3) 市川市

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成16(2004)年12月に「市川市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実に努めるとともに、子どもの読書環境の整備を進めてきました。

中央図書館では、子どもが落ち着いて読書を楽しめるよう平成6(1994)年に中央図書館の中に「こどもとしゃかん」を独立させ、子どもの読書活動の中心をなす機関として多くの役割を担ってきました。こどもとしゃかんは、平成17(2005)年に「子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞しています。

また、平成14(2002)年11月に開始したブックスタート事業「たのしく絵本！はじめの一步」は、子育てに関わる人の負担感を軽減し、子育ての楽しさを感じてもらうこと、また乳幼児には、本を通して保護者のぬくもりを肌と心で感じてもらうとともに本の楽しさを知ってもらうことを目的として、乳幼児の絵本環境の整備や保護者に向けた啓発活動を行っています。

一方、本市の学校図書館では、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」を目指す学校図書館像として掲げ、「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」を平成元(1989)年より実施しています。公共図書館と学校図書館、さらに学校図書館相互を、人・物(図書)・情報の面でつなげるネットワーク体制を構築することにより、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成を目指しています。平成12(2000)年には、富貴島小学校が「子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞し、以降、鬼高小学校、稲越小学校、塩焼小学校、中国分小学校、福栄小学校、南行徳中学校、第七中学校、菅野小学校、第一中学校が同賞を受賞しています。

令和元(2019)年度策定の「第3期市川市教育振興基本計画」では、「自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む」ための施策として「読書教育の推進」を掲げ、幼児期からの読書教育の一層の充実に努めています。

3. 計画策定の目的

「市川市子どもの読書活動推進計画」策定から約18年が経過し、情報通信手段の普及・多様化等子どもを取り巻く状況も変化してきています。本市では、すべての子どもが自主的に読書活動に親しめるよう社会の変化に対応した読書環境を整備し、かつ子どもの読書活動をより一層推進するために、令和5(2023)年度から「市川市子どもの読書活動推進計画 第二次計画」を策定するものです。

4. 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次)」及び、「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」を基本とし、本市における子どもの読書活動を推進するための計画です。

「市川市総合計画」をはじめ、「市川市教育振興基本計画」、「市川市図書館運営基本計画」などの本市の教育に関する計画との整合性を図りながら、子どもの読書活動を推進していきます。

(表:子どもの読書活動に関する計画)

平成	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
国	子供の読書活動の推進に関する基本的な計画																								
	H13.12 法律公布		第一次(平成15~19年度)				第二次(平成20~24年度)				第三次(平成25~29年度)				第四次(平成30~令和4年度)				国 五次						
県	千葉県 子どもの読書活動推進計画																								
	第一次(平成15~19年度)				第二次(平成22~26年度)				第三次(平成27~31(令和元)年度)				第四次(令和2~6年度)				県 五次								
市	市川市 子どもの読書活動推進計画																								
	(第一次:平成16年度~)				計画を各所管で継続 ※改定(R5~)の際は、千葉県の第四次計画をもとに他の関連する計画との整合性を図りながら策定																		第二次 令和5~7年度		
関連																									
	市川市教育振興基本計画 【第1期】(H21~25年度)								市川市教育振興基本計画 【第2期】(H26~30年度)								市川市教育振興基本計画 【第3期】(H31~R5年度)								
図書館中期計画 (H23~25年度)										継続 H26	市川市図書館運営基本計画														
										第一次実施計画 (H27~29年度)					第二次実施計画 (H30~R2年度)					第三次実施計画 (R3~R5年度)					

5. 計画の対象

本計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとします。また、保護者をはじめ、子どもと子どもの読書活動に関わるすべての大人や地域、学校、行政、関係機関も対象とします。

6. 計画の期間

本計画の期間は、令和5(2023)年度～令和7(2025)年度までの3年間とします。なお、子どもの読書を取り巻く社会情勢等に変化があった場合、必要に応じて見直しを行います。

7. 計画の策定経過

計画の策定にあたり、市の関係部局において担当者策定作業部会を開催し、意見の集約を行い、素案の作成を行いました。また、社会教育委員会議、パブリックコメント等により専門家や地域住民より様々な意見を聴取し、計画案をとりまとめ、市川市教育委員会の議決により策定されました。

時期	内容
令和4年6月	「市川市子どもの読書活動推進計画」の改定方針 (定例教育委員会)
令和4年8～9月	策定作業部会(3回)により素案作成
令和4年10月6日	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」(素案)の中間報告 (定例教育委員会)
令和4年10月27日	素案についての意見聴取 (社会教育委員会議)
令和4年10～12月	素案についての意見聴取 (子どもの読書に関係する団体等)
令和4年11月19日 ～12月20日	素案についての意見聴取 (パブリックコメント)
令和5年1月	パブリックコメント実施結果公表
令和5年3月	計画案について (定例教育委員会)
令和5年4月	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」の施行

第2章 基本的な方針

1. 基本的な理念

豊かな心を^{はぐく}育む、本でつながるまち、いちかわ

読書の楽しさを味わい、読書により充実感や満足感を得たという経験が、子どもの意欲の向上、ひいてはウェルビーイング¹につながります。

子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるようになるために、子どもが生活を過ごす家庭・学校・地域等がそれぞれの読書環境を整備するとともに、そこにいる大人が子どもの読書活動への理解を深め、子ども一人ひとりの発達や読書経験に応じた取組を進めることが重要です。

子どもの読書活動の充実と推進を図るために、家庭・地域・学校が手を携え、行政がバックアップし、様々な読書活動を展開していきます。

豊かな心を育む… 子どもは、読書により、多くの知識や情報を身につけ心を成長させていきます。また、心に深く残る読書の経験は心の栄養となり、豊かな情緒や感性を育みます。

本でつながる… 社会全体が連携して、読書への関心を高め、読書を通じた子どもの健やかな成長を願う、そのような環境づくりを進めていくことが肝要です。

2. 基本方針

本市のこれまでの取組と課題等を踏まえつつ、県の第四次計画を参考に、次の4つを基本方針として、子どもの読書活動を推進します。

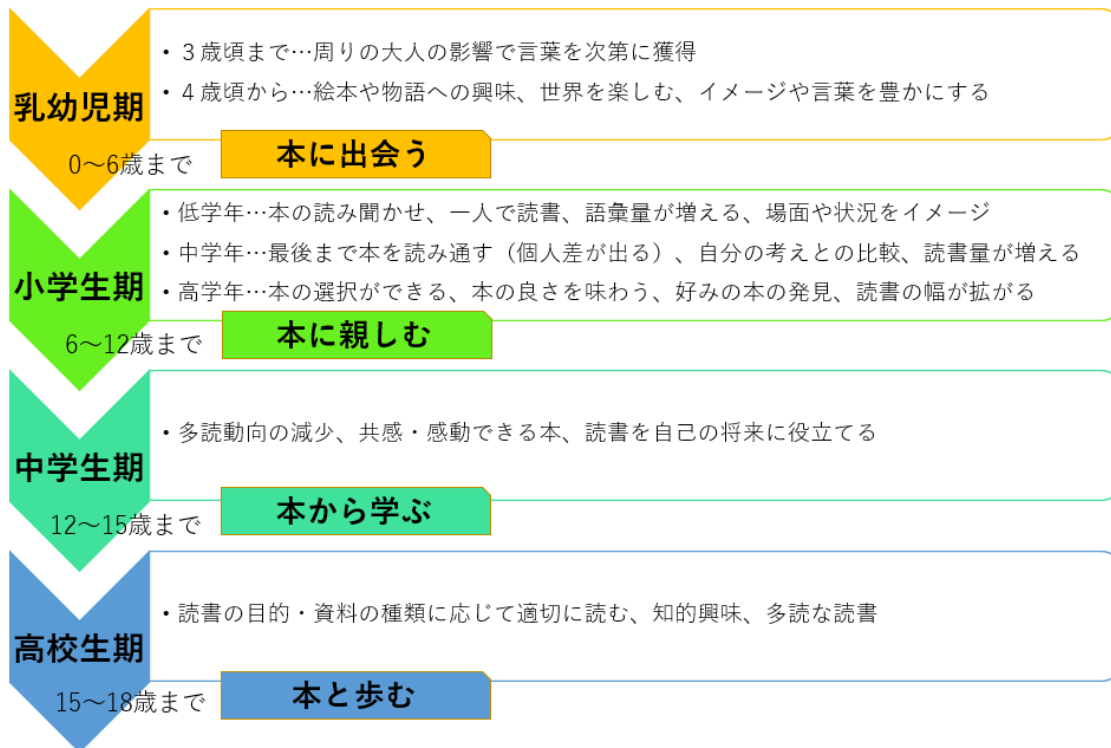
(1) 子どもの読書への関心を高める取組の推進

家庭・地域・学校等²が、それぞれの役割を自覚し、社会全体で子どもの読書への関心を高める取組を実施し、本に親しむ習慣の定着を図ることで子どもの読書活動を支援していきま

¹ ウェルビーイング(Well-being)・・・心身と社会的な健康を意味する概念。満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを意味する

² 学校等・・・幼稚園・保育園・認定こども園を含む

す。このため、子どもの発達段階に応じて、本とつながるきっかけを積極的につくることを推進します。



読書をしていない高校生の中には、中学校までに読書習慣が形成されていない実態も見受けられることから、生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。

(2) 読書環境の整備

子どもが、好きな本を手にとったり、必要な資料を調べたりすることのできる、望ましい読書環境づくりを推進します。いつでも、どこでも、すべての子どもたちが本に親しむことができるようになるためには、市全体において、家庭・地域・学校等、それぞれが子どもの読書環境を整備します。

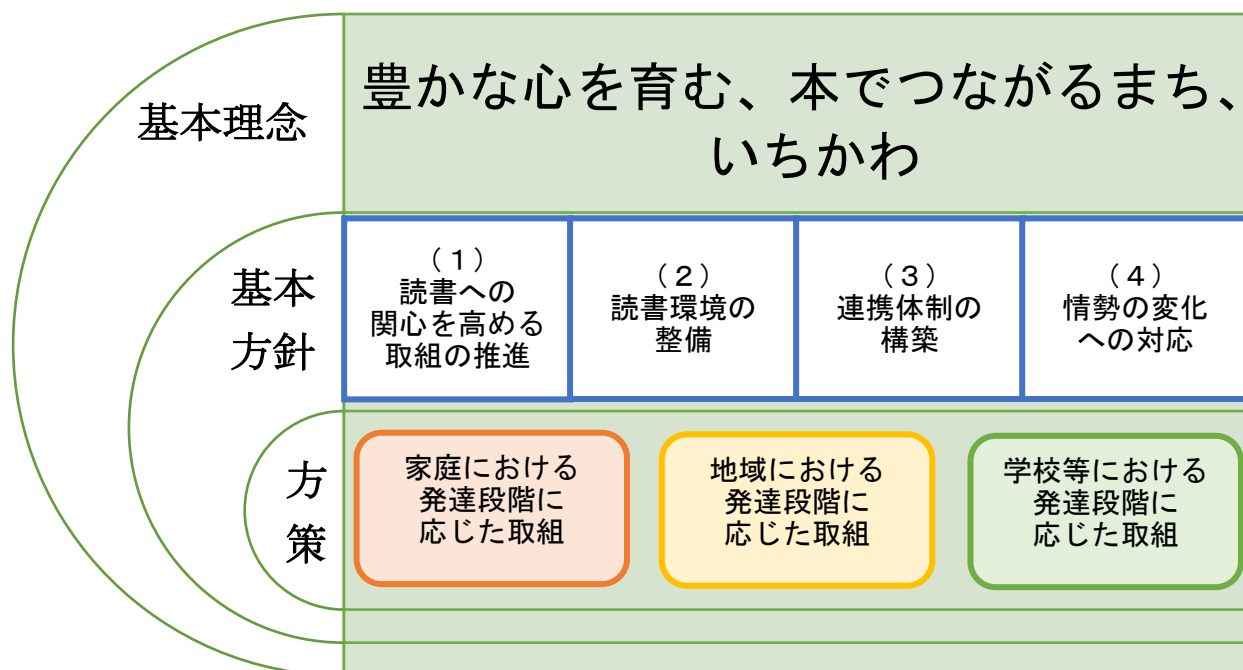
(3) 連携体制の構築

家庭・地域・学校等、それぞれが連携を図り、子どもが読書に親しむ機会を充実できるように努めます。また、「子どもの読書活動推進センター」としての役割を、中央図書館、教育センター、中央こども館が集約された複合施設である生涯学習センターが果たします。

(4) 情勢変化への対応

情報通信手段の普及・多様化により、子どもの読書活動にも影響が表れています。児童生徒のスマートフォンの利用率が年々増加傾向にあることや SNS 等、情報通信手段の多様化が進んでいる実態を踏まえて、これからの読書活動推進の手立てを講じていく必要があります。

このため、情報リテラシーの重要性及び情報モラル教育の充実に立脚したうえで、情報社会において普及しているツールを利用し、非来館サービス、読書バリアフリーに配慮した取組をも実施していきます。

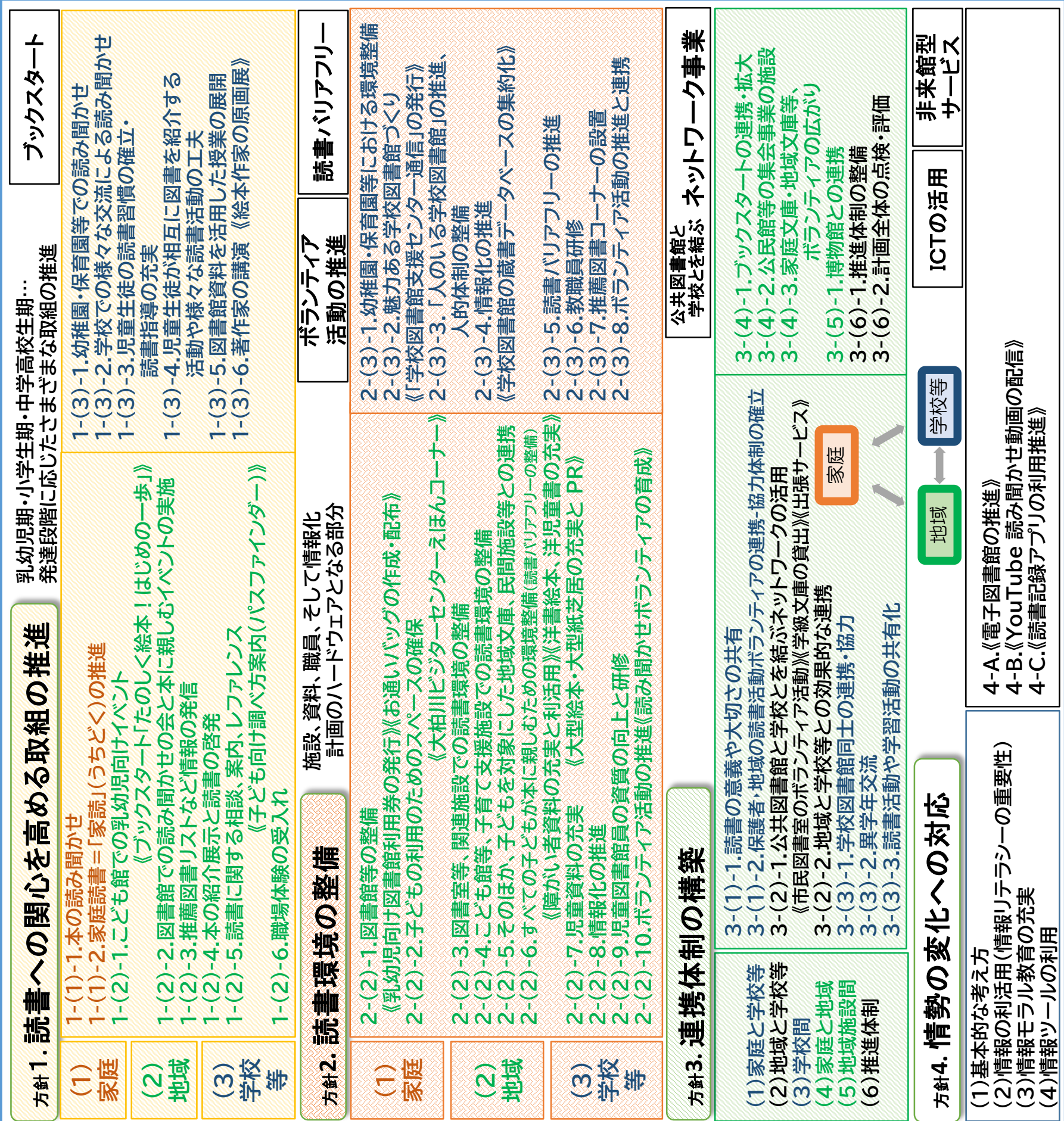


- 図書館等、図書関連施設
- こども館等、子育て支援施設
- 公民館、博物館 など
- ボランティア団体

- 幼稚園・保育園
- 小・中学校
- 高等学校

資料3 施策体系図(第二次市川市子ども読書活動推進計画:令和5年度~7年度)

基本理念: 豊かな心を育む、本でつながるまち、いちかわ



146

具体的な施策の主な指標

1-(1)-1	ブックスタート参加人数	2-(2)-1A	図書館の有効登録者数(児童)
1-(1)-2	リーフレットの配布数	2-(2)-4-5	子ども関連施設への貸出冊数
1-(2)-2	読み聞かせの会参加人数	2-(2)-6A	子ども向け障がい者資料の蔵書冊数
	イベント開催回数	2-(2)-6B	洋書(絵本・児童書)の蔵書冊数
1-(2)-3	推薦図書リストの新規作成数	2-(2)-7	大型絵本・大型紙芝居の貸出冊数
1-(2)-4	本の紹介展示の実施回数	2-(2)-10	読み聞かせボランティアの把握
1-(2)-5	子ども向け調べ方案内の作成数	2-(3)-1	絵本のコーナー設置園数
	児童書に関する相談件数	2-(3)-3	学校図書館全体計画策定校数
1-(3)-3	「朝の読書」や「読書週間行事」の実施校数	2-(3)-6	司書教諭、学校司書の研修参加回数
1-(3)-4	POPづくりやビデオバトル等、読書意欲を高める取り組みの実施校数	2-(3)-7	推薦図書コーナー設置校数
1-(3)-5	授業で図書を活用した時間数	2-(3)-8	ボランティア団体活動校数
		3-(2)-1A	「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」配送図書冊数
		3-(2)-1C	学級文庫の貸出冊数
		3-(2)-1D	出張サービスの実施回数
		4-(3)	情報モラル教育の授業実施校数
		4-B	YouTube 図書館公式チャンネル等 登録動画数

方針1.

方針2.

方針3.

方針4.

15. アンケート・市民要望(1)

令和4年度市川市立図書館アンケート(eモニ)
 子どもの読書活動と図書館Webサービスに関するアンケート報告書



令和5年4月 市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

e-モニター制度を利用して、図書館未利用者を含む子どもの読書活動と図書館Webサービスに関する要望などを調査した。特に、子どもの読書活動は、読み聞かせを中心に設問を設けた。

市川市e-モニター制度(愛称:eモニ)・・・パソコンやスマホ、携帯電話等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度。

(2) 調査実施期間:

令和5年2月17日(金)～令和5年3月2日(木)

(3) 集計・分析にあたって

問5以外の有効回答数 1,284名 問5の有効回答数 985名

【子どもの読書活動について】

多くの方が、子どもたちに絵本などの読み聞かせをしたことがあり、また、読み聞かせを受けたことがあると答えており、幼少期から本に慣れ親しむことは大切であるかを聞く設問では、「非常にそう思う」の83%、「ややそう思う」の14%を足して、97%の高い結果となった。

子どもたちが本に慣れ親しむ為に何が重要だと思うかを選択する質問では、家庭での読み聞かせが1位であり、次いで、学校、図書館がほぼ同数となった。

どのくらいの頻度で読み聞かせをしているかの設問については、ほぼ毎日が31%、一週間に数回が35%と、家庭で読み聞かせをする意識の高さがその頻度からも伺えた。

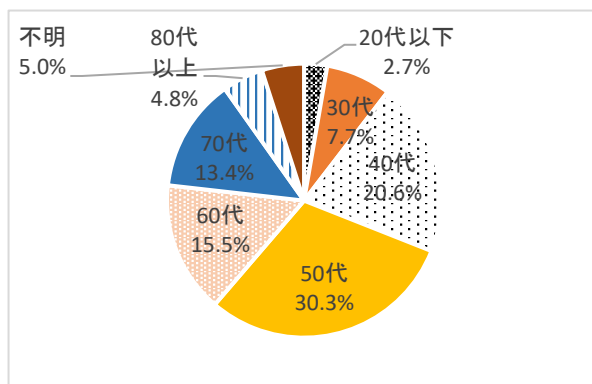
【Webサービスについて】

Webサービスについては、多くの方が、「資料を検索」して、そのまま「資料を予約」する使い方であることが伺える。また、「貸出状況の確認」をして「貸出資料の延長」を利用するといった、図書館に行かなくても済むような使い方も、ほぼ定着している様子が伺える。イベントなどの情報を知るには、WebサイトやSNSが適していると答える方が多かったが、紙媒体が良いと言う方もいまだ約3割いることがわかった。

アンケート結果

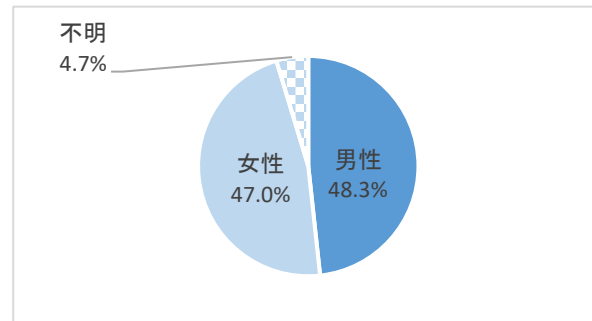
年代について

選択項目	選択項目	回答者数
20代以下	35	2.7%
30代	99	7.7%
40代	264	20.6%
50代	389	30.3%
60代	199	15.5%
70代	172	13.4%
80代以上	62	4.8%
不明	64	5.0%



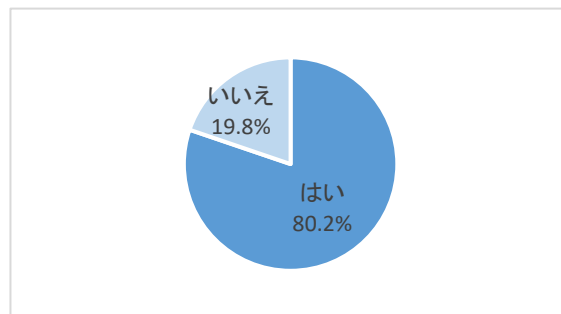
性別について

選択項目	回答者数	割合
男性	620	48.3%
女性	604	47.0%
不明	60	4.7%



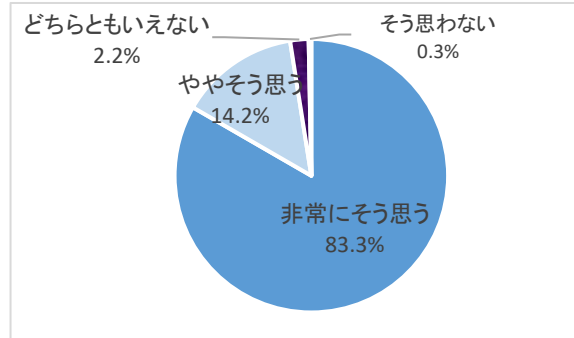
問1: あなたがもっとも利用している図書館は、市川市の図書館ですか。

選択項目	回答者数	割合
はい	1030	80.2%
いいえ	254	19.8%



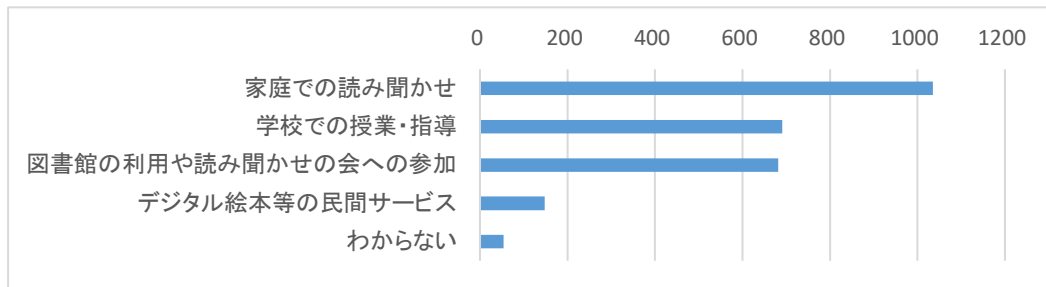
問2:あなたは、子どもたちが幼少期から本に慣れ親しむことは、大切なことだと思いますか。

選択項目	回答者数	割合
非常にそう思う	1070	83.3%
ややそう思う	182	14.2%
どちらともいえない	28	2.2%
そう思わない	4	0.3%



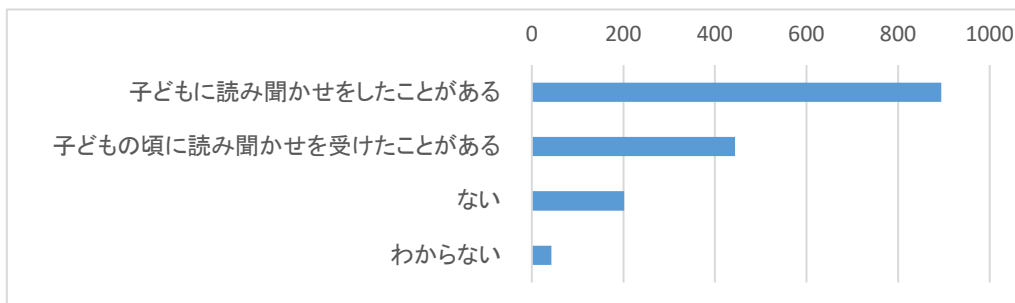
問3:あなたは、子どもたちが本に慣れ親しむ為に何が必要だと思いますか。(複数選択可)

選択項目	回答者数	割合
家庭での読み聞かせ	1035	80.6%
学校での授業・指導	691	53.8%
図書館の利用や読み聞かせの会への参加	682	53.1%
デジタル絵本等の民間サービス	148	11.5%
わからない	54	4.2%



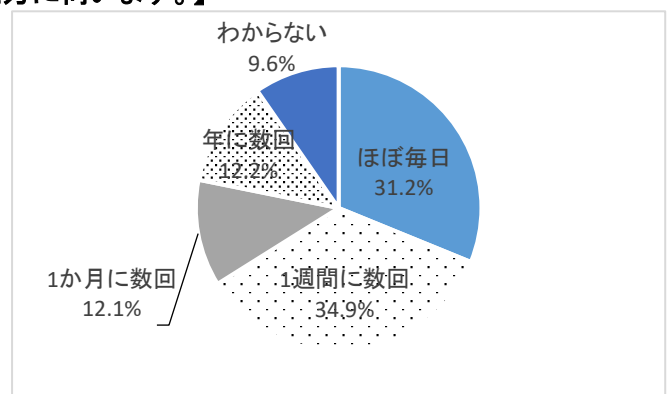
問4:あなたは、自分の子または他の子どもたちに絵本などの読み聞かせをしたことがありますか。もしくは読み聞かせを受けたことがありますか。(複数選択可)

選択項目	回答者数	割合
子どもに読み聞かせをしたことがある	894	69.6%
子どもの頃に読み聞かせを受けたことがある	444	34.6%
ない	202	15.7%
わからない	43	3.3%



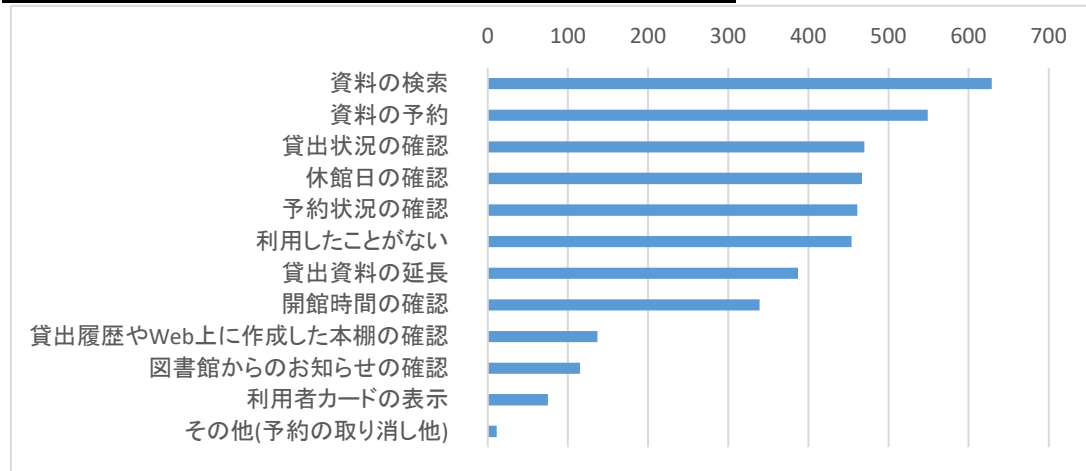
問5:【問4で「子どもに読み聞かせをしたことがある」と答えた方に伺います。】あなたはどのくらいの頻度で読み聞かせをしていましたか。

選択項目	回答者数	割合
ほぼ毎日	307	31.2%
1週間に数回	344	34.9%
1か月に数回	119	12.1%
年に数回	120	12.2%
わからない	95	9.6%



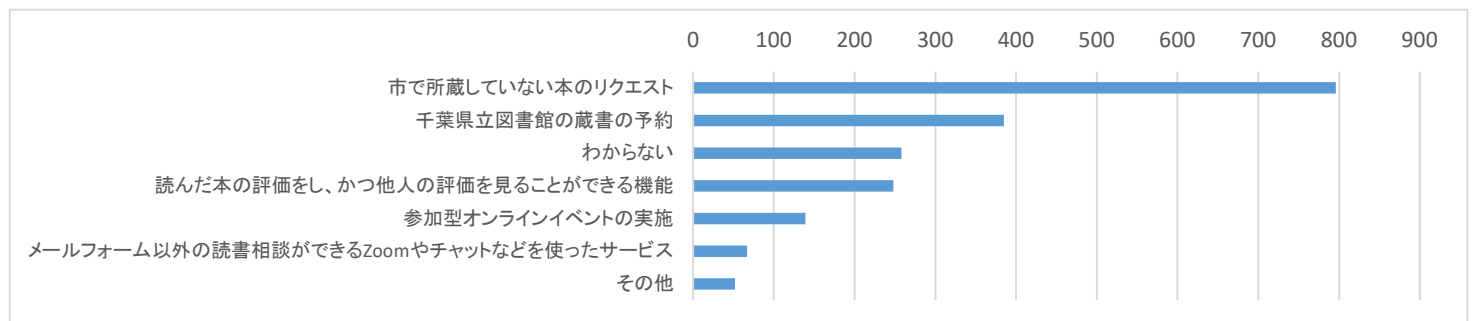
問6: 市の図書館Webサイトを利用したことがありますか?利用したことがある方は、どのように利用しましたか?
(複数選択可)

選択項目	回答者数	割合
資料の検索	629	49.0%
資料の予約	549	42.8%
貸出状況の確認	470	36.6%
休館日の確認	467	36.4%
予約状況の確認	461	35.9%
利用したことがない	454	35.4%
貸出資料の延長	387	30.1%
開館時間の確認	339	26.4%
貸出履歴やWeb上に作成した本棚の確認	137	10.7%
図書館からのお知らせの確認	115	9.0%
利用者カードの表示	75	5.8%
その他(予約の取り消し他)	11	0.9%



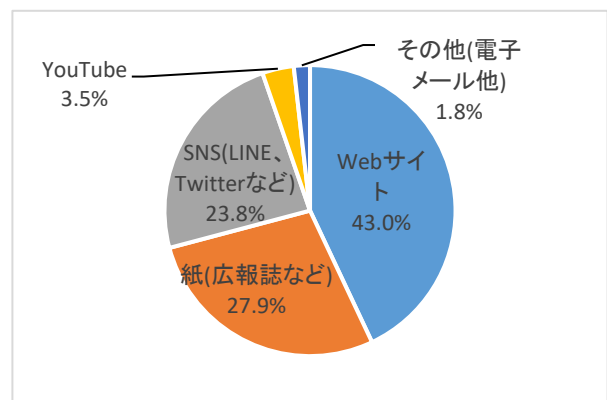
問7: あなたは、市の図書館Webサイトでどのようなサービスがあったら便利だと思いますか。(複数選択可)

選択項目	回答者数	割合
市で所蔵していない本のリクエスト	796	62.0%
千葉県立図書館の蔵書の予約	385	30.0%
わからない	258	20.1%
読んだ本の評価をし、かつ他人の評価を見ることができる機能	248	19.3%
参加型オンラインイベントの実施	139	10.8%
メールフォーム以外の読書相談ができるZoomやチャットなどを使ったサービス	67	5.2%
その他(各種研究雑誌の学術論文の閲覧他)	52	4.0%



問8: あなたは、図書館がイベントなどの情報を発信するツールはどのようなものが適していると考えますか。
もっともふさわしいものを選択してください。

選択項目	回答者数	割合
Webサイト	552	43.0%
紙(広報誌など)	358	27.9%
SNS(LINE、Twitterなど)	306	23.8%
YouTube	45	3.5%
その他(電子メール他)	23	1.8%



15. アンケート・市民要望(2)

153

令和4年度市川市立図書館来館者アンケート報告書

令和5年3月30日

市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4館)および大野・西部公民館図書室における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査(「図書館の利用に関するアンケート」)を実施した。

(2) 調査概要 実施日 : 令和5年2月9日(木)~2月15日(水) (6開館日)

実施時間 : 各館開館時間中

実施場所 : 中央図書館 (こどもとしょかんを含む)

地域図書館 (行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室)

公民館図書室 (大野公民館図書室・西部公民館図書室)

対象者 : 上記施設の利用者で、原則として中学生以上の者

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	目標数	配布数	回収数	回収率 (%)	総合的満足度 (%)
中央図書館	2/9 (木) ~ 2/15 (水)	400	594	528	88.9	96.3
行徳図書館		170	202	198	98.0	93.8
信篤図書館		50	97	71	73.2	97.1
南行徳図書館		50	91	91	100	96.7
平田図書室		50	84	82	97.6	98.8
大野公民館図書室		50	57	57	100	96.4
西部公民館図書室		50	60	60	100	91.5
合計		820	1185	1,087	91.7	95.9
※参考: 駅南口図書館	3/1 (水) ~ 3/10 (金)	200	289	274	94.8	98.0

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概説

図書館を利用しての満足度を設問3と4(公民館図書室では5)で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館96.3%、行徳図書館93.8%、信篤図書館97.1%、南行徳図書館96.7%、平田図書室98.8%、大野公民館図書室96.4%、西部公民館図書室91.5%となり、全体としては1年前の前回調査より0.5ポイント上がっての95.9%と高い結果となった。(※参考: 駅南口図書館98.0%)

項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の応対」と「図書館の感染症対策」で、この項目については、すべての館で95%を超える高評価を得ることができ、「本の案内・調べもの相談」も90%以上と満足度が高かった。また、中央・行徳で導入している「窓口のセルフ化」も95%以上となっている。今後も必要な対策を取りながら、新技術の導入や職員のスキルを高めることで、図書館サービスの向上に努めていきたい。

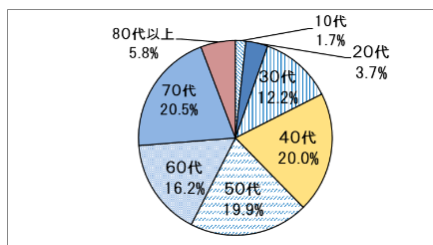
これらに比べると、地域図書館や公民館図書室では「本の充実」が満足度の低い項目となっており、中央・行徳図書館では「開館時間・開館日数」が比較的満足度が低くなっている。今後も、多様な市民のニーズに対応できるよう、全館で計画的に資料の更新を図りながら、図書館サービスの拡充に努めたい。

中央図書館 アンケート結果

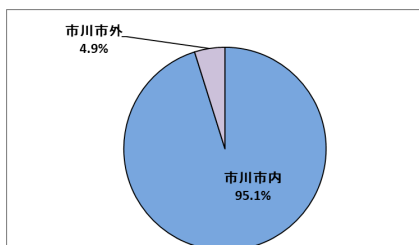
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が20.5%と最も多く、続いて40代が20.0%、50代が19.9%の順となっている。居住地別では、全施設の中で市外の回答者の割合が最も高い。職業別では、会社員・公務員が35.6%、次いで無職が26.3%、主婦・主夫が16.6%となった。会社員・公務員の比率も、全施設の中で最も高い結果となった。

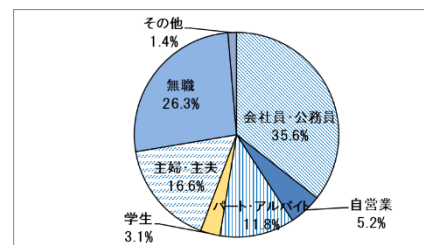
年齢



居住地



職業



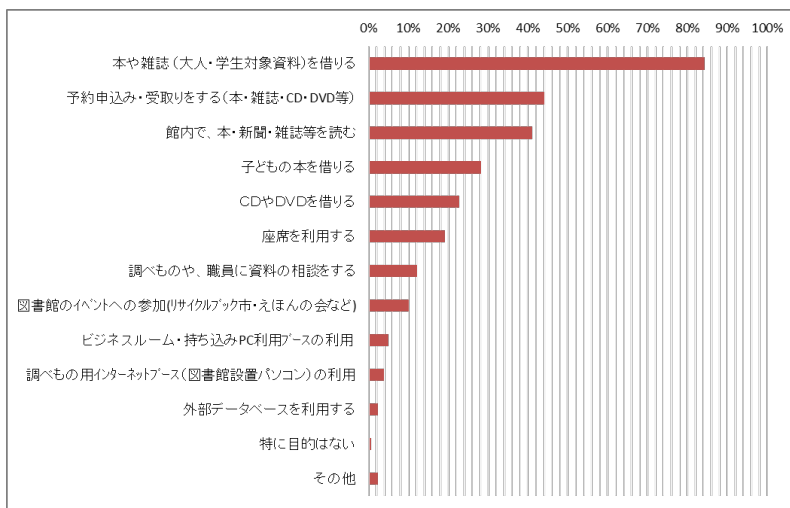
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	市川市内	市川市外	計	会社員・公務員	自営業	パート・アルバイト	学生	主婦・主夫	無職	その他	計
回答者数	9	19	63	104	103	84	106	30	518	450	23	473	184	27	61	16	86	136	7	517
	1.7%	3.7%	12.2%	20.0%	19.9%	16.2%	20.5%	5.8%	100%	95.1%	4.9%	100%	35.6%	5.2%	11.8%	3.1%	16.6%	26.3%	1.4%	100%

その他：教職員等

問1. 中央図書館の利用目的について

問1では中央図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数528人。複数回答可)

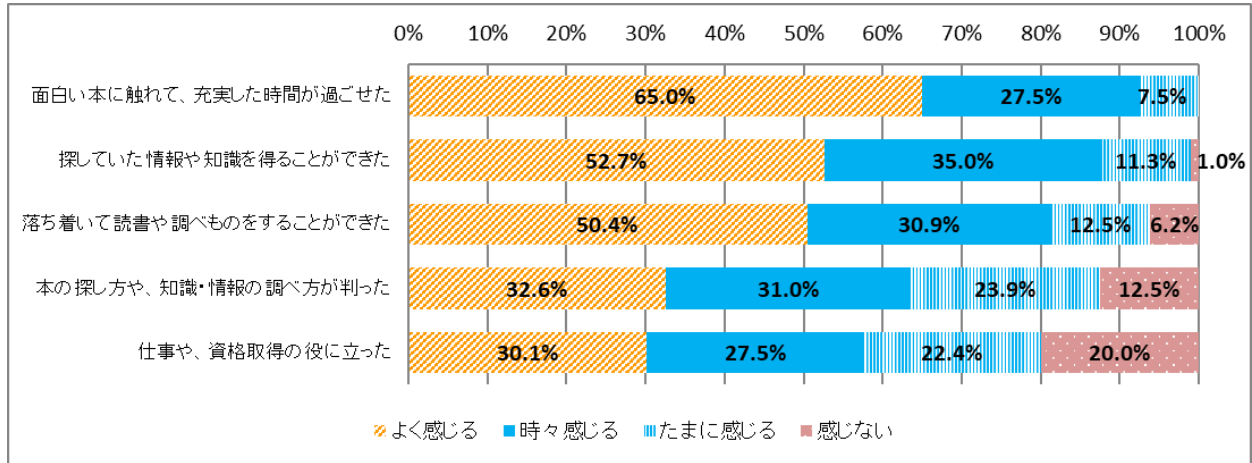
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で84.3%、次いで「予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)」が44.1%、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が41.1%となった。前回と比べると、「予約」が2.2ポイント上がり、「館内で、本・雑誌等を読む」も3.4ポイント上がっている。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	445	84.3%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	233	44.1%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	217	41.1%
子どもの本を借りる	149	28.2%
CDやDVDを借りる	120	22.7%
座席を利用する	101	19.1%
調べものや、職員に資料の相談をする	64	12.1%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブック市・えほんの会など)	53	10.0%
ビジネスルーム・持ち込みPC利用ブースの利用	26	4.9%
調べもの用インターネットブース(図書館設置パソコン)の利用	20	3.8%
外部データベースを利用する	12	2.3%
特に目的はない	3	0.6%
その他	12	2.3%

問 2. 図書館を利用した成果

回答者全員が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じている。続いて99%が「探していた情報や知識を得ることができた」、93.8%が「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」と、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」と感じた人も87.5%となり、いずれも高い数値となっている。今後も、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	330	65.0%	140	27.5%	38	7.5%	0	0%	508
探していた情報や知識を得ることができた	256	52.7%	170	35.0%	55	11.3%	5	1.0%	486
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	237	50.4%	145	30.9%	59	12.5%	29	6.2%	470
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	146	32.6%	139	31.0%	107	23.9%	56	12.5%	448
仕事や、資格取得の役に立った	128	30.1%	117	27.5%	95	22.4%	85	20.0%	425

問 3・5. 中央図書館の満足度

問3と問5では、中央図書館の満足度を尋ねた。

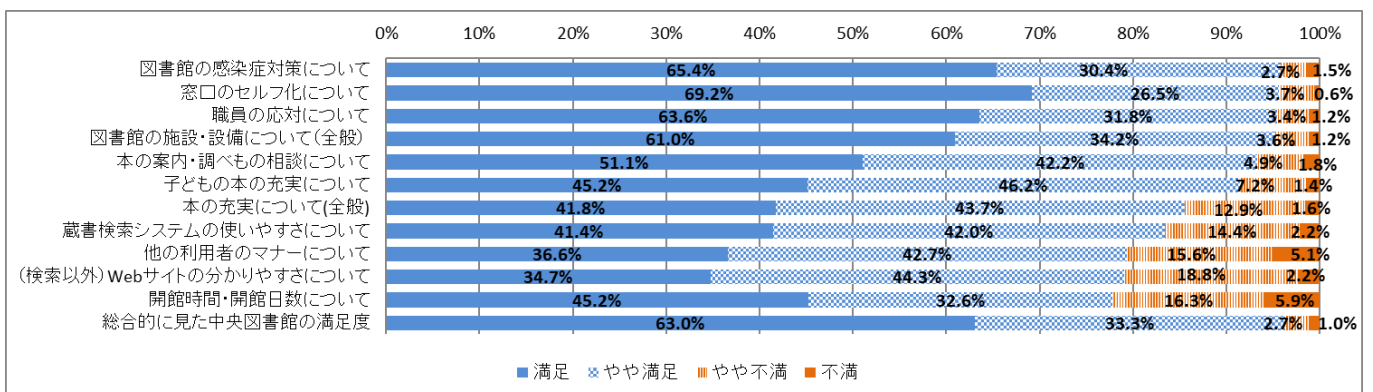
‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は「図書館の感染症対策について」が95.8%と最も高く、次いで、「窓口のセルフ化について」は95.7%、「職員の応対について」は95.4%、と高い数値が示された。「図書館の施設・設備について(全般)」も前回とほぼ同じく95%を超えた高い数値となり、導入から4年を経たセルフ機器導入も利用者を受け入れられてきたと推測される。

「本の案内・調べもの相談について」も93.3%と高い数値が示されたが、前回と比べると2ポイント低下した。また、「蔵書検索システムの使いやすさ」は、前回より1.1ポイント下がった83.4%となり、今回設問に入れた「(検索以外) Webサイトの分かりやすさについて」の満足度は79%で、前回とほぼ同じ数値であった。今後も新しいサービスのPRに努めるとともに、改善を重ねていきたい。

「本の充実について(全般)」は85.5%と前回よりも0.4ポイント上昇したが、他の項目よりも比較的低い数値のため、今後も計画的に各分野の資料の更新を進めるとともに、蔵書の充実に努めたい。

「開館時間・開館日数について」は77.8%となり最も満足度が低かった。利用者が要望する具体的な事項(複数回答可)として、「土日の閉館を遅く」及び「朝の開館を早く」が同率で15.3%、「月曜開館」が12.5%の順となり、一定の要望があることがわかる。

総合的な満足度は、前回より1ポイント下がって96.3%であった。引き続きサービスの充実に努めたい。



	満足		やや満足		やや不満		不満		計
図書館の感染症対策について	336	65.4%	156	30.4%	14	2.7%	8	1.5%	514
窓口のセルフ化について	334	69.2%	128	26.5%	18	3.7%	3	0.6%	483
職員の対応について	316	63.6%	158	31.8%	17	3.4%	6	1.2%	497
図書館の施設・設備について(全般)	303	61.0%	170	34.2%	18	3.6%	6	1.2%	497
本の案内・調べもの相談について	168	51.1%	139	42.2%	16	4.9%	6	1.8%	329
子どもの本の充実について	126	45.2%	129	46.2%	20	7.2%	4	1.4%	279
本の充実について(全般)	213	41.8%	223	43.7%	66	12.9%	8	1.6%	510
蔵書検索システムの使いやすさについて	170	41.4%	173	42.0%	59	14.4%	9	2.2%	411
他の利用者のマナーについて	186	36.6%	217	42.7%	79	15.6%	26	5.1%	508
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	124	34.7%	158	44.3%	67	18.8%	8	2.2%	357
開館時間・開館日数について	222	45.2%	160	32.6%	80	16.3%	29	5.9%	491
総合的に見た中央図書館の満足度	324	63.0%	171	33.3%	14	2.7%	5	1.0%	514

窓口のセルフ化で使いにくいと感じるものは？
(回答者数 528 人。複数回答可)

	選択数	割合	アンケート回答数
セルフ貸出機	18	3.4%	528
セルフ返却機	14	2.7%	528
予約受取コーナー	18	3.4%	528
その他	7	1.3%	528

開館時間・開館日数についてのご要望
(回答者数 528 人。複数回答可)

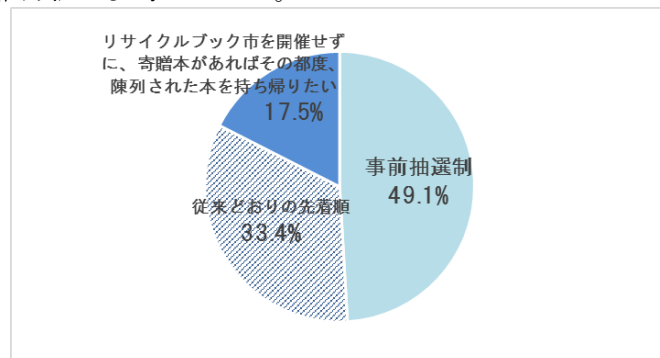
	選択数	割合	アンケート回答数
朝の開館を早く	81	15.3%	528
平日の閉館を遅く	45	8.5%	528
土日の閉館を遅く	81	15.3%	528
月曜開館	66	12.5%	528
月末に休館しない	60	11.4%	528

問4. リサイクルブック市の開催

問4では、今年度、はじめてリサイクルブック市を従来の先着順から事前抽選制に変更して開催したことに伴い、今後のリサイクルブック市の望ましい実施方法を尋ねた。(回答者数 428 人)

「事前抽選制」が 49.1% ともっとも高く、ついで「従来どおりの先着順」が 33.4%、最も少なかったのは「リサイクルブック市を開催せずに、寄贈本があればその都度、陳列された本を持ち帰りたい」が 17.5% となった。今後のリサイクルブック市の開催方法の参考としたい。

	選択数	割合
事前抽選制	210	49.1%
従来どおりの先着順	143	33.4%
リサイクルブック市を開催せずに、寄贈本があればその都度、陳列された本を持ち帰りたい	75	17.5%



問6. 自由記入

調査票 639 記入者 202 未記入 437 (記入率 31.6%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

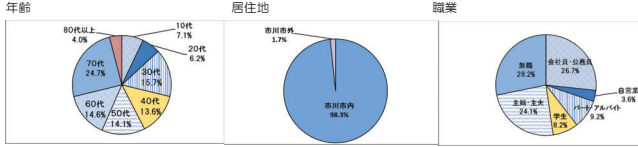
	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	50	新刊本等人気のある資料を増やしてほしい、様々な種類の資料の希望、リクエストに関する要望などが多い。
2	AV資料に関する記入	11	CD・DVD 充実の要望など。
3	施設に関する記入	26	トイレの設備や換気、館内の空調についての要望が多い。他に施設のコロナ対策についてなど。
4	座席に関する記入	10	一部座席の椅子についての要望や、座席管理に関してルールの徹底の要望が多い。

5	ITに関する記入	25	検索システムの動作時間に関する要望やWEBでの未所蔵資料リクエストについての要望が多い。
6	マナーに関する記入	14	寝ている利用者や携帯の利用方法、新聞の長時間複数の利用等に関する要望が多い。
7	職員に関する記入	18	親切に対応してくれるという意見がある一方、不適切な対応をされた・していたなどの意見もあった。
8	運営に関する記入	32	今より開館時間を早くしてほしい、開館日を増やしてほしいという要望が多い。他に新しいイベントの開催要望や延滞者への制限に関してなど。
9	感想	38	親子で楽しく利用している、好きな場所であるなど、好意的な意見が多い。
10	その他の記入	23	リサイクルブック市に関する要望や、サービスについての質問などがあった。

行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が24.7%と最も多く、続いて30代が15.7%、60代が14.6%、50代が14.1%の順となっている。居住地別では回答者の98.3%が市内在住者であり、職業別では無職が最も多く28.2%で、次いで会社員・公務員26.7%、主婦・主夫24.1%の順となった。



年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	14	12	31	27	28	29	49	8	198
割合	7.1%	6.2%	15.7%	13.6%	14.1%	14.6%	24.7%	4.0%	100%

居住地	市内	市外	計
回答者数	177	3	180
割合	98.3%	1.7%	100%

職業	無職	会社員・公務員	主婦・主夫	学生	パート・アルバイト	その他	計
回答者数	56	53	47	47	55	0	198
割合	28.2%	26.7%	24.1%	23.8%	28.3%	0%	100%

問1. 行徳図書館の利用目的について

問1では行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数198人。複数回答可)
最も多かった回答は「本や雑誌を借りる」で78.3%だった。次の「予約申込み・受取りをする」は前回より8.5ポイント下がって40.9%となっている。一方、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」が8.3ポイント、「パソコンルーム(持込パソコン・電卓)を利用する」が3.7ポイント、「調べものや、職員へ資料調査・相談をする」が3.1ポイント上がっており、図書館に滞在して利用する目的が増加しているのを読み取ることができる。

質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	155	78.3%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	81	40.9%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	73	36.9%
子どもの本を借りる	54	27.3%
CDやDVDを借りる	46	23.2%
2F・3Fの座席を利用する	35	17.7%
4F閲覧室を利用する	29	14.6%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	15	7.6%
パソコンルーム(持込パソコン・電卓)を利用する	15	7.6%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブック市・えほんの会)	13	6.6%
外部データベースを利用する	2	1.0%
特に目的はない	1	0.5%
その他	3	1.5%

問2. 図書館を利用した成果

97.4%が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」、95.1%が「探していた情報や知識を得ることができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「落ち着いて読書や調べものをすることができた」と感じている人の割合が前回より5.3ポイント上がっており、問1の利用目的の変化に対応した結果となっている。今後、図書館を活用し読書や調べものに役立ててもらえるよう、さらなるサービスの向上に努めたい。

窓口のセルフ化で使いにくいと感じるものは?

(回答者数198人。複数回答可)

窓口	選択数	割合
児童学習コーナー	3	1.5%
児童図書コーナー	3	1.5%
予約受付カウンター	2	1.0%
その他	2	1.0%

開館時間・開館日数についてのご要望

(回答者数198人。複数回答可)

要望	選択数	割合
平日の開館を長く	21	10.6%
平日の開館を長く	21	10.6%
土日の開館を長く	27	13.6%
平日の開館を長く	18	9.1%
土日の開館を長く	17	8.6%

問5. 自由記入

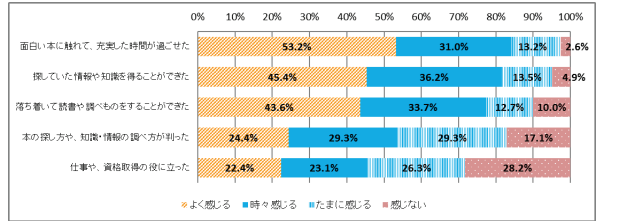
調査票198 記入者83 未記入115 (記入率41.9%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	26	蔵書をさらに充実してほしい、新しい本に入れ替えてほしいとの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	6	CD・DVDの新規購入に関する要望が多い。
3 施設に関する記入	14	貸出するための補助台の設置、トイレ等の施設改修を求める意見があった。
4 座席に関する記入	4	館内座席数の増、学習スペースの増を求める意見があった。
5 ITに関する記入	8	さらに利用しやすい検索システムに改善する要望が多い。
6 マナーに関する記入	7	マナー違反の利用者に対し注意を求める意見が多い。
7 職員に関する記入	7	親切丁寧な利用者対応であるとの意見が多い。
8 運営に関する記入	16	開館日数の増加、開館時間の延長等を希望する意見が多い。
9 感想	23	コロナ禍での開館など、図書館利用に対する感謝の意見が多い。
10 その他の記入	4	図書館に対するお礼など。

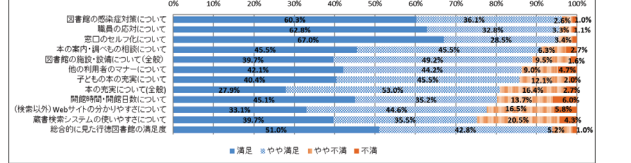
	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	101	53.2%	59	31.0%	25	13.2%	5	2.6%	190
探していた情報や知識を得ることができた	94	45.4%	67	36.2%	25	13.5%	9	4.9%	185
落ち着いて読書や調べものをすることができた	79	43.6%	61	33.7%	23	12.7%	18	10.0%	181
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	40	24.4%	48	29.3%	48	29.3%	28	17.1%	164
仕事や、資格取得の役に立った	35	22.4%	36	23.1%	41	26.3%	44	28.2%	156



問3・4. 行徳図書館の満足度

問3と問4では、行徳図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「図書館の感染症対策」が96.4%、次いで「職員の対応」が95.6%と非常に高く、3番目に「窓口のセルフ化」が95.5%となった。また、「本の案内・調べもの相談」「図書館の施設・設備」についても、満足を感じている人が9割程度いることがわかった。これらの項目と比較すると「本の充実について(一般)」が昨年度より数ポイント上がり8割程度の満足度、「開館時間・開館日数」、「検索システムの分かりやすさ」「(検索以外)Webサイトの分かりやすさ」の満足度は8割弱、と、現状についての満足度は充分ではないことが窺えた。
総合的な満足度は93.8%となった。今後も、より魅力ある本の収集と施設運営、そしてサービス向上に努めていきたい。

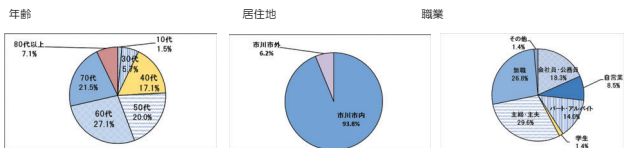
	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
図書館の感染症対策について	115	60.3%	63	36.1%	3	2.6%	1	1.0%	191
職員の対応について	115	62.8%	60	32.8%	6	3.3%	2	1.1%	183
窓口のセルフ化について	118	67.0%	50	28.5%	6	3.4%	2	1.1%	176
本の案内・調べもの相談について	51	45.5%	51	45.5%	7	6.3%	3	2.7%	112
図書館の施設・設備について(全般)	75	39.7%	93	49.2%	18	9.5%	3	1.6%	189
館内の利用者のマナーについて	30	42.1%	34	44.2%	17	30.9%	9	4.7%	190
子どもの充実について	40	40.4%	43	45.5%	12	12.1%	2	2.0%	99
本の充実について(一般)	51	27.9%	97	53.0%	30	16.4%	5	2.7%	183
開館時間・開館日数について	42	45.1%	64	35.2%	25	13.7%	11	6.0%	182
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	40	39.1%	54	44.6%	20	16.5%	7	5.8%	121
蔵書検索システム(検索)の使いやすさについて	56	39.7%	50	35.5%	29	20.5%	8	4.3%	141
総合的な満足度について	99	51.0%	83	42.8%	10	5.2%	2	1.0%	194



信篤図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、60代が27.1%と最も多く、次に70代、80代が合わせて28.6%で高齢者が多い傾向にある。居住地別では、市内在住者が93.8%、市外在住者は他市と隣接している地域性から6.2%と全館の中では高い方であった。職業別では、主婦・主夫が29.6%と最も多く、次いで無職の26.8%、会社員・公務員は18.3%で昨年よりも11.4ポイント下がった。



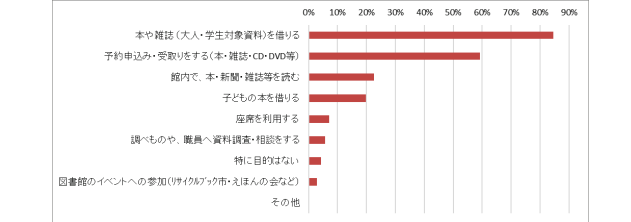
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	1	0	4	12	14	19	15	5	70
割合	1.4%	0%	5.7%	17.1%	20.0%	27.1%	21.4%	7.1%	100%

居住地	市内	市外	計
回答者数	61	4	65
割合	93.8%	6.2%	100%

職業	会社員・公務員	主婦・主夫	学生	パート・アルバイト	無職	その他	計	
回答者数	13	6	10	1	21	19	1	71
割合	18.3%	8.5%	14.0%	1.4%	29.6%	26.8%	1.4%	100%

問1. 信篤図書館の利用目的について

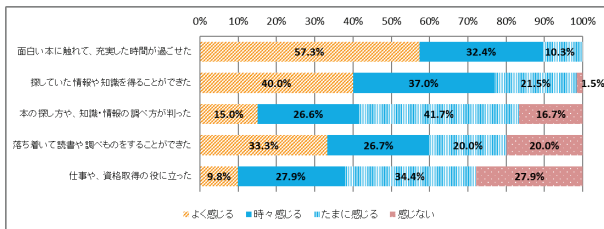
問1では信篤図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数71人。複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で84.5%、続いて「予約申込み・受取りをする」が59.2%となった。昨年に比べ「本や雑誌を借りる」が8.8ポイント減少、「予約申込み・受取りをする」が10ポイント増加していることから、ネットを活用した予約本の受け取りが増えていることが窺えた。「館内」で、本・新聞・雑誌等を読むも1.7ポイント増加しており、コロナの感染が落ち着いたことの影響を受けている可能性もある。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	60	84.5%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	42	59.2%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	16	22.5%
子どもの本を借りる	14	19.7%
座席を利用する	5	7.0%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	4	5.6%
特に目的はない	3	4.2%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブック市・えほんの会など)	2	2.8%
その他	0	0%

問2. 図書館を利用した成果

「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と回答した方の中では、100%の方が感じたことがあると回答している。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も98.5%となり、前回より2.2ポイント上昇した。引き続き、図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



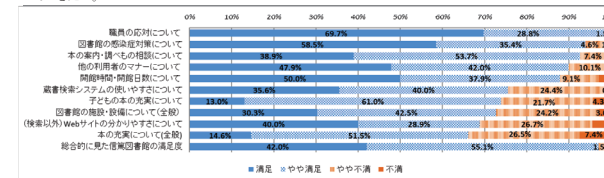
項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白本に触れて、充実した時間が過ごせた	39	22	7	0	68
探していた情報や知識を得ることができた	26	24	14	1	65
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	9	16	25	10	60
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	20	16	12	12	60
仕事や、資格取得の役に立った	6	17	21	17	61

問3・4. 信濃図書館の満足度

問3と問4では信濃図書館の満足度を尋ねた。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が98.5%となり、「他の利用者のマナー」、「本の案内・調べものの相談」も約9割以上と高い傾向となっている。また、「開館時間・開館日数」は87.9%で昨年より約10ポイント上昇している。一方、「図書館の施設・設備(全般)」については施設の老朽化もあり72.5%と他の項目に比べて低くなっている。また、「本の充実(全般)」の満足度は66.1%と低くなっている。

総合的な満足度は97.1%となった。今後資料の更新と魅力ある資料構成を図り、サービスの向上に努めていきたい。

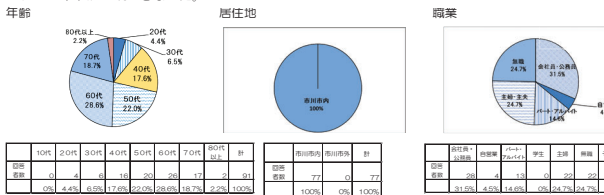


項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	40	29	1	0	69
図書館の感染症対策について	39	29	3	1	69
本の案内・調べものの相談について	21	29	4	0	54
開館時間・開館日数について	33	28	7	0	68
図書館システムの利用やすさについて	21	29	4	2	56
図書館の施設・設備について(全般)	16	28	11	0	55
本以外のWebサイトの分かりやすさについて	3	14	5	1	23
総合的に見た信濃図書館の満足度	18	28	12	2	45
職員の対応について	10	35	18	3	66
総合的に見た信濃図書館の満足度	29	38	5	1	73

南行徳図書館 アンケート結果

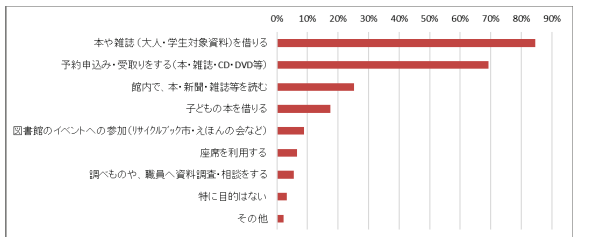
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、60代の利用が28.6%と最も多く、続いて50代が22.0%、70代が18.7%、40代が17.6%となっている。居住地別では回答者の全てが市内在住者という結果になった。職業別では、会社員・公務員が31.5%と最も多く、続いて主婦・主夫と無職が24.7%と同率となり、パート・アルバイトが14.6%となった。



問1. 南行徳図書館の利用目的について

問1では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数91人。複数回答可)
最も多かった「本や雑誌を借りる」は84.6%となり前回より4.7ポイント上がった。次に「予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)」が69.2%で、前回同様、全施設の中で最も高く、飛躍的に上がった前回より更に4.5ポイント上がっている。続いて「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」は25.3%で、前回より12ポイント上がった。



項目	選振数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	77	84.6%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	63	69.2%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	23	25.3%
子どもの本を借りる	16	17.6%
図書館のイベントへの参加(リサイクルブックやえほんの会など)	8	8.8%
座席を利用する	5	6.5%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	5	5.5%
特に目的はない	3	3.3%
その他	2	2.2%

開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数120人。複数回答可)

項目	選振数	アンケート回答数	割合
朝の開館を早く	9	71	12.7%
平日の開館を遅く	8	71	11.3%
土日の開館を遅く	3	71	4.2%
月曜開館	5	71	7.0%
月末に休館しない	7	71	9.9%

問5. 自由記入

調査票 71 記入者 28 未記入 43 (記入率 39.4%) ※複数記入あり

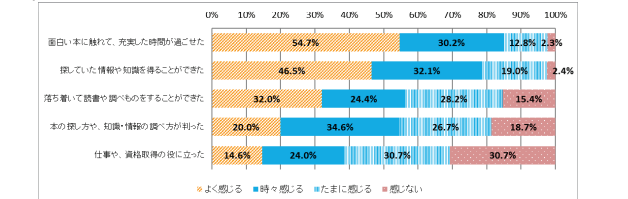
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	9	マンガや雑誌などの資料を増やしてほしい、新刊が少ない、などの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	1	DVDが多すぎてほしい。
3 施設に関する記入	8	ちょうど良いサイズ感で利用しやすいという好意的な意見がある一方、建物が古く、中央図書館との差が大きい、トイレをリホームしてほしいなどトイレ関連の要望も多い。
4 座席に関する記入	2	座席を増やして欲しい、読めるスペースを充実させてほしい。
5 ITに関する記入	2	検索に時間がかかるなど。
6 マナーに関する記入	2	大きな声をだす人がいる。本の中にお菓子のくずがあった。
7 職員に関する記入	4	感謝の言葉が多いが、職員によっては不満がある、という意見もあった。
8 運営に関する記入	8	開館時間を拡大してほしい、祝日開館してほしいなどの要望が多い。
9 感想	13	小さい図書館だが助かっているなどの好意的な意見が多い。
10 その他の記入	0	

問2. 図書館を利用した成果

97.7%の人が「面白本に触れて、充実した時間が過ごせた」と回答し、97.6%の人が「探していた情報や知識を得ることができた」と答へ、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」との回答が前回より1.5ポイント下がり、84.6%となった。今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



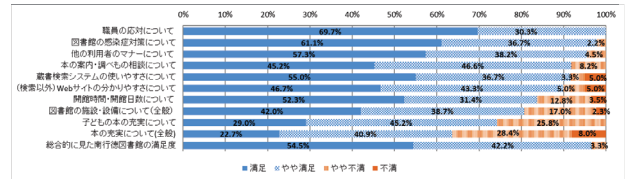
項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白本に触れて、充実した時間が過ごせた	67	54.7%	26	12.8%	2	2.3%	86		
探していた情報や知識を得ることができた	39	46.5%	27	32.1%	16	19.0%	2	2.4%	84
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	25	32.0%	19	24.4%	22	28.2%	12	15.4%	78
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	15	20.0%	26	34.6%	20	26.7%	14	18.7%	75
仕事や、資格取得の役に立った	11	14.6%	18	24.0%	23	30.7%	23	30.7%	75

問3・4. 南行徳図書館の満足度

問3と問4では、南行徳図書館の満足度を尋ねた。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が100%を得られた。次いで「図書館の感染症対策」が97.8%、「他の利用者のマナー」が95.5%となった。また「本の案内・調べものの相談」も91.8%と満足度が高くなっている。これらに比べ、「本の充実」は前回より8.4ポイント上がったものの、63.6%と顕著に満足度が低くなっている。また、「子どもの本の充実」「図書館の施設・設備」についても満足度が比較的低くなっている。

総合的な満足度は96.7%で、前回より2.7ポイント上がった。今後も資料の更新を図るなど、なお一層サービスの充実を目指す。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	67	27	0	0	94
図書館の感染症対策について	51	33	2	0	90
本の案内・調べものの相談について	33	34	4	0	89
開館時間・開館日数について	28	34	6	0	73
図書館システムの利用やすさについて	22	28	7	2	69
図書館の施設・設備について(全般)	16	28	3	0	59
本以外のWebサイトの分かりやすさについて	17	24	11	1	53
総合的に見た南行徳図書館の満足度	49	38	3	0	90

開館時間・開館日数についてのご要望（回答者数91人。複数回答可）

	選択数	割合
朝の開館を早く	9	11.3%
平日の開館を遅く	11	13.4%
土日の開館を遅く	2	2.4%
月曜開室	6	7.3%
月末に休室しない	7	8.5%
計	35	38.5%

問5. 自由記入

調査票 91 記入者 35 未記入 56（記入率 38.5%） ※複数記入あり

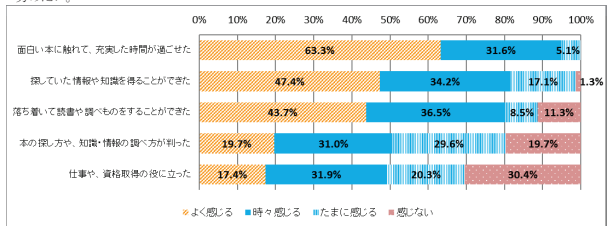
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	9	新刊本や雑誌、本の量を増やしてほしい、郷土資料が利用できるなどの意見があった。
2 A V 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	7	規模が丁度よい、これまで充分などという好意的な意見がある一方、新しく立て替えてほしい、トイレを快適にしてほしいとの意見があった。
4 座席に関する記入	2	スペースの問題を理解しつつも、読書するスペースがもう少しあるとよいという意見があった。
5 I T に関する記入	1	オンラインで本のリクエストができればよいという意見があった。
6 マナーに関する記入	1	子どもの本コーナーで、親が小さな子に大声で話し続けていて気が散ったので、職員は注意してほしいとの意見があった。
7 職員に関する記入	7	親切で感じがよく、丁寧な対応が気持ちよい、など好意的な意見が多い。おススメ本の紹介をしてほしいとの意見もあった。
8 運営に関する記入	10	本を除菌する機械がほしい、平日の開館時間を延長してほしいなどの要望があり、休みが多いとの意見もあった。
9 感想	10	いつも利用している、近くに良い図書館があり嬉しい、子どもが楽しみに通っている、ありがとうございます。今後もよろしく願いますなど好意的な意見が多数あった。
10 その他の記入	0	

問2. 図書館を利用した成果

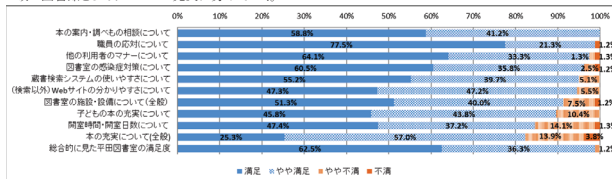
「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」が100%を得られた。次に「探していた情報や知識を得ることができた」が98.7%となり、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。対して「仕事や、資格取得の役に立った」の割合は、69.6%と低かった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白いく本に触れて、充実した時間が過ごせた	50	63.3%	25	31.6%	4	5.1%	0%	79	
探していた情報や知識を得ることができた	36	47.4%	26	34.2%	13	17.1%	1	1.3%	76
落ち着いて読書や調べものをするのができた	31	43.7%	26	36.5%	6	8.5%	8	11.3%	71
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	14	19.7%	22	31.0%	21	29.6%	14	19.7%	71
仕事や、資格取得の役に立った	12	17.4%	22	31.9%	14	20.3%	21	30.4%	69

問3. 4. 平田図書館の満足度

問3と問4では平田図書館の満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は「本の案内・調べもの相談について」が100%を得られた。「職員の対応」「他の利用者のマナー」「図書館の感染症対策」も95%以上と非常に高かった。他の項目に比べ本の充実(全般)」については82.3%と満足度が低くなっているが、総合的な満足度は98.8%となった。また、開室時間・開館日数については、「平日の開館を遅く」が最も多く13.4%となった。規模の小さい図書館ではあるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に向けている。

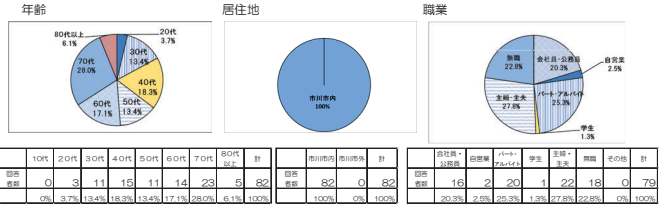


	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
本の案内・調べもの相談について	40	58.8%	28	41.2%	0	0%	0%	68	
職員の対応について	62	77.5%	17	21.3%	0	0%	1	1.2%	80
他の利用者のマナーについて	50	64.1%	28	33.3%	1	1.3%	1	1.3%	78
図書館の感染症対策について	49	60.5%	29	35.8%	2	2.5%	1	1.2%	81
蔵書検索システムの使いやすさについて	32	55.2%	23	39.7%	3	5.1%	0	0%	58
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	26	47.3%	26	47.2%	3	5.5%	0	0%	55
図書館の施設・設備について(全般)	41	51.3%	32	40.0%	6	7.5%	1	1.2%	80
子どもの本の発見について	22	45.8%	21	43.8%	5	10.4%	0	0%	48
開室時間・開館日数について	37	47.4%	29	37.2%	11	14.1%	1	1.3%	78
本の充実について(全般)	20	25.3%	45	57.0%	11	13.9%	3	3.8%	79
総合的に見た平田図書館の満足度	50	62.5%	29	36.3%	1	1.2%	0	0%	80

平田図書館 アンケート結果

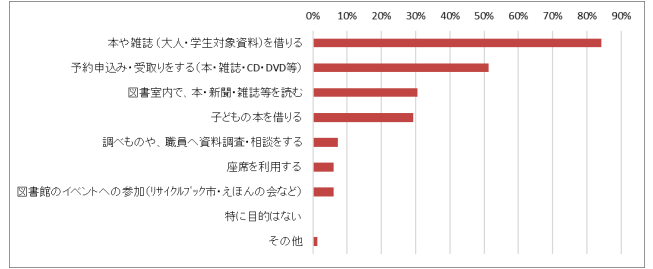
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が28%と最も多く、60代が17.1%で60代以上の世代で半数を占める結果となった。居住地別ではすべて市内在住者である。職業別では、主婦・主夫が27.8%で、次いでパート・アルバイト、無職の順となった。



問1. 平田図書館の利用目的について

問1では平田図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数81人、複数回答可)最も多かったのは「本や雑誌を借りる」で84.1%となった。次の「予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)」が51.2%、「図書室内で、本・新聞・雑誌等を読む」が30.5%、「子どもの本を借りる」と続く。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	69	84.1%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	42	51.2%
図書室内で、本・新聞・雑誌等を読む	25	30.5%
子どもの本を借りる	24	29.3%
調べものや、職員へ資料調査・相談をする	6	7.3%
座席を利用する	5	6.1%
図書館のイベントへの参加(サイクルアップ市・えほんの会など)	5	6.1%
特に目的はない	0	0%
その他	1	1.2%

開館時間・開館日数についてのご要望（回答者数82人。複数回答可）

	選択数	割合
朝の開館を早く	9	11.0%
平日の開館を遅く	11	13.4%
土日の開館を遅く	2	2.4%
月曜開室	6	7.3%
月末に休室しない	7	8.5%

問5. 自由記入

調査票 82 記入者 32 未記入 50（記入率 39%） ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

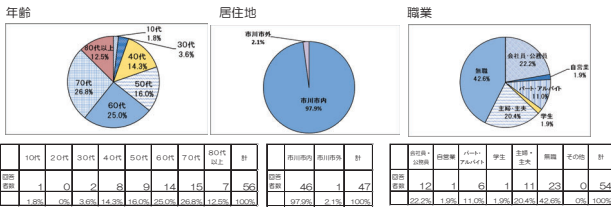
- (1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	9	新刊本が欲しい、雑誌や新聞の充実などの要望と展示コーナーが楽しいなどの意見があった。
2 A V 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	1	小さい図書室への感想があった。
4 座席に関する記入	1	利用したくても机や椅子が少ないとの意見があった。
5 I T に関する記入	0	
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	7	親切な対応で感謝するという声が多くあったが、適切に対応できないこともあり、ご指摘があった。
8 運営に関する記入	7	館内整理日がわかりにくい、開館時間についての意見があった。
9 感想	11	感謝の言葉や近いのでこれからも利用したいなどの好意的な意見が多かった。
10 その他の記入	1	人通りが少なく子どもだけで行かせるのは不安との意見があった。

大野公民館図書室 アンケート結果

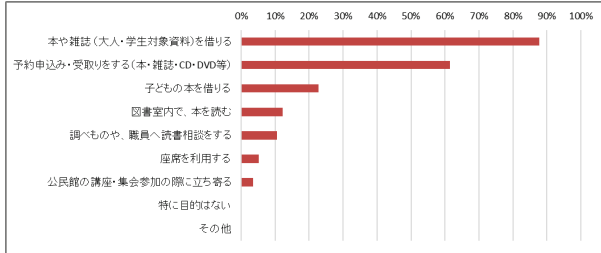
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が26.8%と最も多く、続いて60代が25.0%、50代が16.0%であった。居住地別では、市内在住者が97.9%であった。職業別では、無職が42.6%と最も高く、次いで主婦・主夫が20.4%、会社員・公務員が22.2%と続いた。



問1 大野公民館図書室の利用目的について

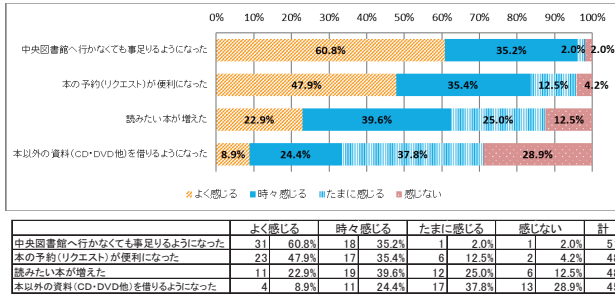
問1では大野公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数 57 人。複数回答可) 最も多かった「本を借りる」が87.7%に次ぎ、「図書などの予約申込み・受取りをする」が61.4%、「子どもの本を借りる」が22.8%となった。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	50	87.7%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	35	61.4%
子どもの本を借りる	13	22.8%
図書室内で、本を読む	7	12.3%
調べものや、職員へ読書相談をする	6	10.5%
座席を利用する	3	5.3%
公民館の講座・集会参加の際に立ち寄る	2	3.5%
特に目的はない	0	0%
その他	0	0%

問4. 予約・貸出資料種別の追加について

問4では、2021年6月から本以外の資料(CD・DVD他)の予約や貸出が、また、2022年1月から未蔵資料の窓口でのリクエスト受付や、県立図書館・他市図書館の資料の取り寄せが出来るようになったことで、以前と比べてどう感じるか尋ねた。回答者の98%が「中央図書館へ行かなくても事足りるようになった」と感じると回答。また、95.8%の人が本の予約(リクエスト)が便利になった」と感じると回答している。



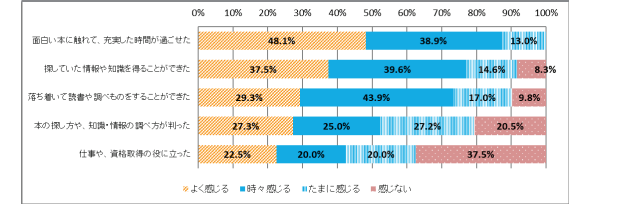
問5. 自由記入

調査票 57 記入者 19 未記入 38 (記入率 30.0%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	8	新刊をもっと増やして欲しいなど蔵書数に関する要望が多い。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	0	
4 座席に関する記入	0	
5 ITに関する記入	1	WEBでの検索方法についての要望。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	6	親切で助かってるなど好意的な意見が多い。
8 運営に関する記入	1	イベントに関する要望。
9 感想	3	家族で利用しているなど好意的な意見が多い。
10 その他の記入	0	

問2. 図書室を利用した成果

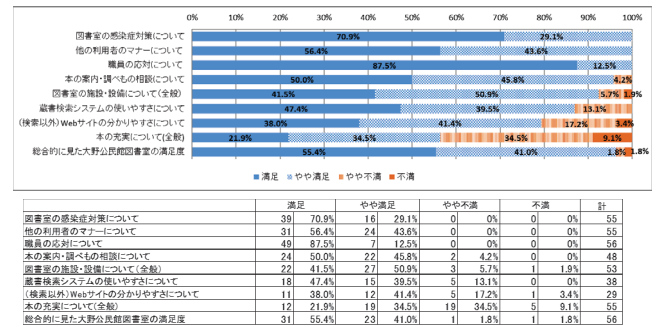
全ての人が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたことがあると答え、次いで91.7%の人が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答し、「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」人も90.2%となつて、いずれもかなり高い数値となっており、今後も図書室を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	26	48.1%	21	38.9%	7	13.0%	0	0%	54
探していた情報や知識を得ることができた	18	37.5%	19	39.6%	7	14.6%	4	8.3%	48
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	12	29.3%	18	43.9%	7	17.0%	4	9.8%	41
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	12	27.3%	11	25.0%	12	27.2%	9	20.5%	44
仕事や、資格取得の役に立った	9	22.5%	8	20.0%	8	20.0%	15	37.5%	40

問3・5. 大野公民館図書室の満足度

問3と問5では、大野公民館図書室の満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「他の利用者のマナー」と「図書室の感染症対策」が100%を得られ、続く「職員の応対」も95%以上となった。「本の充実」については前回より5.8ポイント下がって56.4%となり、年々満足度が低くなっている。今後より一層、蔵書の充実にも努めたい。総合的な満足度は前回より高く95.7%となった。引き続きこの満足度を保てるよう、北部地域における図書館サービスの充実にも努めたい。

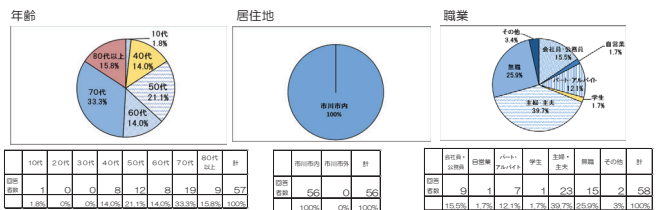


	満足	やや満足	やや不満足	不満足	計				
図書室の感染症対策について	39	70.9%	16	28.1%	0	0	0	55	
他の利用者のマナーについて	31	56.4%	24	43.6%	0	0	0	55	
職員の応対について	49	87.5%	7	12.5%	0	0	0	56	
本の案内・調べもの相談について	24	50.0%	22	45.8%	2	4.2%	0	48	
蔵書の充実について(全般)	22	41.5%	27	50.9%	3	5.7%	1	18.8%	53
読書推進システムの使いやすさについて	18	47.4%	15	39.5%	5	13.1%	0	38	
読書以外のWebサイトの分かりやすさについて	11	38.0%	12	41.4%	5	17.2%	1	34.2%	29
本の充実について(全般)	12	21.9%	19	34.5%	19	34.5%	5	9.1%	55
総合的に見た大野公民館図書室の満足度	31	55.4%	23	41.0%	1	1.8%	1	1.8%	56

西部公民館図書室 アンケート結果

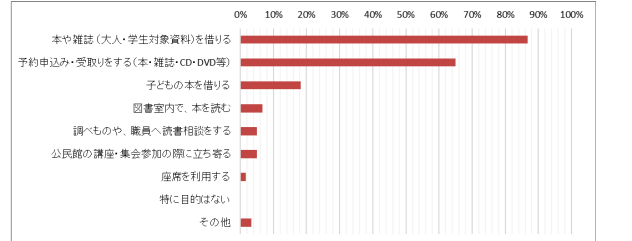
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、70代が33.3%と最も多く、続いて50代が21.1%、40代と60代が14.0%となった。居住地別では市内在住者が100%を占めている。職業別では、主婦・主夫が39.7%と最も高く、無職が25.0%、会社員・公務員が15.5%と続いた。



問1. 西部公民館図書室の利用目的について

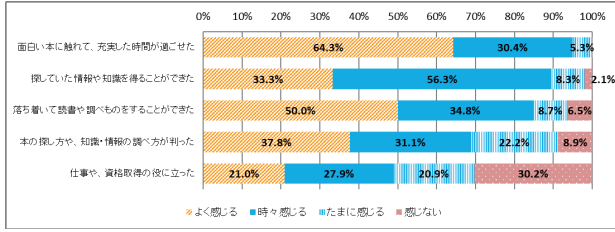
問1では西部公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数 60 人。複数回答可) 「予約申込み・受取りをする」が65%と全館全室の中で2番目に高く、図書館未設置地域でのサービスを補う傾向が続いていることが伺える。なお、「子どもの本を借りる」は、前回より30.5ポイント下がっている。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	52	86.7%
予約申込み・受取りをする(本・雑誌・CD・DVD等)	39	65.0%
子どもの本を借りる	11	18.3%
図書室内で、本を読む	4	6.7%
調べものや、職員へ読書相談をする	3	5.0%
公民館の講座・集会参加の際に立ち寄る	3	5.0%
座席を利用する	1	1.7%
特に目的はない	0	0%
その他	2	3.3%

問2. 図書館を利用した成果

全員が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたに答えている。また、「探していた情報や知識を得ることができた」との回答は3.4ポイント増え98.6%に、「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」については88.3%となった。今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい



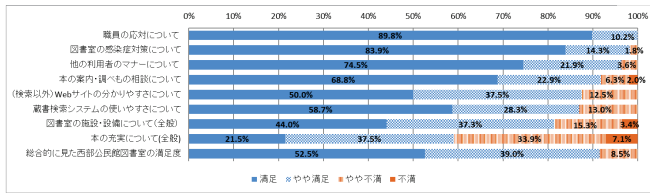
	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白本に触れて、充実した時間が過ごせた	36	17	3	0	56
探していた情報や知識を得ることができた	16	27	4	1	48
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	23	16	4	3	46
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	17	14	10	4	45
仕事や、資格取得の役に立った	9	12	9	13	43

問3・5. 西部公民館図書館の満足度

問3と問5では、西部公民館図書館の満足度を尋ねた。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が100%となった。続く「図書館の感染対策」が98.2%、「他の利用者のマナー」が96.4%となった。一方、「本の充実」については、前回よりポイントを下げ59%となった。引き続き蔵書の充実を努めたい。

総合的な満足度は91.5%となり、前回よりやや下がったものの、以前として高い水準にある。今後もこの満足度を保てるよう、西部地域における図書館サービスの充実に努めたい。

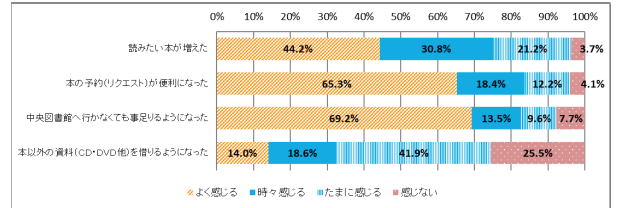


	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	53	5	0	0	58
図書館の感染対策について	47	8	1	0	56
他の利用者のマナーについて	41	12	2	0	55
本の案内・調べもの相談について	33	11	3	1	48
読書体験プログラムの使いやすさについて	20	15	5	0	40
図書館の施設・設備について(全般)	22	13	6	0	41
本の充実について(全般)	26	22	9	2	59
総合的に見た西部公民館図書館の満足度	12	21	19	4	56
総合的に見た西部公民館図書館の満足度	31	23	5	0	59

問4. 予約・貸出資料種別の追加について

問4では、2021年6月から本以外の資料(CD・DVD他)の予約や貸出が、また、2022年1月から未所蔵資料の窓口でのリクエスト受付や、県立図書館・他市図書館の資料の取り寄せが出来るようになったことで、以前と比べてどう感じるか尋ねた。

回答者の96.2%が「読みたい本が増えた」と感じると答えている。続いて「本の予約(リクエスト)が便利になった」が95.9%、「中央図書館へ行かなくても事足りるようになった」が92.3%となった。「本以外の資料(CD・DVD他)を借りるようになった」については、74.5%に留まった。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
読みたい本が増えた	23	16	11	2	52
本の予約(リクエスト)が便利になった	32	9	6	2	49
中央図書館へ行かなくても事足りるようになった	36	7	5	4	52
本以外の資料(CD・DVD他)を借りるようになった	6	8	18	11	43

問5. 自由記入

調査票 60 記入者 26 未記入 34 (記入率 23.0%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	13	蔵書数を増やして欲しいなどの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	3	本の消毒機を設置してほしいという要望。
4 座席に関する記入	1	学習席の増加の要望。
5 ITに関する記入	1	WEBでの未所蔵資料リクエストについての要望。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	2	親切に対応してくれるなどの好意的な意見。
8 運営に関する記入	2	図書室ではなく図書館への拡大希望や開館時間についての要望。
9 感想	8	地域での図書室の必要性や楽しく利用しているなど好意的な意見が多い。
10 その他の記入	0	

15. アンケート・市民要望(3)

市民要望

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式ウェブサイト「市民の意見箱 投稿フォーム」、及び図書館ウェブサイトの各ページ最下部にある「各課問い合わせフォーム」に寄せられた要望を、広報広聴課が「市民の声システム」にデータ登録している。

そのほか、図書館の館内に「利用者の声」投稿箱を設け、電話と同様に直接図書館で要望を受けている。

市民要望・手段別		件数
ウェブサイト	各課問い合わせフォーム	140
	市民の意見箱 投稿フォーム	36
館内ポスト「利用者の声」等、直接来館		39
合計		215

市川駅南口図書館受付分 は除く

令和4年度は、コロナ禍が続く中でも臨時休館や開館時間の短縮等を行わず、座席の利用も12月からは通常に戻した。しかしながらWebサービスであらかじめ蔵書を検索・予約して来館するスタイルは変わらず浸透していた様子が伺える。マイページの予約状況を見て、資料ごとの表示に関する質問やデータ間違いの指摘、提供が遅れる理由の問い合わせ等が多かった。

令和3年度同様に、検索結果の一覧や予約画面の使い勝手、マイページでの予約・貸出状況画面の工夫等、システム改善を求める声も寄せられた。また、マイページのログインパスワードに関する質問も多数寄せられた。

内容詳細ごとの主な要望

ア. 運営に関する事

- 開館日・開館時間の拡大について
- マイナンバーカードの図書利用券機能について
- 座席でのパソコンの利用や学習席について
- リサイクルブック市について

イ. 資料に関する事

- 他の自治体図書館所蔵本の借用について
- ウェブサイトでの新刊図書・雑誌の購入希望（リクエスト）について
- 自身が予約した資料について
- 資料の返却について
- CDやDVDについて
- 千葉県や市川の歴史、調査資料のことに
て
⇒レファレンス依頼（3件）

ウ. 職員に関する事

- 職員によるカウンター内での会話など
- 接遇態度が悪い
- 接遇の素晴らしさに感謝

エ. 施設に関する事

- 新しい図書館や窓口の増設について
- 返却ポストの増設について
- 容易に利用できるWi-fi環境の整備
- マスク着用に対する図書館の態度

市民要望・内容詳細別	件数
運営に関する事	40
資料に関する事（寄贈・レファレンスを含む）	82
システムに関する事（ウェブサイト含む）	36
施設に関する事（備品を含む）	26
職員に関する事（接遇・手続きミスを含む）	6
その他	25
合計	215

市 川 市 の 図 書 館

2 0 2 3

令和5年(2023)8月発行 第1版 ¥200

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館
〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内
TEL 047(320)3333(機械音声応答)
047(320)3346(直通)



<https://www.city.ichikawa.lg.jp/library/>
